

令和元年度

鹿児島学習定着度調査結果及び対策

[令和2年1月調査]



令和2年5月

鹿児島市教育委員会

目 次

I	本報告書の見方	1
II	調査結果の概要	3
III	学力調査の結果	
1	国語	4
2	社会	12
3	算数・数学	20
4	理科	28
5	英語	36
IV	児童生徒質問紙調査の結果	42
V	本調査問題等の活用	46

表紙写真：鹿児島市役所写真クラブ 福元 徹

I 本報告書の見方

本調査の結果及び対策は、鹿児島県教育委員会が令和2年1月に実施した鹿児島学習定着度調査における鹿児島市に関するものです。

については、各学校において、本冊子を活用し、本市全体の状況を把握するとともに、全市的な傾向との比較・分析などを通して自校の課題を明確にし、今後の個に応じたきめ細かな指導や問題解決的な学習活動など、教員の指導方法の工夫や児童生徒の学習状況の改善を図ってください。

【調査内容に関する表記について】

本調査では、学力調査と学習状況調査が行われています。学力調査は、次の二つの内容で出題されています。

- ① 主として「基礎・基本」に関する問題・・・本書では、「基礎・基本」と示しています。
- ② 主として「思考・表現」に関する問題・・・本書では、「思考・表現」と示しています。

②の問題は、次の内容を問うものであり、本書では各教科ごとに「思考・表現1」などと番号を用いて示しています。

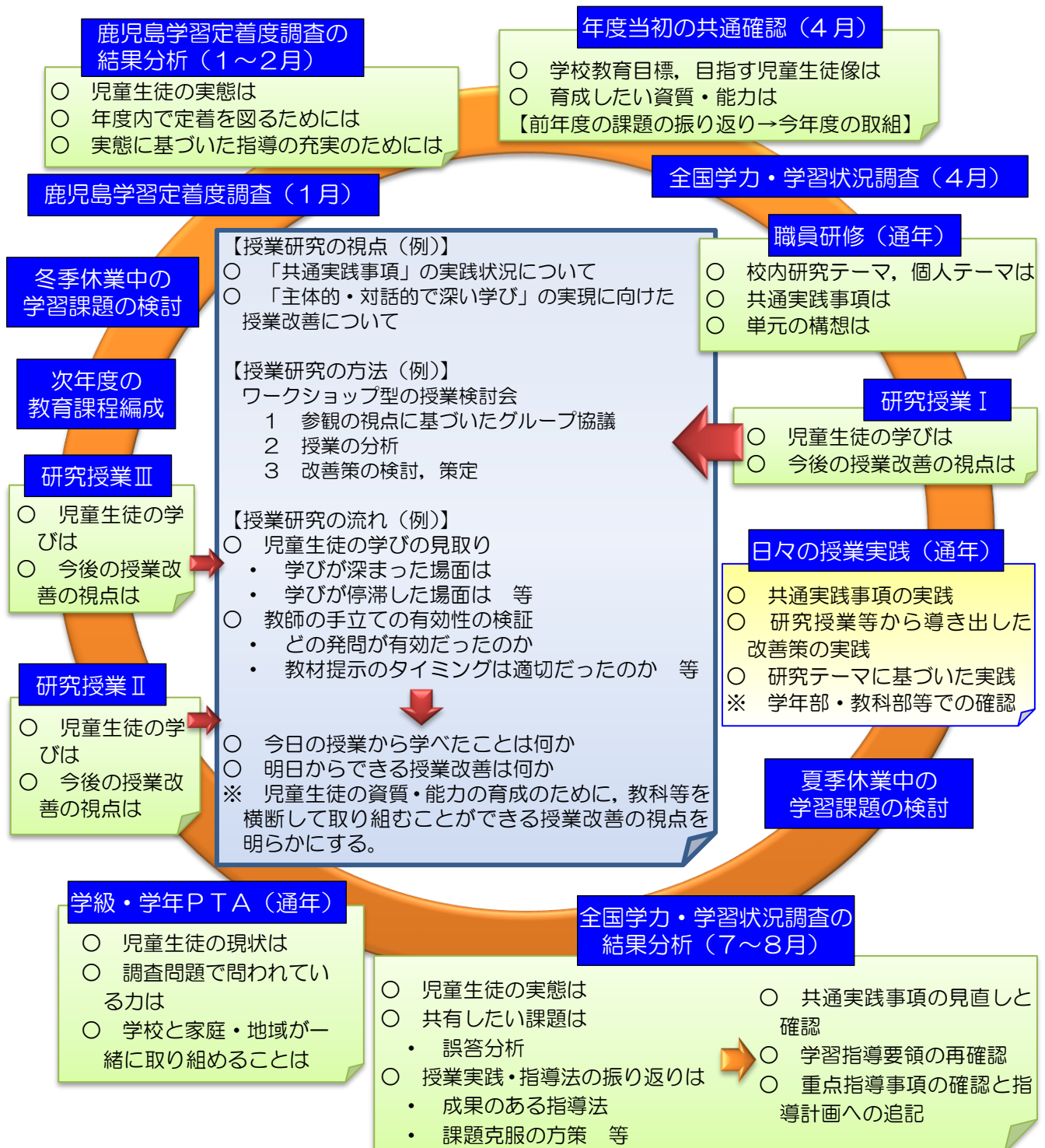
教科名	番号	主として「思考・表現」に関する問題の内容
国 語	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	身近な資料を用いて、表現の仕方や文章の特徴を捉え、自分の表現に役立てることができるようにする問題
	3	複数の情報を関連付け、それを基に自分の考えを論理的に書くことができるようにする問題
社 会	1	社会的事象の特徴や背景・原因等について、自分の考えを筋道立てて説明する問題
	2	提示された資料を関連付けたり、比較したりして読み取ったことを基に、社会的事象について説明する問題
	3	歴史的事象の相互の関係を判断したり、社会的事象について正しく説明しているものを判断したりする問題（選択肢による出題）
算数・数学	1	知識・技能等を実生活の様々な場面に活用して課題解決する問題
	2	示された課題解決の過程を、新たな課題に活用して解決する問題
	3	課題解決の方法や判断の根拠などを言葉や数、式、図、表、グラフなどを用いて、筋道立てて説明する問題
理 科	1	観察、実験の結果（事実・データ）から結論を考察する問題
	2	原理、法則を他の身近な現象に当てはめて説明する問題
	3	視覚的に実感しにくい現象をモデルで説明する問題
英 語	1	「聞くこと」、「話すこと」においては、聞き取った英語を基に、英文を完成させたり、英語の質問文に英語で答えたりする問題
	2	「読むこと」においては、文と文のつながりや段落と段落の関係、内容に合う英文選択などを問う問題
	3	「書くこと」においては、対話やまとまりのある文章における流れや文と文のつながりに留意し、適切な英文を書く問題

組織で取り組む学力向上のサイクル

主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善を進めるためには、学力向上を目指した授業づくりや校内研修の充実を図り、教師が学年や教科を超えて組織的に学力向上のサイクルを意識して取り組むことが大切です。

それぞれの時期に応じて学校全体で行う学力向上の取組を参考例として示します。自校の実態に合わせた「本校の学力向上のサイクル」を作成してみましょう。

【学校全体で取り組む学力向上のサイクル（例）】



II 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 趣旨

ア 基礎的・基本的な知識・技能及び思考力・判断力・表現力等に関する学力状況及び児童生徒の学習に関する意識や学び方などの学習状況の把握

イ 市全体の状況把握、個に応じたきめ細かな指導方法の工夫・改善

(2) 内容

小学校：国語・社会・算数・理科、児童質問紙、学校質問紙

中学校：国語・社会・数学・理科・英語、生徒質問紙、学校質問紙

(3) 実施日

令和2年1月15日(水)・16日(木)

(4) 対象

全ての市立小・中学校

学校種	学年	調査実施校数		調査実施児童生徒数	
		鹿児島市	鹿児島県	鹿児島市	鹿児島県
小学校	第5学年	77校	493校	5,357人	14,107人
中学校	第1学年	37校	222校	4,920人	13,028人
	第2学年	39校	218校	4,534人	12,558人

2 学力調査の結果

(1) 各教科の平均通過率

	学年	基礎・基本			思考・表現			全体		
		市(%)	県(%)	差(市-県)	市(%)	県(%)	差(市-県)	市(%)	県(%)	差(市-県)
国語	小5	76.6	76.6	0.0	68.2	68.4	-0.2	73.5	73.6	-0.1
	中1	83.7	82.8	0.9	73.5	73.6	-0.1	80.2	79.6	0.6
	中2	78.6	78.1	0.5	67.9	66.4	1.5	75.3	74.5	0.8
社会	小5	72.8	73.6	-0.8	68.7	69.0	-0.3	71.6	72.2	-0.6
	中1	69.1	67.2	1.9	61.4	60.1	1.3	66.5	64.9	1.6
	中2	60.8	59.7	1.1	64.9	64.6	0.3	62.0	61.2	0.8
算数・数学	小5	79.2	79.9	-0.7	69.9	69.7	0.2	76.2	76.7	-0.5
	中1	79.9	79.2	0.7	56.4	54.6	1.8	72.4	71.3	1.1
	中2	67.1	65.9	1.2	52.7	50.9	1.8	62.1	60.7	1.4
理科	小5	86.5	87.5	-1.0	69.7	70.2	-0.5	80.4	81.2	-0.8
	中1	73.0	71.5	1.5	53.0	51.3	1.7	66.4	64.8	1.6
	中2	62.5	61.6	0.9	52.5	50.7	1.8	59.2	58.0	1.2
英語	中1	70.7	69.6	1.1	65.4	64.1	1.3	69.0	67.9	1.1
	中2	67.4	65.2	2.2	53.7	51.6	2.1	63.2	61.0	2.2

(2) 結果の概要

小学校は、「全体」において、県の目標としている7割は上回っているが、全ての教科で県平均通過率を下回っている。

中学校は、全ての教科で「基礎・基本」、「思考・表現」、「全体」のいずれもほぼ県平均通過率を上回っている。

Ⅲ 学力調査の結果

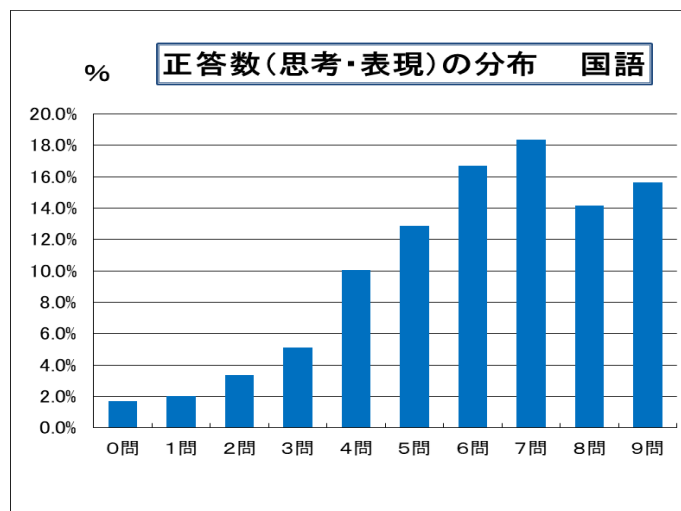
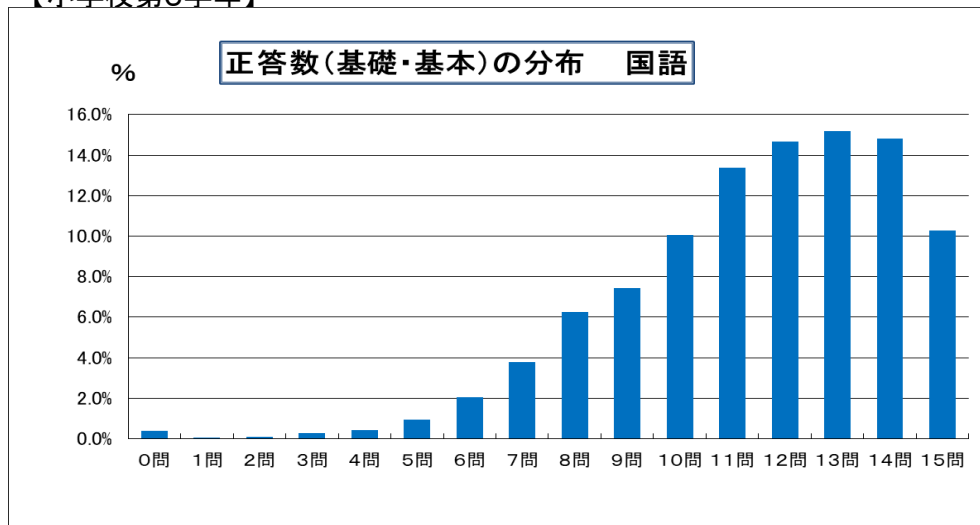
1 国語

○分析 ◆対策

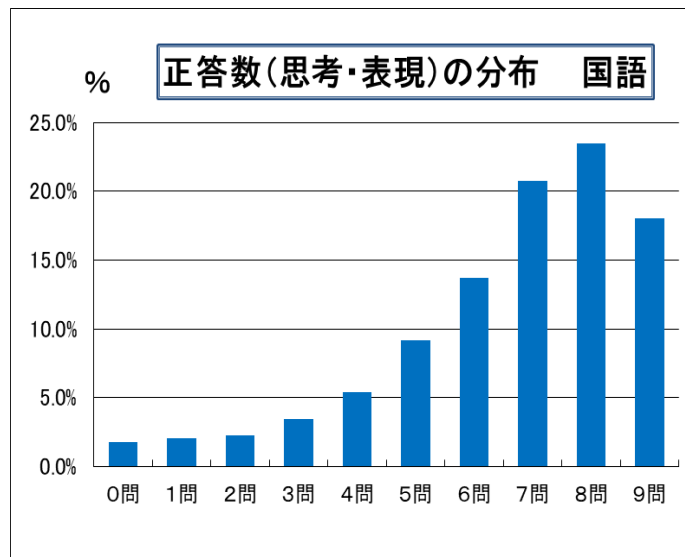
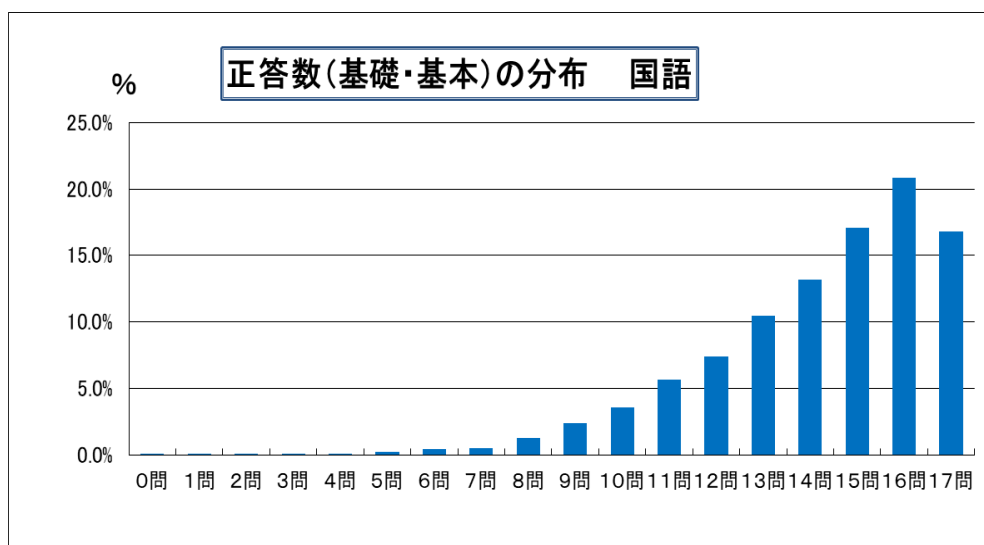
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	76.6%	76.6%	0.0	68.2%	68.4%	-0.2	73.5%	73.6%	-0.1
中1	83.7%	82.8%	0.9	73.5%	73.6%	-0.1	80.2%	79.6%	0.6
中2	78.6%	78.1%	0.5	67.9%	66.4%	1.5	75.3%	74.5%	0.8

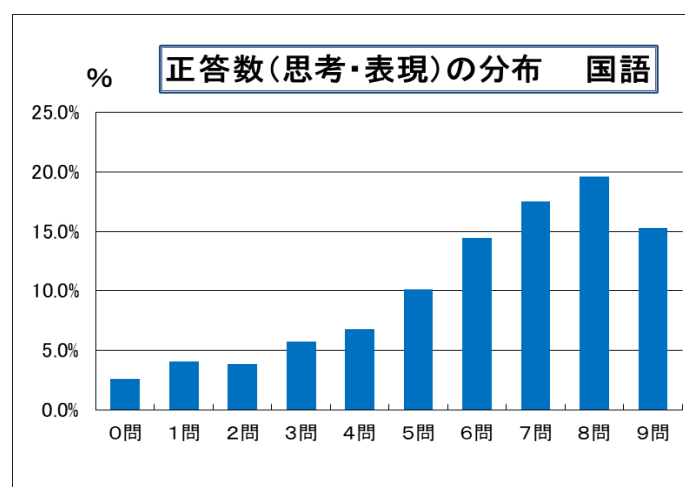
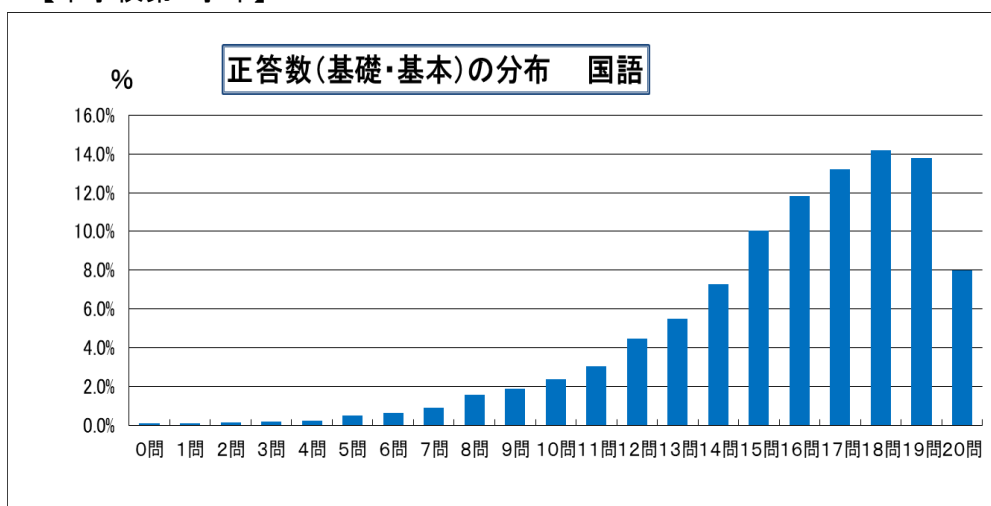
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

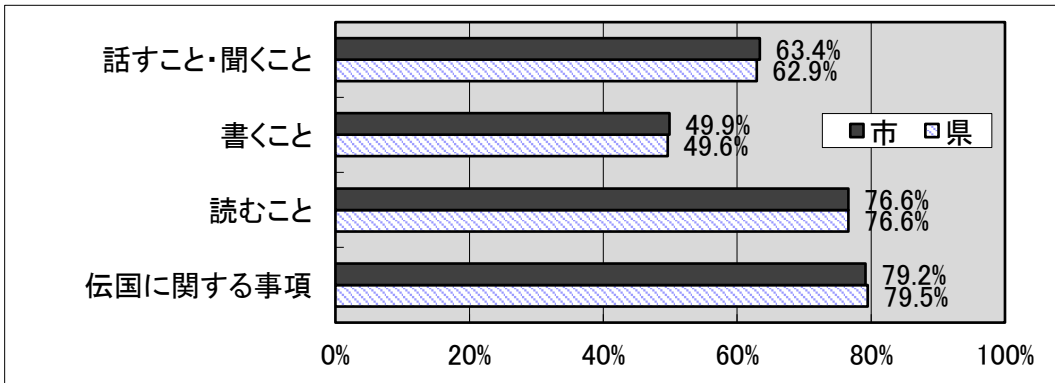


- 全体では、小5、中1、中2いずれも県の平均通過率とほぼ同じ、または、上回っている。
- 「基礎・基本」の分布図は、全学年山型になっている。
- 「思考・表現」の分布図を、「基礎・基本」と比較すると、下位層が多い。
- ◆ 「基礎・基本」については、平均通過率の低い問題を中心に補充指導を行い、定着を図る。「思考・表現」については、学習指導要領にある言語活動例から、適切な活動を位置付け、振り返りを確実にを行うことで、資質・能力の定着を図る。

(2) 内容・領域別平均通過率

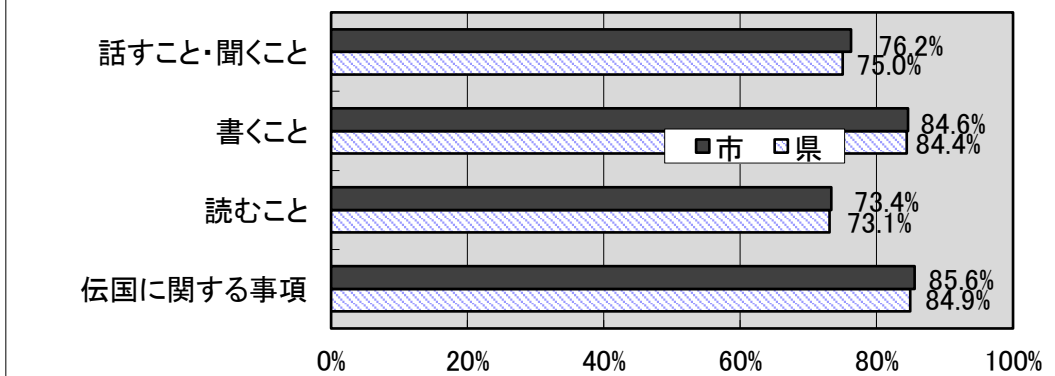
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	63.4%	62.9%	0.5
書くこと	49.9%	49.6%	0.3
読むこと	76.6%	76.6%	0.0
伝国	79.2%	79.5%	-0.3



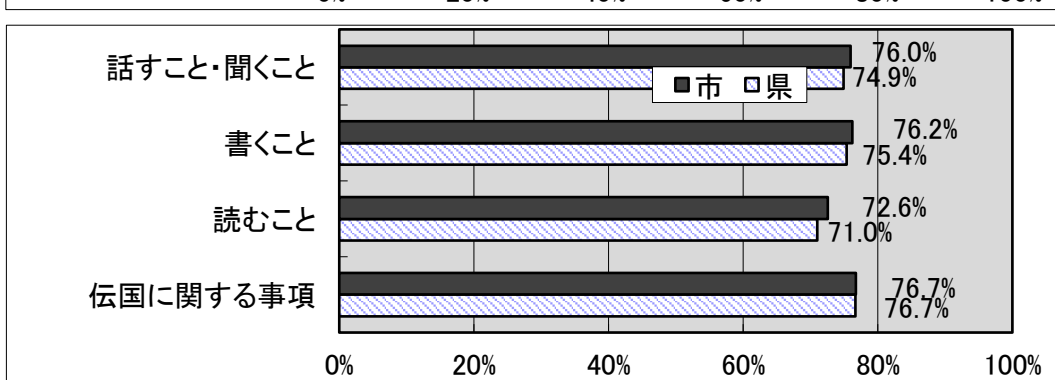
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	76.2%	75.0%	1.2
書くこと	84.6%	84.4%	0.2
読むこと	73.4%	73.1%	0.3
伝国	85.6%	84.9%	0.7



ウ 中学校第2学年

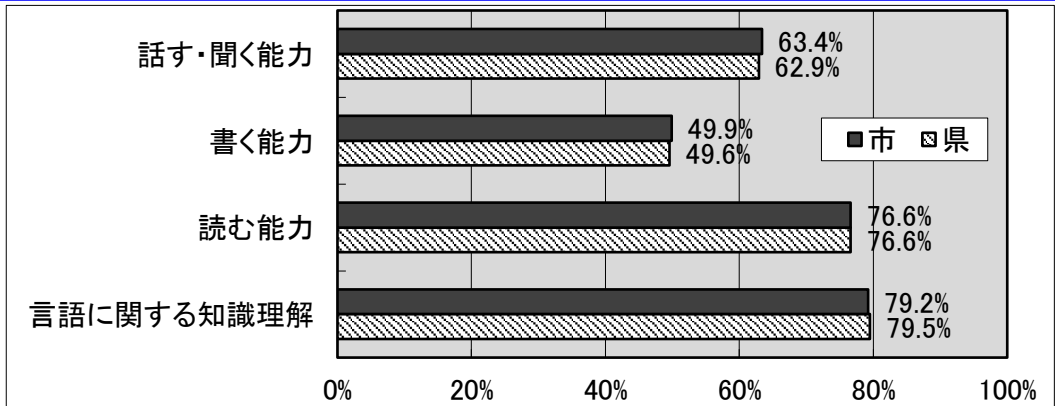
	平均通過率		県との差
	市	県	
話すこと・聞くこと	76.0%	74.9%	1.1
書くこと	76.2%	75.4%	0.8
読むこと	72.6%	71.0%	1.6
伝国	76.7%	76.7%	0.0



(3) 観点別平均通過率

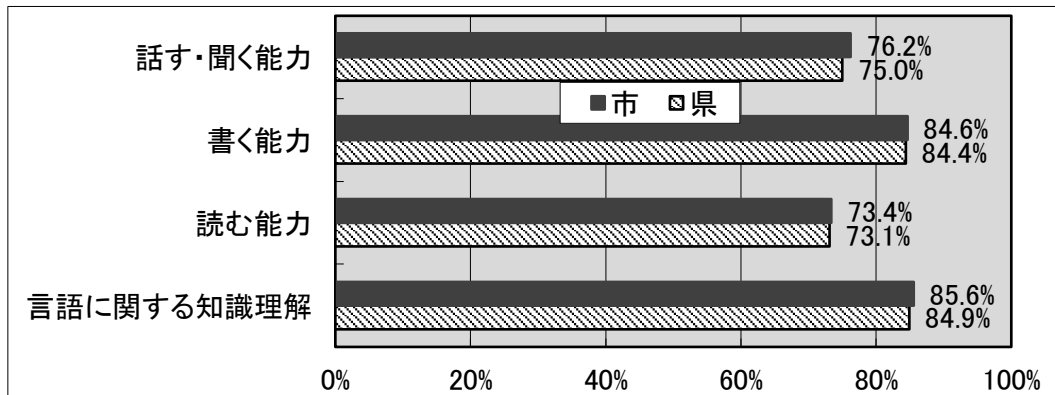
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	63.4%	62.9%	0.5
書く能力	49.9%	49.6%	0.3
読む能力	76.6%	76.6%	0.0
言語に関する知識理解	79.2%	79.5%	-0.3



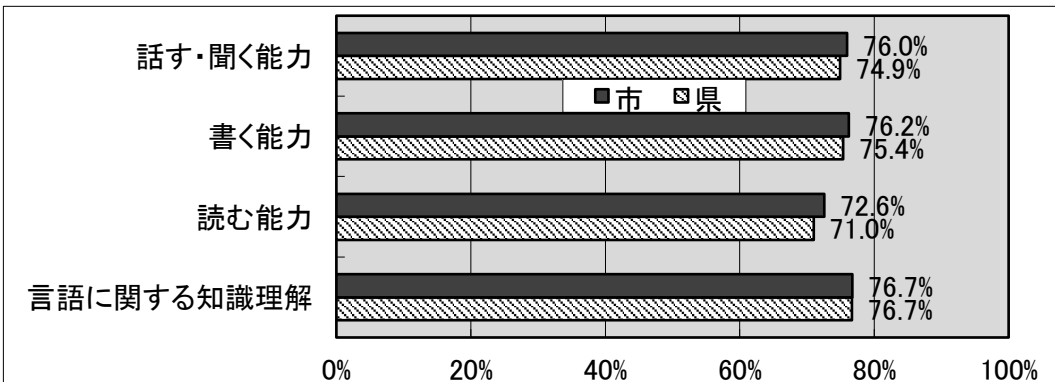
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	76.2%	75.0%	1.2
書く能力	84.6%	84.4%	0.2
読む能力	73.4%	73.1%	0.3
言語に関する知識理解	85.6%	84.9%	0.7



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
話す・聞く能力	76.0%	74.9%	1.1
書く能力	76.2%	75.4%	0.8
読む能力	72.6%	71.0%	1.6
言語に関する知識理解	76.7%	76.7%	0.0



- 「内容・領域別」、「観点別」の平均通過率は、ほとんどの項目で県を上回っている。
- ◆ 「読むこと」及び「読む能力」は、様々な文種やグラフを比較して読み、必要な情報を取捨選択し、まとめる学習過程を設定する。
- ◆ 小5の「言語に関する知識理解」においては、漢字や語彙を習得させるとともに、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使う活動に継続して取り組ませる。

(4) 小学校第5学年(国語)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内平均通過率			出題の意図								
					基礎・基本	思考・表現	話す・書く・読むこと	書くこと	読むこと	伝国	話す・聞く	書く	読む	言語	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現		無解答率							
1			ア	小3	○					○			○	94.9%		0.1%	94.1%		0.1%												
2			イ	小2	○					○			○	94.2%		0.1%	93.9%		0.2%				学年別漢字配当表に示されている漢字を文章の中で正しく読んだり、書いたりすることができるか。								
3		一	ウ	小4	○					○			○	53.1%		6.7%	54.9%		6.7%												
4	1		エ	小4	○					○			○	60.0%		4.2%	60.0%		4.4%												
5		2		小3	○			○				○		78.0%		0.1%	79.4%		0.1%			はがきを書くときのきまりを理解しているか。									
6		二	1	小3	○					○			○	92.3%		1.1%	92.3%		1.2%			日常使われている簡単な単語についてローマ字で表記されたものを読んだり、ローマ字で書いたりすることができるか。									
7			2	小3	○					○			○	55.9%		2.7%	50.0%		3.0%												
8		一	1	小4	○					○			○	89.2%		0.1%	89.7%		0.1%			接続語の果たす役割を理解しているか。									
9			2	小3	○					○			○	66.0%		0.2%	66.6%		0.3%			ことわざの意味を理解しているか。									
10		二		小5	○					○			○	92.1%		0.4%	92.0%		0.5%			相手や場面に応じて、敬語を適切に使うことができるか。									
11		三		小3	○					○			○	93.1%		0.4%	93.1%		0.5%			国語辞典の基本的な引き方を身に付けているか。									
12		四		小5	○					○			○	85.7%		0.5%	84.5%		0.6%			文の中での語句の係り方について理解しているか。									
13		五		小5	○				○				○	69.6%		0.8%	70.4%		1.0%			文章における語句と語句との関係を理解して読むことができるか。									
14		一		小2	○					○			○	65.5%		0.1%	68.1%		0.1%			ひとまとまりの文章を読んで、内容の大体を捉えることができるか。									
15		二		小4	○					○			○	59.8%		0.4%	60.5%		0.4%			目的に応じて、中心となる語や文を捉えて段落相互の関係を考え、文章を読むことができるか。									
16		3	①							○			○			92.3%	2.4%	91.2%	2.7%			事実と感想、意見などとの関係をおさえ、自分の考えを明確にしながら読むことができるか。									
17			②	小5		思・表 ₃				○			○			79.1%	2.5%	77.7%	2.8%												
18			③							○			○			91.7%	2.5%	89.7%	2.8%												
19		一		小5		思・表 ₃				○			○			78.3%	1.3%	78.9%	1.5%			目的に応じて、関連する二つの資料を比べて読むことができるか。									
20		二	①	小5		思・表 ₁	○			○			○			55.5%	0.3%	56.1%	0.3%			話し手の意図を捉えるために、効果的な質問をしながら聞くことができるか。									
21			②				○			○			○			70.4%	0.3%	70.8%	0.3%												
22		4	1	小5		思・表 ₂				○			○			66.2%	3.9%	66.5%	4.0%			表現の効果を確かめながら、引用して書くことができるか。									
23		三								○			○			44.4%	4.1%	44.0%	4.5%			グラフを用いながら、事実と意見を区別して書くことができるか。									
24			2	小5		思・表 ₃				○			○			38.0%	6.4%	39.1%	7.0%												
計		問題数	15	9	2	4	7	11	2	4	7	11																			
		出題割合	62.5%	37.5%	8.3%	16.7%	29.2%	45.8%	8.3%	16.7%	29.2%	45.8%																			
		平均通過率										76.6%			68.4%			1.7%			76.6%			68.2%			1.9%				
												73.6%						73.5%													

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1-1-1 (小4 漢字の書き)、大問1-2-2 (小3 ローマ字) 【基礎・基本】

2

にっぽん

↓

(R 2年問題)

2

きつぷ

↓

(H 31年問題)

1 右のはがきの中の——線部の漢字の読みをひらがなで、ひらがなは漢字で、それぞれ書きましょう。

ウ

多くのせいかをあげていた

二 次の1のローマ字の読み方をひらがなで書きましょう。また、2の言葉を、ローマ字で書きましょう。

漢字の書き		平均通過率
市	県	差
54.9%	53.1%	1.8

ローマ字		平均通過率
市	県	差
50.0%	55.9%	-5.9

(H31)ローマ字		平均通過率
市	県	差
48.1%	50.9%	-2.8

指導のポイント
 これまでも類似の問題が出題されており、引き続き課題である。
 漢字については、文中での意味を捉えさせ、繰り返し定着を図る。
 ローマ字に関しては、促音、拗音のある表現に繰り返し取り組ませ、定着を図る必要がある。

(イ) 大問4-3 (小5 グラフを用いながら、事実と意見を区別して書くことができる。)

【思考・表現】

【図3】

◆すじ道を立てて考えることが得意ですか【小学4～6年生】

■とても得意・やや得意 ■やや苦手・とても苦手 □無回答・不明

東京大学社会科学研究所・ベネッセ総合研究所調べ(2016年)

2 京子さんは、読むことで身に付くものの部分に、本を読むことで身に付くと考えられるものを上のグラフ【図3】を用いながら、書こうとしています。

【図3】のグラフから考えられることを次の条件にしたがって書きましょう。

〈条件〉

① 前と後の二つの部分に分けて書くこと。
 ② 前の部分には、調査の結果【図3】に表れている事実を、四十五字以上、九十字以内にとめて書くこと。
 ③ 後の部分には、その事実から考えられることを、二十五字以上、五十字以内にとめて書くこと。

①事実		平均通過率
市	県	差
44.0%	44.4%	-0.4

②意見		平均通過率
市	県	差
39.1%	38.0%	1.1

指導のポイント
 図やグラフ等の資料から読み取れること(事実)を根拠としながら、自分の考えを表現する設問である。日常の学習の中で、図読等を行ったり、経験など複数の根拠を挙げさせたりすることで、自分の考えを確かなものとさせる学習活動の充実を図る。
 また、問題文の意図や条件を正確に読むことも大切にさせる。

(5) 中学校第1学年(国語)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別				観点別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中問	小問	基礎・基本	思考・表現	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝国	話す・聞く	書く	読む	言語	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1		1	中1	○					○				○	99.3%		0.1%	98.9%		0.1%				中学校学習漢字(音)を読むことができるか。	
2		2	中1	○					○				○	98.0%		0.1%	98.2%		0.1%				中学校学習漢字(訓)を読むことができるか。	
3		3	小3 小4	○					○				○	87.4%		1.8%	90.3%		1.5%				小学校学習漢字を書くことができるか。	
4		二	小6	○					○				○	83.8%		0.1%	83.1%		0.0%				文意や熟語の意味から正しい漢字を判断することができるか。	
5	1	三	小6	○					○				○	88.2%		2.0%	88.9%		2.1%				漢字の部首名を正しく答えることができるか。	
6		四	中1	○					○				○	73.4%		0.0%	73.6%		0.0%				文節を理解し、適切に区切ることができるか。	
7		五	小5	○				○					○	83.4%		0.1%	84.4%		0.1%				文章における語句と語句との関係を理解して読むことができるか。	
8		六	1 中1	○				○					○	83.8%		0.2%	85.1%		0.2%				事実と意見を読み分け、目的に応じて要約することができるか。	
9		二	小5	○				○					○	67.9%		0.2%	69.8%		0.3%				文章の内容と図表を結び付けて捉えることができるか。	
10		一	小4	○					○				○	72.0%		0.1%	74.1%		0.2%				慣用語の意味を理解し、生活の中で正しく使うことができるか。	
11		2	1 中1	○					○				○	81.4%		1.5%	81.8%		1.4%				歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。	
12		二	2 中1	○					○				○	98.4%		0.1%	98.7%		0.1%				文脈に即して古語の意味を捉えることができるか。	
13		三	3 中1	○					○				○	84.1%		0.1%	84.3%		0.1%				古文の文脈を適切に捉え、動作主を判断することができるか。	
14		①	中1		思・表1	○				○					57.2%	2.3%		59.3%	2.2%				インタビューのやりとりの中で、相手の答えに応じた適切な質問を返すことができるか。	
15	3	②				○				○					90.3%	2.3%		91.4%	2.2%					
16		二	中1	○		○				○				77.6%		0.2%	77.9%		0.2%				話し合いやインタビューの内容から、適切な見出しを判断することができるか。	
17		一	中1	○				○					○	95.2%		0.3%	96.0%		0.3%				登場人物の心情について、描写を基に内容を理解することができるか。	
18		4	1 中1	○				○					○	67.9%		0.5%	69.4%		0.6%				擬人法などの表現の技法について理解しているか。	
19		二	2 中1		思・表1			○					○		69.5%	5.9%		68.4%	5.7%				場面の展開や登場人物の行動の意味について、描写を基に理解し、自分の考えをまとめることができるか。	
20								○					○		50.9%	6.1%		50.1%	6.1%					
21		一	中1	○				○					○	66.1%		0.6%	68.1%		0.8%				文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解することができるか。	
22		①	中1		思・表1			○					○		60.1%	4.6%		56.9%	4.6%				文の前後の関係を正しく捉え、叙述に即して内容を理解することができるか。	
23		②						○					○		81.3%	4.7%		81.5%	4.6%					
24		①	中1			○							○		80.1%	5.1%		80.1%	5.3%				文章に表れているものの見方や考え方に対して自分の考えをもち、その根拠と理由について、筋道立てて書くことができるか。	
25		②			思・表3	○							○		91.8%	5.0%		92.2%	5.3%					
26		③				○							○		81.4%	5.2%		81.6%	5.3%					
計		問題数	17	9	3	3	9	11	3	3	9	11												
		出題割合	65.4%	34.6%	11.5%	11.5%	34.6%	42.4%	11.5%	11.5%	34.6%	42.4%												
		平均通過率										82.8%	73.6%	1.9%	83.7%	73.5%	1.9%							
												79.6%			80.2%									

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4-2-1 (中1表現技法)、大問5-1 (中1文脈の中における語句の意味を的確に捉え、理解することができる。)【基礎・基本】

1

線部に「物語の表現」とあるが、本文中の「夜がうずくま
つている」「夜がどんどん逃げていく」に見られる表現方法を何とい
うか。次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

ア 直喩 イ 反復法 ウ 倒置法 エ 擬人法

一 空らん A B に当てはまる接続詞の組み合わせとして、
最も適切なものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

ア A そして B だから
イ A だから B ところが
ウ A ところで B しかし
エ A また B つまり

4 表現技法 平均通過率		
市	県	差
69.4%	67.9%	1.5

5 接続詞 平均通過率		
市	県	差
68.1%	66.1%	2.0

指導のポイント
「基礎・基本」については、
全体的に高い平均通過率であ
った。
表現方法については、用語
を理解するとともに、その効
果を生かした表現に取り組み
させる。
接続詞については、種類を
理解するだけにとどまらず、
文脈の中での意味を的確に捉
えさせ、日記やスピーチ等
でも継続して取り組みせ、定着
を図る。

(イ) 大問3-1 (インタビューのやりとりの中で、相手の答えに応じた適切な質問を返すことがで
きる。)、大問4-2-2 (場面の展開や登場人物の行動の意味について、描写を基に理解し、
自分の考えをまとめることができる。)【思考・表現】

2 「わたし」が、桜の木までとぼうとする行動には、どのような願
いが込められているのか。会話文の内容を参考にして「願い」とい
う言葉を用いながら、「わたし」の行動を説明せよ。

4 次の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。

一 【山下さんへのインタビュー】中の にふさわしい質
問を考えて、二十字以内で書け。

3 T中学校では、総合的な学習の時間に、自分たちが住む地域の
魅力を伝える地域紹介リーフレットを作ることになった。次は、リ
ーフレットを書くために、T町に長年住んでいる山下さんにインタ
ビューをしている様子である。これを読んで、後の各問いに答えな
さい。

山下… どの行事も好きだけど、特に好きなのは「ふるさと祭り」
と「立志の集い」かしら。

柴田… そうなんです。まずはふるさと祭りからお聞きしたいと
思います。ふるさと祭りは毎年千人以上が踊り手として参加
するお祭りだと聞いていますが、

3 インタビューの内容 平均通過率		
市	県	差
59.3%	57.2%	2.1
敬体とする 平均通過率		
市	県	差
91.4%	90.3%	1.1

4 「願い」の内容を明らかに		
市	県	差
68.4%	69.5%	-1.1
「願い」と「行動」を結び付ける		
市	県	差
50.1%	50.9%	-0.8

指導のポイント
インタビューについては、
目的意識、相手意識を明確に
して行うことが大切である。
相手の答えに応じて話題と関
連付けながら、質問を重ねて
いくように意識させる。
問題文の意図や条件に着目
して読ませ、心情や行動の描
写を関連付けて、論理的に答
える取組を図る。

(6) 中学校第2学年(国語)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中問	小問	出題 学年	問題内容別		内容領域別				観点別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
					基礎・ 基本	思考・ 表現	話す・ 聞く	書く・ こと	読む・ こと	伝 国	話す・ 聞く	書く・ 読む	言語	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答 率	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答 率	基礎・ 基本	思考・ 表現	無解答 率		
1			1	中1	○					○			○	62.9%		4.6%	64.7%		4.2%				中学校学習漢字(訓)を読むことができるか。	
2			2	中1	○					○			○	84.6%		0.1%	85.1%		0.1%				中学校学習漢字(音)を読むことができるか。	
3			3	小3	○					○			○	71.4%		2.3%	74.8%		2.2%				小学校学習漢字を書くことができるか。	
4			4	小6	○					○			○	84.8%		3.9%	83.3%		4.1%				小学校学習漢字を書くことができるか。	
5			1	中2	○					○			○	50.6%		0.4%	50.2%		0.4%				動詞の活用形を理解しているか。	
6	1		2	中2	○					○			○	69.9%		1.1%	69.1%		1.0%				敬語の種類を理解しているか。	
7			三	小4	○					○			○	76.2%		0.2%	77.4%		0.3%				熟語の構成を理解しているか。	
8			四	小4	○					○			○	67.1%		0.2%	67.5%		0.2%				慣用句の意味を理解し、生活の中で正しく使うことができるか。	
9			五	中2	○					○			○	72.6%		0.2%	69.3%		0.2%				行書の特徴を理解しているか。	
10			1	中1	○					○			○	86.1%		0.2%	86.7%		0.2%				事実と意見を読み分け、目的に応じて要約することができるか。	
11			2	小5	○					○			○	71.5%		0.3%	72.8%		0.2%				文章の内容と図表を結び付けて捉えることができるか。	
12			一	中1	○					○			○	91.6%		0.5%	92.2%		0.6%				歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直すことができるか。	
13			二	中2	○					○			○	83.5%		0.2%	83.9%		0.1%				言葉の意味を理解し、情景を正しく捉えることができるか。	
14			1	中2	○					○			○	87.4%		2.0%	88.0%		1.9%				古文を読み、文意を捉えることができるか。	
15			2	中2	○					○			○	92.1%		1.5%	91.9%		1.5%				インタビューの場面を振り返り、準備した質問の内容を捉えることができるか。	
16			一	中2	○					○			○	95.3%		0.2%	95.7%		0.1%				インタビューの場面を振り返り、準備した質問の内容を捉えることができるか。	
17			二	中2		思・表 1				○			○		82.4%	0.3%		83.5%	0.2%				質問とその回答から質問の仕方の問題点を捉えることができるか。	
18			①	中2		思・表 1				○			○		45.8%	9.0%		49.0%	9.5%				伝えたい事実や事柄を理解し、目的や状況に応じて工夫した表現ができるか。	
19			②	中2		思・表 1				○			○		76.0%	8.6%		75.6%	8.4%				伝えたい事実や事柄を理解し、目的や状況に応じて工夫した表現ができるか。	
20			一	中1	○					○			○	85.1%		4.9%	86.9%		4.5%				場面の展開や登場人物などの描写を捉えることができるか。	
21			二	中2	○					○			○	79.7%		0.4%	81.7%		0.3%				登場人物の言動の意味を考え、内容の理解に役立てることができるか。	
22			1	中2	○					○			○	82.3%		0.6%	83.5%		0.6%				描写の効果について考え、内容の理解に役立てることができるか。	
23			三	2	中2		思・表 1			○			○		49.6%	14.1%		50.7%	14.2%				登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解し、自分の考えをまとめることができるか。	
24			2	中2		思・表 1				○			○		56.8%	14.1%		58.4%	14.4%				登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解し、自分の考えをまとめることができるか。	
25			一	中1	○					○			○	66.2%		1.0%	67.4%		1.0%				目的や状況に応じて要約したり要旨を捉えたりすることができるか。	
26			二	中2		思・表 1				○			○		61.4%	1.5%		65.1%	1.4%				資料の特徴や構成、意図を正しく捉えることができるか。	
27			①	中2		思・表 3				○			○		79.9%	9.0%		80.4%	8.8%				目的に応じて題材を選び自分の考えをまとめた上で、段落の役割や構成を踏まえながら書くことができるか。	
28			②	中2		思・表 3				○			○		78.1%	9.1%		78.6%	9.0%				目的に応じて題材を選び自分の考えをまとめた上で、段落の役割や構成を踏まえながら書くことができるか。	
29			③	中2		思・表 3				○			○		68.2%	9.5%		69.7%	9.4%				目的に応じて題材を選び自分の考えをまとめた上で、段落の役割や構成を踏まえながら書くことができるか。	
計				問題数	20	9	4	3	9	13	4	3	9	13										
				出題割合	69.0%	31.0%	13.8%	10.4%	31.0%	44.8%	13.8%	10.4%	31.0%	44.8%										
															平均通過率									
															78.1%	66.4%	3.4%	78.6%	67.9%	3.4%				
															74.5%			75.3%						

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1-2-1 (中2 動詞の活用)、大問1-5 (中2 行書の特徴) 【基礎・基本】

1 動詞の活用 平均通過率		
市	県	差
50.2%	50.6%	-0.4

1 行書の特徴 平均通過率		
市	県	差
69.3%	72.6%	-3.3

指導のポイント
 動詞や形容詞 (R元39.4%) の活用について、活用形の意味や活用語尾に注目し、正しい言葉遣いを意識させ、確実に定着を図る。
 行書の通過率については、R元年度より18%高い。筆順が変わったり、点画が連続したりするなどの行書の特徴について、実際に学習に取り組む際に、課題となっている字以外についても例題を多く取り上げ、定着を図る。

1 次の——線部の動詞の活用形を次のアからカの中から一つ選び、その記号を書け。

それが間違いだ、あとで知った。

ア 未然形
 イ 連用形
 エ 連体形
 オ 仮定形
 カ 命令形
 ウ 終止形

五 次の行書で書かれた漢字のうち、楷書で書かれた漢字と比べた場合、筆順が変化しているものを次のアからエの中から一つ選び、その記号を書け。

ア 風
 イ 花
 ウ 雨
 エ 月

(イ) 大問4-3-2 (登場人物の言動の意味などを考え、内容を理解し、自分の考えをまとめることができる。) 【思考・表現】

「わたし」の思い・考え 平均通過率		
市	県	差
50.7%	49.6%	1.1
二人を対比的に表現 平均通過率		
58.4%	56.8%	1.6
無解答率		
14.2%	14.1%	-0.1

指導のポイント
 一つの文章を基に、意見交換をしている場面についての設問である。
 文章と意見交換の二つの資料を関連付けながら、「私」の心情の変化を捉えさせる。その際、心情が変化するきっかけとなる描写(転換点)に注目させることが大切である。
 また、登場人物を比較し、心情や行動の描写を関連付け、論理的に答える取組を継続するようにしたい。

4 次の文章を読み、あとの各問いに答えなさい。

(角田光代『これからはあるくのだ』から)

三 次は、この文章を読んだ後、表現の工夫に着目して意見交換をしている場面である。これを読んで、あとの各問いに答えよ。

本田… 「そこそこであることを心から恥じた。憎んだと言ってもいい。」という表現では、「恥じた」に「憎んだ」を重ねているけど、どうしてだろう。

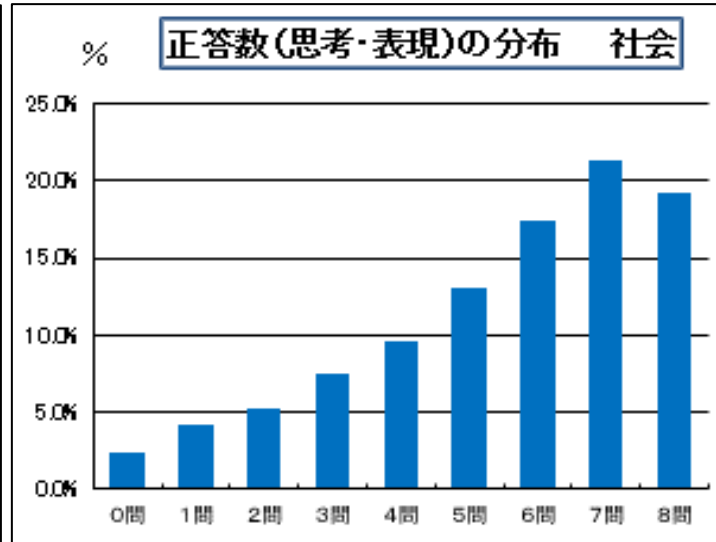
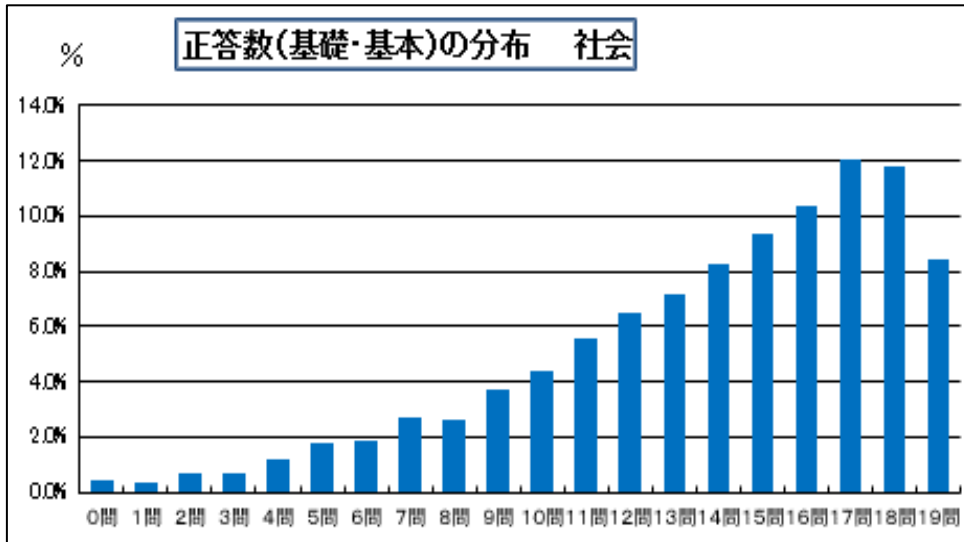
2 本田さんの言葉の——線部「どうしてだろう」に対する答えを次の条件に従って書け。

【条件】
 ① 「私がまなちゃん絵の絵から感じ取った思い」を明らかにした上で、「私」が自分自身に対して、どのような思いをもったのかを書くこと。
 ② 字数は問わない。

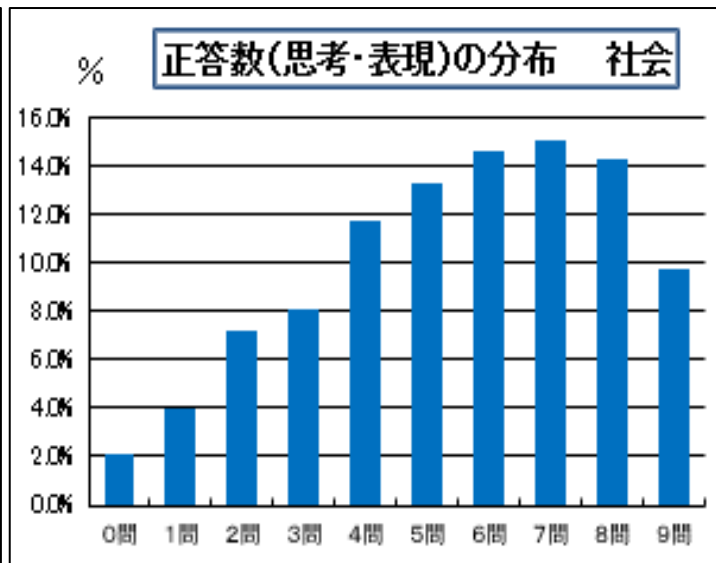
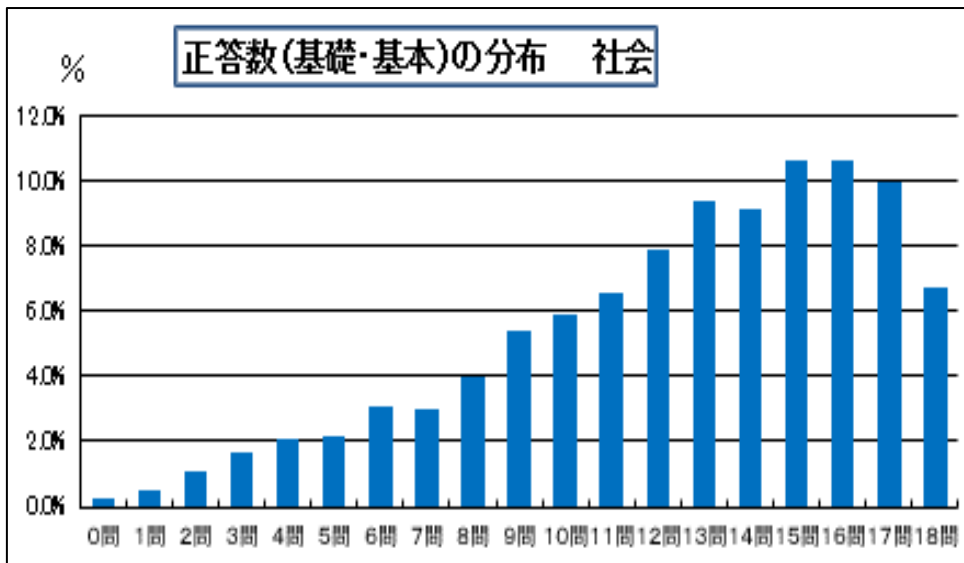
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	72.8%	73.6%	-0.8	68.7%	69.0%	-0.3	71.6%	72.2%	-0.6
中1	69.1%	67.2%	1.9	61.4%	60.1%	1.3	66.5%	64.9%	1.6
中2	60.8%	59.7%	1.1	64.9%	64.6%	0.3	62.0%	61.2%	0.8

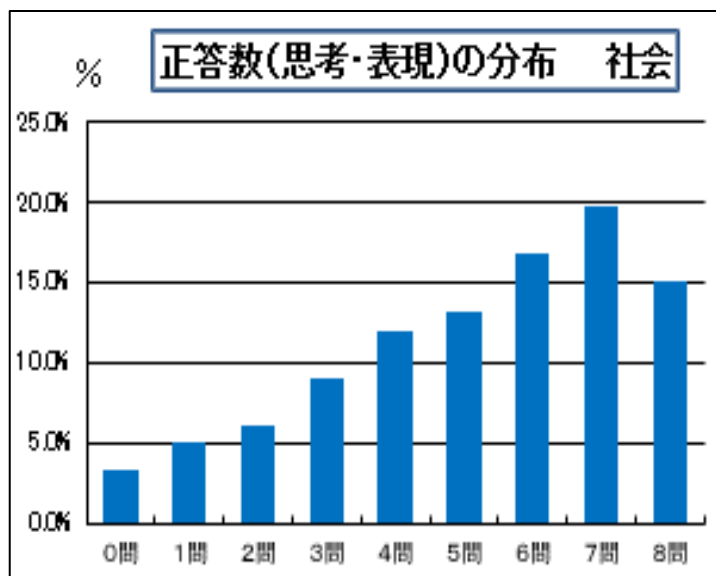
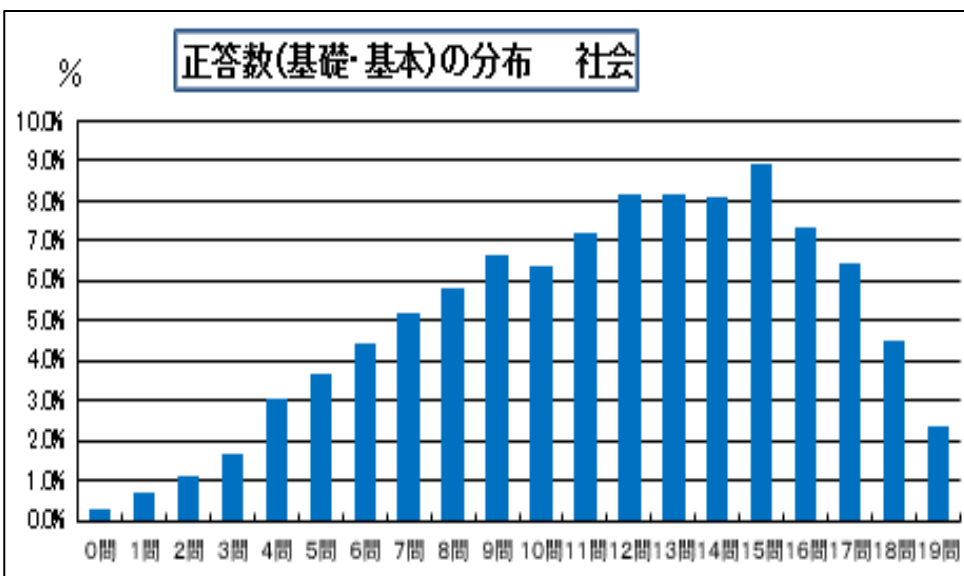
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

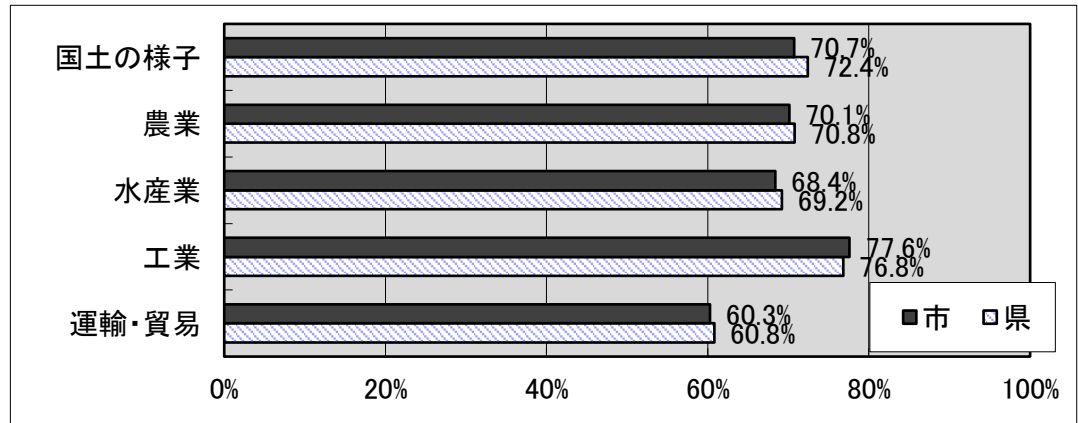


- 「全体」では、小5が県をやや下回ったが、平均通過率は昨年度に引き続き7割を超えている。中1、2は県を上回ったが、平均通過率では、7割に届いていない状況である。
- 「基礎・基本」では、小5は県を下回っている。中1、2は県を上回っているが、特に中2は、平均通過率が6割程度であり、課題が見られる。
- 「思考・表現」では、全ての学年で通過率が6割を超えている。中1と中2は県を上回っているが、小5は県を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 社会科での「基礎・基本」に関わる用語等については、毎時間、地図を掲示し活用したり、単元の振り返りを行ったりすることで、繰り返し授業で触れるようにしていく。
- ◆ 資料から読み取ったことをまとめたり、複数の資料を比較、関連付けて説明したりする学習活動を更に重点的に取り入れていくようにする。

(2) 内容・領域別平均通過率

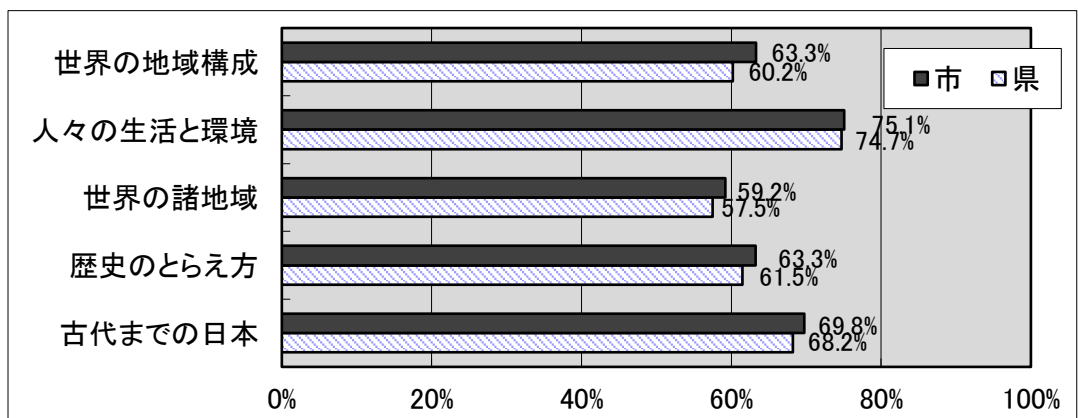
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
国土の様子	70.7%	72.4%	-1.8
農業	70.1%	70.8%	-0.7
水産業	68.4%	69.2%	-0.7
工業	77.6%	76.8%	0.8
運輸・貿易	60.3%	60.8%	-0.5



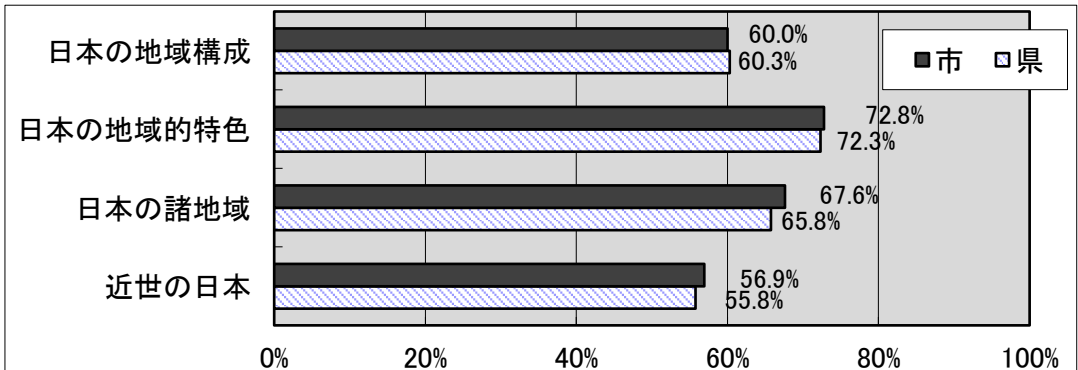
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
世界の地域構成	63.3%	60.2%	3.1
人々の生活と環境	75.1%	74.7%	0.3
世界の諸地域	59.2%	57.5%	1.7
歴史のとらえ方	63.3%	61.5%	1.8
古代までの日本	69.8%	68.2%	1.5



ウ 中学校第2学年

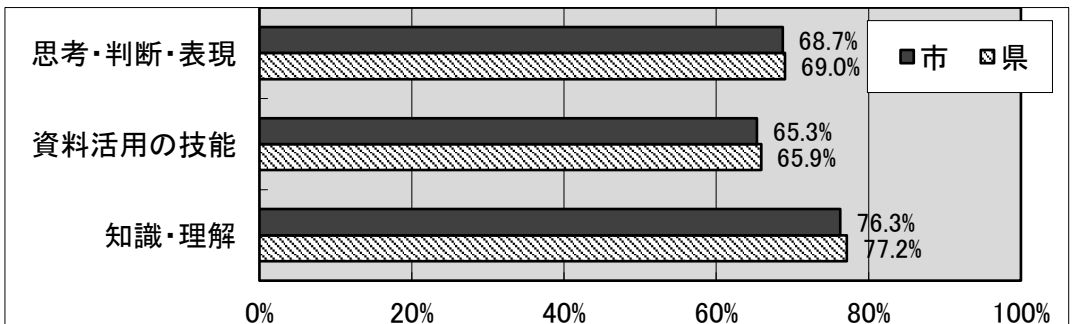
	平均通過率		県との差
	市	県	
日本の地域構成	60.0%	60.3%	-0.3
日本の地域的特色	72.8%	72.3%	0.4
日本の諸地域	67.6%	65.8%	1.9
近世の日本	56.9%	55.8%	1.1



(3) 観点別平均通過率

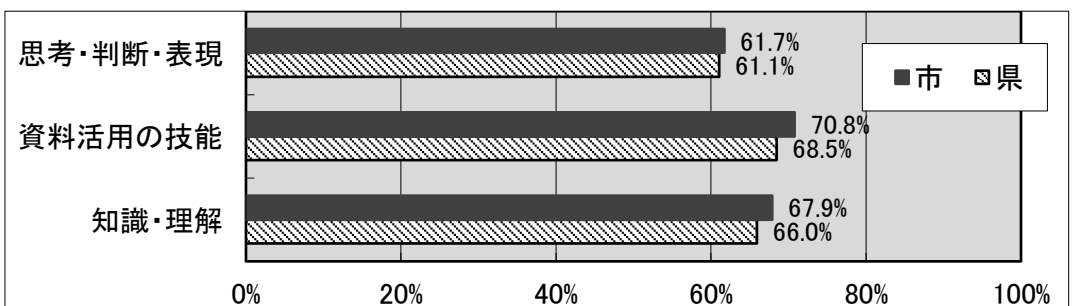
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	68.7%	69.0%	-0.3
資料活用の技能	65.3%	65.9%	-0.5
知識・理解	76.3%	77.2%	-0.9



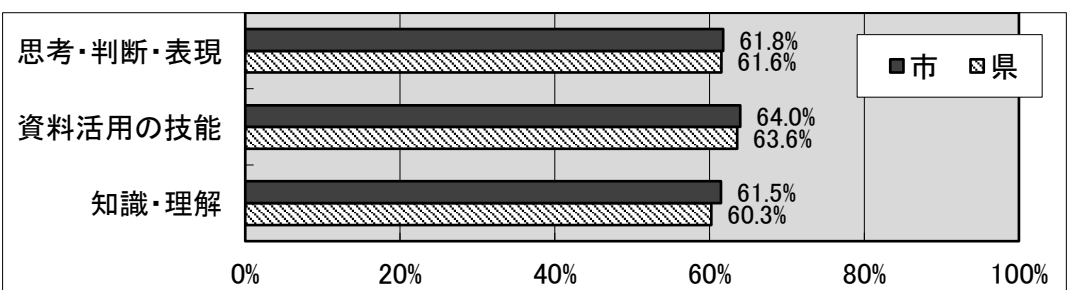
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	61.7%	61.1%	0.7
資料活用の技能	70.8%	68.5%	2.3
知識・理解	67.9%	66.0%	2.0



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
思考・判断・表現	61.8%	61.6%	0.2
資料活用の技能	64.0%	63.6%	0.4
知識・理解	61.5%	60.3%	1.2



- 内容・領域別では、小5においては「運輸・貿易」、中1では「世界の諸地域」、中2では「日本の地域構成」、「近世の日本」が、6割またはそれに満たない通過率である。
- 観点別平均通過率では、小5においては、全ての観点で県を下回っている。
- ◆ 小5の「運輸・貿易」と中2の「近世の日本」は、昨年度に引き続き平均通過率が低いので、各種調査等を活用して、学習内容の確実な定着が図られるようにする。
- ◆ 思考力、判断力、表現力を高めるために、自分の考えをまとめる学習活動では、選択・判断した理由や根拠を明確に記述するように指導を行う。

(4) 小学校第5学年(社会)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	設問			出題 学年	問題内容別		内容領域別					観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
	大問	中間	小問		基礎・基本	思考・表現	国土の様子	農業	水産業	工業	運輸・貿易	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1	1	(1)	①	小5	○	○							○	89.5%		1.4%	87.7%		1.9%					我が国の国土を構成する島の名称を理解できているか。	
2			③	小5	○	○								○	73.1%		3.3%	69.1%		4.1%					ロシア連邦によって占領されていることを理解できているか。
3			(2)	小5	○	○								○	65.4%		6.4%	59.7%		7.9%					北方領土の名称について理解できているか。
4			(3)	小5	○	○								○	68.5%		1.1%	65.4%		1.4%					我が国の領土について理解できているか。
5			(4)	小5	○	○								○	60.6%		2.3%	60.3%		2.6%					我が国の位置を他の国と方位を使って説明することができるか。
6	2	(1)	小5	○	○							○	89.2%		1.7%	90.1%		2.1%						我が国の国土の気候の特色を理解できているか。	
7		(2)	小5	○	○							○	75.8%		0.4%	75.0%		0.4%						各地の雨温図を比較して特色を読み取ることができ、また、それぞれの気候の特色を理解できているか。	
8		(3)	小5		思・表 2	○						○		57.5%	2.9%		58.3%	3.2%						提示された資料を比較して読み取ったことをもとに、人々が自然環境に適応して生活していることを説明することができるか。	
9	3	(1)	①	小5	○	○						○	66.3%		0.6%	64.5%		0.8%						資料からの読み取りができているか。	
10			②	小5	○	○							○	47.2%		0.8%	48.1%		1.0%						
11		(2)	小5	○	○								○	82.2%		4.6%	81.7%		5.3%					品種改良について理解できているか。	
12		(3)	小5		思・表 2	○							○		79.3%	2.2%		77.1%	2.5%						作業の様子の変化やその理由について、資料をもとに説明することができるか。
13			小5		思・表 1	○							○		77.3%	3.1%		75.9%	3.5%						
14	(4)	①	小5	○	○							○	66.8%		5.1%	65.7%		6.0%						食料自給率について理解できているか。	
15		②	小5		思・表 1	○						○		76.6%	4.6%		77.5%	4.6%						生産者の食の安全や安心のための工夫について、資料をもとに説明することができるか。	
16	4	(1)	小5	○	○							○	74.9%		2.0%	73.1%		2.4%						日本の近海の寒流や暖流の様子について、理解できているか。	
17		(2)	小5	○	○							○	54.7%		1.1%	55.0%		1.3%						資料を正しく読み取ることができているか。	
18		(3)	小5		思・表 2	○							○		71.6%	4.0%		71.2%	4.3%						我が国の水産業が抱える問題について、資料から読み取ったことを表現することができるか。
19		(4)	小5		思・表 1	○							○		75.5%	3.5%		74.4%	4.1%						我が国の水産業が抱える問題を解決する取組について資料から読み取ったことをもとに考え、表現することができるか。
20	5	(1)	小5	○	○							○	77.5%		0.5%	78.7%		0.6%						自動車の製造過程を理解できているか。	
21		(2)	小5		思・表 3	○						○		53.7%	1.7%		55.1%	2.0%						自動車会社の工場と関連工場の関係について、資料をもとに考えて指摘することができるか。	
22		(3)	小5	○	○								○	90.7%		1.6%	89.2%		1.9%					自動車工業に関する日本の輸出相手国を資料から読み取ることができているか。	
23		(4)	小5	○	○								○	87.9%		1.3%	87.8%		1.8%					効率のよい輸送手段、輸送費用を抑える工夫について理解できているか。	
24		(5)	小5	○	○								○	57.2%		9.3%	61.9%		9.5%						工業生産に関わる人々の工夫として、海外に生産拠点を設けていることを理解できているか。
25	6	(1)	①	小5	○	○						○	91.6%		2.9%	90.1%		4.0%						工業が盛んである一帯の総称、工業生産を支える海上輸送を理解できているか。	
26			②	小5	○	○							○	79.3%		4.0%	80.7%		4.9%						
27		(2)	小5		思・表 2	○							○		60.8%	2.4%		60.3%	3.0%						データ値に注目し、資料から読み取った事実をもとに輸出の割合の変化について考えることができるか。
計				問題数	19	8	8	7	4	7	1	8	6	13											
				出題割合	70.4%	29.6%	29.6%	25.9%	14.8%	25.9%	3.8%	29.6%	22.2%	48.2%											
				平均通過率	73.6%	69.0%	2.8%	72.8%	68.7%	3.2%															
					72.2%			71.6%																	

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1 第5学年「国土の様子」：北方領土
【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
59.7%	65.4%	-5.7
無解答率		
市	県	差
7.9%	6.4%	1.5

大問5 第5学年「日本の工業」：現地生産
【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
61.9%	57.2%	4.7
無解答率		
市	県	差
9.5%	9.3%	0.2

指導のポイント

平均通過率がどちらも60%前後であり、無解答率も高く、課題である。基礎的・基本的な知識であるため、確実な習得を図ることが大切である。

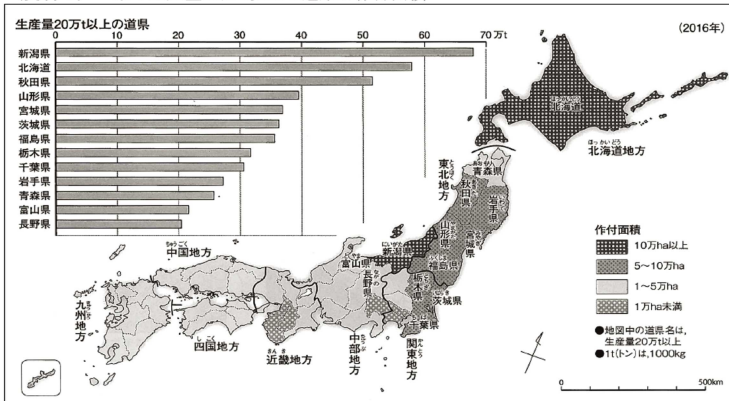
我が国の国土の様子については、国土の構成などに着目して、地図帳や地球儀、各種の資料で調べたりまとめたりすることを機会を捉えて継続的に行うようにする。

日本の工業については、外国との関わりなどに着目して、生産に関わる人々が様々な工夫や協力をしていることについて考え、工業生産を支えていることを理解できるようにする。

(イ) 大問3 第5学年「日本の食料生産」

(1) 資料1に関するAさんとBさんの会話中の、(①)、(②)にあてはまる言葉を書きましよう。

(資料1) 米の生産量20万t以上の道県と作付面積



Aさん：資料1を見ると、米は全国各地でつくられていることが分かるね。
Bさん：地方別に米の生産量をみると、(①)地方が最も多いよ。
Aさん：関東地方でも、米をたくさんつくっているんだね。
Bさん：本当だ。関東地方の中で、米の生産量が一番多い都道府県は、(②)だね。

【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
48.1%	47.2%	0.9

指導のポイント

本調査で平均通過率が最も低い問題である。

複数の資料を読み取る際には、それぞれの資料(地図、グラフ、表、写真等)にどのような内容が書かれているのか、自分の考えを説明したり、グループで話し合ったりする活動を充実させる。そして、それぞれの資料を関連付けられるように、共通点や相違点などについて着目させるようにする。

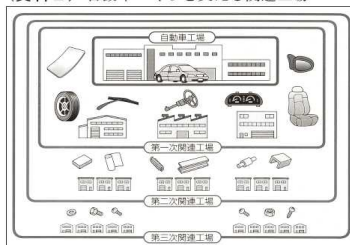
(ウ) 大問5 第5学年「日本の工業」

(2) 自動車会社の工場と関連工場(部品工場)の関係について話し合っています。資料1と資料2をもとにして、会話文の(①)には適切な語句を考えて書き、また、(②)にはあてはまる文をア～エの中から記号で選び、()の中にそれぞれ書きましよう。

(資料1) 自動車会社の工場と主な関連工場



(資料2) 自動車づくりを支える関連工場



Aさん：関連工場(部品工場)は、なぜ自動車工場の(①)にあることが多いのかな。
Bさん：必要な部品を、必要な時に、必要な量だけ届けることができるからだよ。
Aさん：なるほど。自動車工場は、(②)というよさがあるね。
Cさん：でも、関連工場で部品の生産が止まると、自動車が組み立てられなくなるという問題点があるよ。

- ア 余分な部品を置く場所が必要ない。
- イ ロボットによる作業だけで、自動車を組み立てることができる。
- ウ 部品が届かなくなるので、作業が中断する。
- エ その部品を使わないで、自動車を組み立てることになる。

①
②

【思考・表現3】

平均通過率		
市	県	差
55.1%	53.7%	1.4

指導のポイント

社会的事象について正しく説明しているものを、論理的に判断して選択する問題である。

複数の資料から事実を読み取り、関係機関の相互の連携や協力について、自動車工場と関連工場の複数の立場から多角的に考える活動を充実させる必要がある。

(5) 中学校第1学年(社会)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中間	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
					基礎・基本	思考・表現	世界の域構成	世界各地人の生活と環境	世界の諸地域	歴史のらえ方	古代で日本	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現		無解答率
1		(1)		中1	○		○						○	72.8%		1.8%	78.1%		1.3%				赤道が地図上のどこを通過しているかを大陸との位置関係から理解できているか。	
2		(2)		中1	○		○						○	76.0%		1.4%	77.9%		1.1%				三大洋の位置と名称を理解できているか。	
3	1	(3)		中1		思・表 ₃	○					○		47.3%	0.8%		49.8%	0.7%					的確に地図を読み取り、地球上の位置を、緯度と経度で示すことができているか。	
4		(4)		中1		思・表 ₁	○					○		44.6%	5.3%		47.2%	4.9%					地図の特色を正しく理解しているとともに、そのことを説明することができているか。	
5		(1)		中1	○		○					○		81.0%		0.4%	82.0%		0.4%				気候帯の特色と分布を理解できているか。	
6		(2)		中1	○		○					○		63.5%		0.3%	66.1%		0.4%				寒帯で暮らす人々の生活の様子を理解できているか。	
7	2	(3)		中1		思・表 ₂	○					○		80.1%	3.8%		76.1%	4.5%					雨温図の特徴を読み取り、熱帯地方の生活の様子を説明することができているか。	
8		(4)		中1	○		○					○		74.3%		1.0%	76.1%		1.0%				三大宗教の特徴について理解できているか。	
9		(1)		中1	○			○				○		52.2%		7.0%	50.5%		6.9%				フィリピンの位置とおもな農産物について理解できているか。	
10		(2)		中1	○			○				○		42.1%		2.0%	43.8%		1.9%				石油(原油)とそのおもな産出地を、地図上の位置と関連付けて理解できているか。	
11	3	(3)		中1		思・表 ₃		○				○		57.7%	0.7%		61.0%	0.8%					アジアの諸地域で進んでいる工業化について理解できているか。	
12		(4)		中1	○			○				○		60.6%		0.5%	61.2%		0.5%				ヨーロッパの自然環境について理解できているか。	
13		(5)		中1	○			○				○		82.1%		6.1%	85.3%		5.2%				EUの共通通貨について理解できているか。	
14		(6)		中1		思・表 ₂		○				○		50.0%	9.2%		53.3%	8.5%					資料の読み取りができ、モノカルチャー経済の課題について説明できているか。	
15		(1)		中1		思・表 ₃						○	○		56.0%	0.6%		57.9%	0.8%				四大河文明のそれぞれの特色を地図と資料を見ながら、説明している文を正しく判断し選択できているか。	
16		(2)		中1	○							○		85.7%		0.4%	87.8%		0.6%				万里の長城が建設された理由を理解できているか。	
17	4	(3)		中1	○							○		84.8%		7.0%	86.5%		6.5%				2世紀ごろの世界の東西交流であるシルクロードについて正しく理解できているか。	
18		(4)		小6 中1		思・表 _{1, 2}						○	○		80.8%	3.9%		81.0%	3.9%				弥生時代における農耕文化の広まりと、稲作がはじまったことでの社会の変化について説明することができているか。	
19		(5)		小6 中1	○							○		81.1%		4.4%	82.6%		4.1%				我が国に多く見られる古墳の名称を理解できているか。	
20		(1)		中1	○							○		56.5%		0.6%	58.3%		0.9%				家系図の読み取りができているか。	
21		(2)		中1	○							○		53.3%		0.7%	55.5%		1.0%				律令国家成立に至るまでの東アジアとの接触や交流の様子を理解できているか。	
22	5	(3)		中1		思・表 ₂						○	○		68.5%	8.5%		66.6%	8.8%				奈良時代の農民の生活について、資料をもとに説明することができているか。	
23		(4)		中1	○							○		59.9%		4.7%	61.8%		4.2%				平安時代の文化について、正しく理解できているか。	
24		(5)		中1		思・表 ₃						○		55.9%	0.8%		59.6%	1.0%					各時代の文化や時代の流れについて、正しく理解できているか。	
25		(1)		中1	○							○		71.3%		2.2%	72.2%		2.2%				世紀の表し方を理解できているか。	
26	6	(2)		中1	○							○		66.2%		5.9%	68.2%		6.5%				時代を区分する表し方を理解できているか。	
27		(3)		小6	○							○		46.9%		0.9%	49.4%		1.1%				小学校で学習した歴史上の人物に関係するできごとについて理解できているか。	
計				問題数	18	9	4	4	6	3	10	7	2	18										
				出題割合	66.7%	33.3%	14.8%	14.8%	22.2%	11.1%	37.1%	25.9%	7.4%	66.7%										
				平均通過率										67.2%	60.1%	3.0%	69.1%	61.4%	2.9%					
													64.9%			66.5%								

イ 特に課題のあった設問

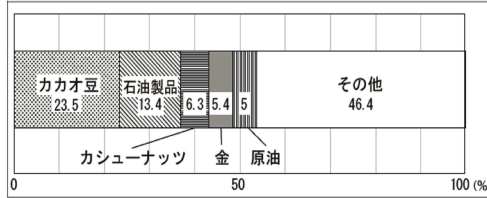
(ア) 大問3 第1学年「アフリカ」

(6) 地図3中のコートジボワールは、チョコレートの原料となるカカオ豆の生産が、世界第一位の国である。資料1は、コートジボワールの輸出品目の割合を示しており、また、資料2は、カカオ豆1kg当たりの価格の推移を示している。コートジボワールの産業が抱える課題について述べた下の説明文の()にあてはまる文を、「収入」という語句を用いて答えよ。

(地図3)

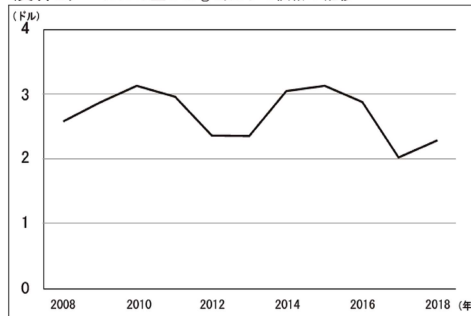


(資料1) コートジボワールの輸出品目の割合



(データブックオブザワールド2019より作成)

(資料2) カカオ豆1kg当たりの価格の推移



(IMF - Primary Commodity Pricesより作成)

(説明文)

資料1のコートジボワールの輸出品目から、カカオ豆は全体の約4分の1を占める、主要な輸出品目であることが分かる。また、資料2から、カカオ豆1kg当たりの価格が、年によって大きく変動していることが分かる。このことから、コートジボワールの産業は、()が課題と考えられる。

【思考・表現2】

平均通過率		
市	県	差
53.3%	50.0%	3.3
無解答率		
市	県	差
8.5%	9.2%	-0.7

指導のポイント

二つの資料を読み取り、モノカルチャー経済の課題について説明する問題である。平均通過率が53.3%、無解答率が8.5%と課題である。まず、地図がアフリカ大陸だと分かること、そして、二つの資料から分かることを関連付けて、アフリカの産業の課題を説明することが求められる。

地理の授業では、毎時間、地図帳や掛け地図などを活用し、世界の諸地域を概観することが大切である。そして、既習の地域と比較するなどして、その地域の特色を資料等を基に読み取り、自分の考えをまとめたり、話し合ったりする活動を充実させる必要がある。

無解答を減らすためには毎時間の終末に、本時で追究したことを生徒自身が文章でまとめる時間を確保することが大切となる。

(イ) 大問6 小学6年、第1学年「近代：明治時代」

(3) 資料は、略年表中の江戸時代末期から明治時代に日本で活躍した、鹿児島県出身の大久保利通である。この人物に關係するできごと等を、次のア～エから選び、記号で答えよ。

(資料)



- ア 岩倉使節団の一員として欧米を視察し、また、明治政府の中心となって国力の充実に努めた。
- イ 幕府の役人だったこの人物は、戦いを早期に終わらせ、江戸のまちを戦火から守るために、江戸城の開城について話し合った。
- ウ この人物を中心に、生活に不満をもつ士族による反乱が起こったが、政府の軍隊によってしずめられた。
- エ 長崎で海運、貿易を行う組織を作ったり、薩摩と長州の同盟(薩長同盟)を結ばせたりした。

【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
49.4%	46.9%	2.5

指導のポイント

小学6年で学習した内容であり、鹿児島の有名な人物を扱った問題であるが、平均通過率は50%を下回っている。

中学校の学習では、小学校で学んできた内容を教師が把握し、授業の中でそれを確認しながら中学校の学習内容と関連付けていくことが求められる。特に、歴史上の人物の功績については、暗記中心になりがちであるので、その時代背景と人物の関係性や、他の人物との比較によって、理解させることが重要である。

(6) 中学校第2学年(社会)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中間	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図						
					基礎・基本	思考・表現	日本の地域構成	日本の地域的特色	日本の諸地域	近世の日本	思考・判断・表現	観察・資料活用	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率							
1		(1)		中2	○		○					○		36.7%		0.2%	36.7%		0.2%				地図上の経線を使って、時差の計算を正しくできているか。						
2		(2)		中2	○		○					○		69.9%		0.4%	70.7%		0.4%				日本と同緯度、同経度にある国を地図上で正しく読み取ることができるか。						
3	1	(3)		中2	○		○					○		61.4%		0.1%	59.9%		0.1%				尖閣諸島の名称を正しく理解できているか。						
4		(4)		中2		思・表 ₁	○					○			74.0%	9.6%		72.0%	11.1%				排他的経済水域を失うことで、日本の資源が得られなくなることを理解できているか。						
5		(5)		中2	○		○					○		59.5%		3.3%	60.8%		3.6%				地域の様々な特色をもとに、都道府県の名称と位置を理解することができるか。						
6		(1)		中2	○			○				○		81.7%		6.7%	83.3%		6.5%				リアス海岸の特徴について理解できているか。						
7		(2)		中2		思・表 ₂		○				○			81.4%	4.1%		81.1%	4.1%				日本の川と世界の川の特徴を比較し、正しく説明することができるか。						
8	2	(3)		中2	○			○				○		63.8%		0.8%	64.5%		0.9%				地域によって異なる日本の気候について、雨温図を用いて理解できているか。						
9		(4)		中2		思・表 ₂		○				○			58.9%	7.2%		58.0%	7.5%				日本の工業地帯や工業地帯の特色について理解できているか。また、日本最大の工業地帯である中京工業地帯の特色を説明できているか。						
10		(5)		中2	○			○				○		75.8%		0.7%	77.0%		0.8%				第三次産業の業種について、正しく理解できているか。						
11		(1)		中2	○				○			○		63.4%		9.9%	64.8%		10.1%				カルデラの地形の特色を正しく理解できているか。						
12		(2)		中2		思・表 ₃			○			○			77.7%	0.4%		78.4%	0.5%				中国・四国地方の過疎地域の特色について、正しく資料を読み取っているか。						
13	3	(3)		中2	○				○			○		70.2%		0.5%	74.6%		0.5%				近畿地方の工業の特色や人口問題等について、正しく理解できているか。						
14		(4)		中2		思・表 ₂			○			○			50.9%	16.1%		52.4%	15.6%				北陸地方の特色ある産業の様子について、雨温図を使い、気候と関連付けて説明することができるか。						
15		(1)		中2	○				○			○		61.9%		0.5%	63.3%		0.6%				新航路の開拓について理解できているか。						
16		(2)		中2	○				○			○		48.7%		21.3%	53.2%		21.1%				中世ヨーロッパの文化の動きについて、理解できているか。						
17	4	(3)		中2	○				○			○		54.5%		1.4%	60.1%		1.5%				南蛮貿易の輸出品について正しく理解できているか。						
18		(4)		中2		思・表 ₂			○			○			59.2%	9.5%		62.6%	9.6%				豊臣秀吉の刀狩や太閤検地の政策を正しく理解し、説明することができるか。						
19		(5)		中2	○				○			○		65.3%		0.6%	63.7%		0.7%				桃山文化を代表する建造物等について理解できているか。						
20		(1)		中2	○				○			○		80.3%		4.0%	79.9%		4.8%				江戸幕府を開いた人物を正しく理解できているか。						
21		(2)		中2	○				○			○		51.4%		2.3%	53.0%		2.7%				鎖国体制下における貿易の特徴を正しく理解できているか。						
22	5	(3)		中2		思・表 ₂			○			○			69.7%	10.4%		69.6%	10.2%				江戸時代における幕府や松前藩とアイヌとの関係について、正しく理解し、説明することができるか。						
23		(4)		中2	○				○			○		44.2%		1.2%	44.9%		1.5%				江戸時代初期におけるキリスト教に関連する出来事を正しく理解できているか。						
24		(1)		中2	○				○			○		55.6%		11.7%	56.1%		11.3%				大阪に置かれた諸藩の蔵屋敷の名称とその役割について、正しく理解できているか。						
25		(2)		中2	○				○			○		53.1%		1.9%	52.2%		2.1%				享保の改革の内容について正しく理解できているか。						
26	6	(3)		中2		思・表 ₁			○			○			44.2%	13.7%		44.3%	13.6%				工場制手工業(マニファクチュア)の生産方法の特色を正しく理解し、説明することができるか。						
27		(4)		中2	○				○			○		37.3%		1.4%	37.2%		1.4%				元禄文化や化政文化の代表作品について理解できているか。						
計				問題数	19	8	5	5	4	13	6	5	16																
				出題割合	70.4%	29.6%	18.5%	18.5%	14.8%	48.2%	22.2%	18.5%	59.3%																
				平均通過率							59.7%			64.6%			5.2%			60.8%			64.9%			5.3%			
													61.2%						62.0%										

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1 第2学年「日本の地域構成」

(地図1)

(1) 地図1中の東京、バンクーバー、ロンドンの時差について、あとの問いに答えよ。

- ・ 経度15度で、1時間の時差がある。
- ・ ロンドンは、経度0度（本初子午線）に位置している。
- ・ 日本の時刻は、兵庫県明石市の東経135度を基準にしている。

① 東京が1月16日午前6時のとき、ロンドンは何月何日何時か、次のア～エから一つ選び、記号で答えよ。

ア 1月15日午後9時 イ 1月15日午前9時
ウ 1月16日午後3時 エ 1月16日午前3時

② 東京、バンクーバー、ロンドンの三つの都市の中で、一番最初に日付が変わる都市はどれか答えよ。

【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
36.7%	36.7%	0

指導のポイント

平均通過率が36.7%と低く、課題が継続している時差の問題である。

留意するポイントは二つある。一つは、東京とロンドンの経度の差が135度であるので、 $135 \div 15$ で時差は9時間という点である。

もう一つが、地球は反時計回りに自転しているため、日付変更線の西から新たな一日が始まるという点である。つまり、東京が一番早く日付が変わるので、ロンドンの現在の時刻は、東京の9時間前となる。

これらのことを、地図を見ながら、生徒が説明できるようにしていくことで、確実な定着を図りたい。

(イ) 大問6 第2学年「近世：江戸時代」

(3) 19世紀ごろから商人や地主のなかには、資料2のような新しい生産方法（工場制手工業、マニュ（資料2）ファクトリア）を始める者が現れた。

この生産方法の特色を、資料2にえがかれている様子から読み取り、下の文に続くように説明せよ。

働き手を一つの工場に集めて、

【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
44.3%	44.2%	0.1
無解答率		
市	県	差
13.6%	13.7%	-0.1

指導のポイント

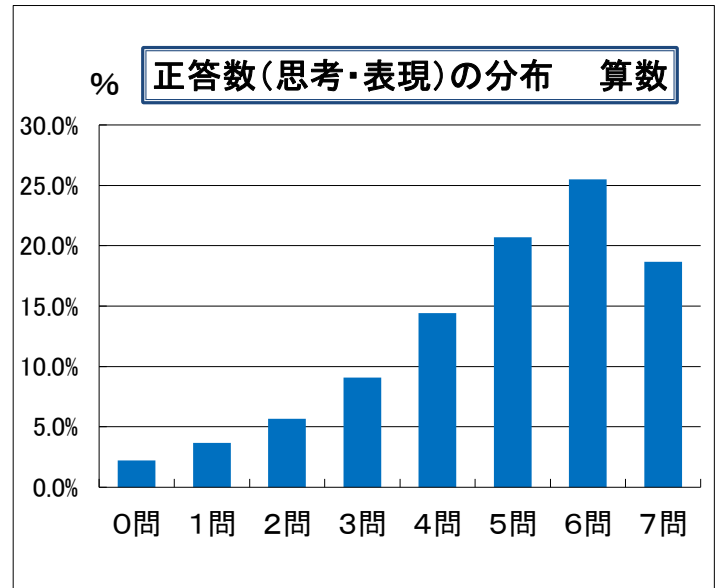
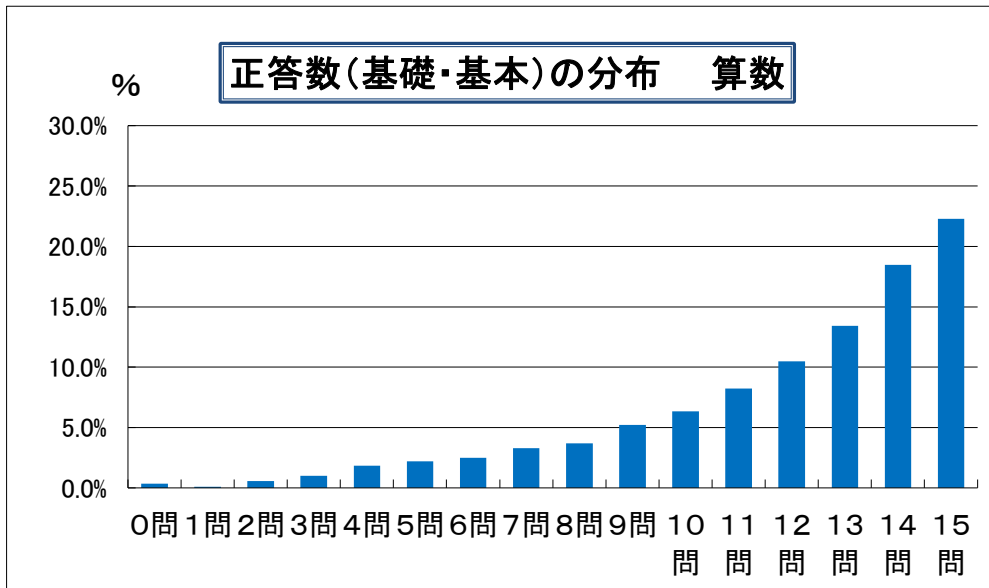
市の平均通過率が44.3%と低く、一方無解答率が13.6%と高い。

授業では、これまでの生産方法とマニュファクトリアの相違点を時代背景や資料から考え、文章でまとめる活動の充実を図る必要がある。また、かごしま学力向上支援Webシステム上の評価問題等を活用していくことも、思考力、判断力、表現力等を高める上で効果的である。

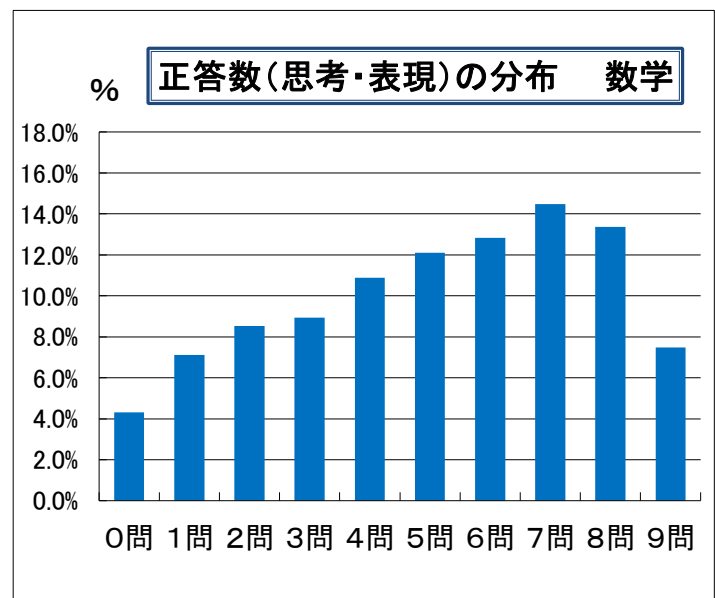
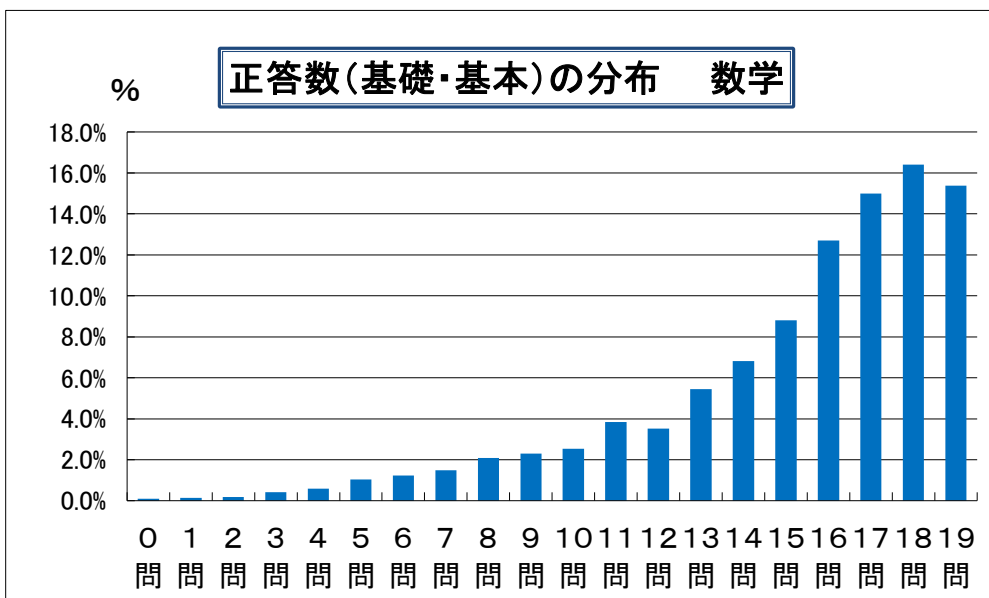
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	79.2%	79.9%	-0.7	69.9%	69.7%	0.2	76.2%	76.7%	-0.5
中1	79.9%	79.2%	0.7	56.4%	54.6%	1.8	72.4%	71.3%	1.1
中2	67.1%	65.9%	1.2	52.7%	50.9%	1.8	62.1%	60.7%	1.4

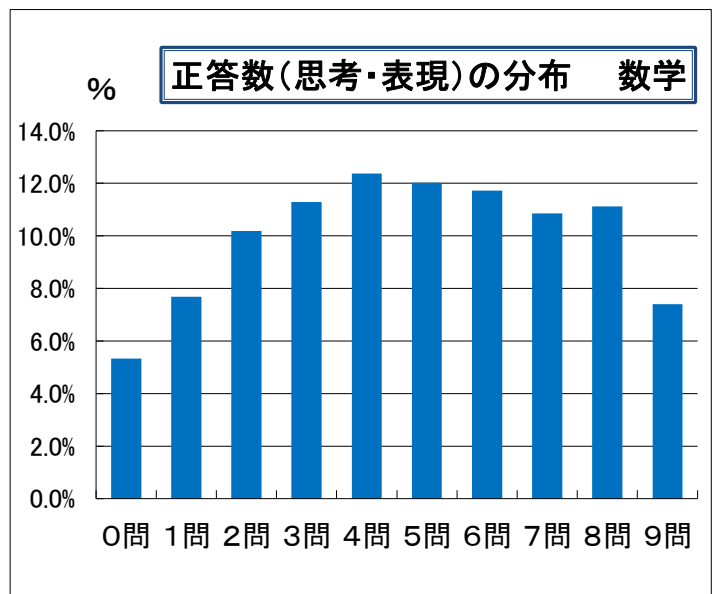
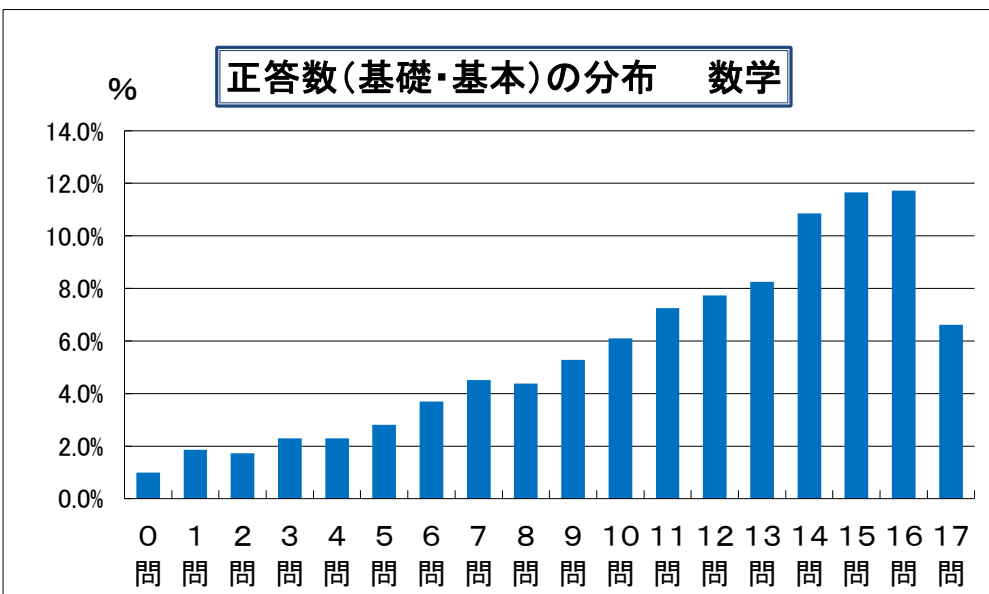
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

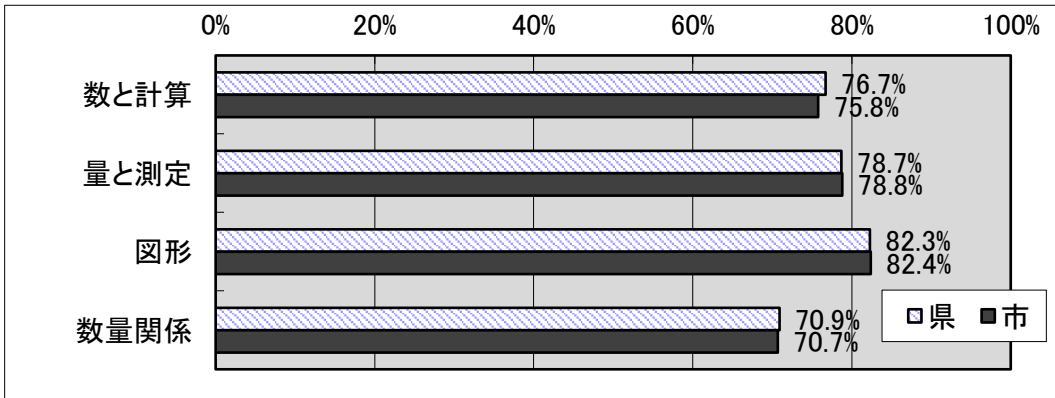


- 全体では、中1、2は県を上回っており、小5は下回っている。県の目標値（7割）は、小5、中1が上回っている。
- 「基礎・基本」では、中1、2は県を上回っているが、小5は県を下回っている。中2の平均通過率は、7割を満たしていない状況が見られる。
- 「思考・表現」では、全てにおいて県の目標値である5割を上回っている。
- ◆ 昨年度に引き続き、小5の「基礎・基本」が県を下回っている。出題内容に着目すると、「余りのある小数の除法」、「最小公倍数の意味」等昨年度も県を下回っていた問題が、今年度も同様に下回っている。通過率の低い問題について、補充指導を行い、定着を図ることが大切である。

(2) 内容・領域別平均通過率

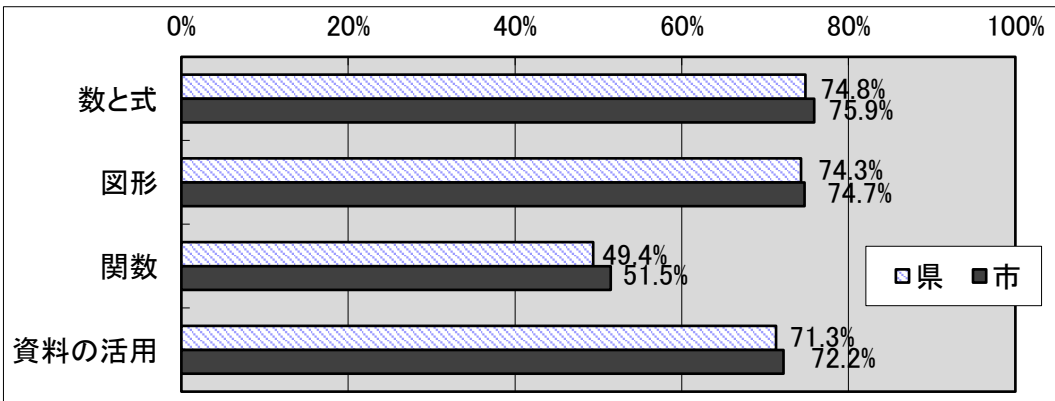
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
数と計算	75.8%	76.7%	-0.9
量と測定	78.8%	78.7%	0.1
図形	82.4%	82.3%	0.1
数量関係	70.7%	70.9%	-0.2



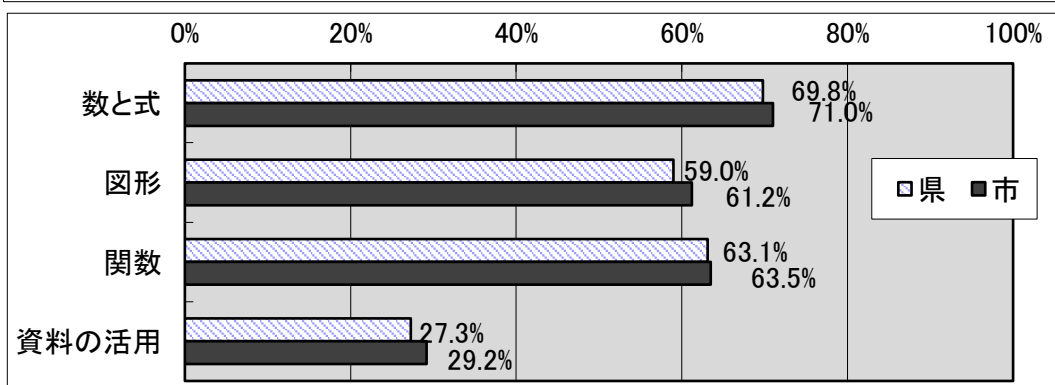
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
数と式	75.9%	74.8%	1.1
図形	74.7%	74.3%	0.4
関数	51.5%	49.4%	2.1
資料の活用	72.2%	71.3%	0.9



ウ 中学校第2学年

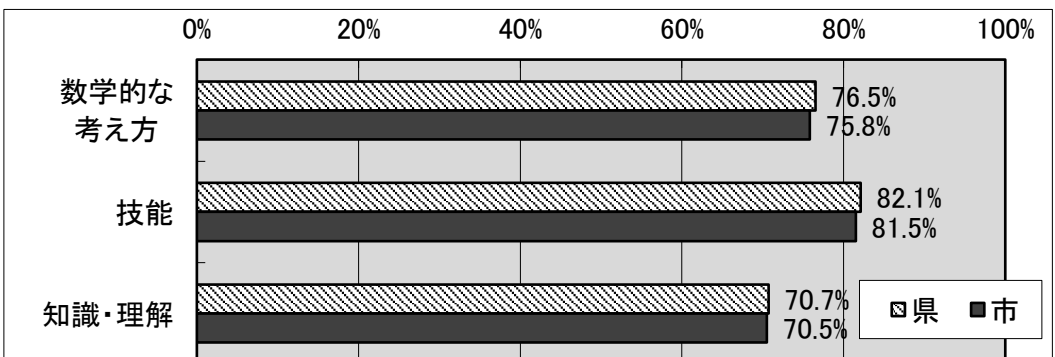
	平均通過率		県との差
	市	県	
数と式	71.0%	69.8%	1.2
図形	61.2%	59.0%	2.2
関数	63.5%	63.1%	0.4
資料の活用	29.2%	27.3%	1.9



(3) 観点別平均通過率

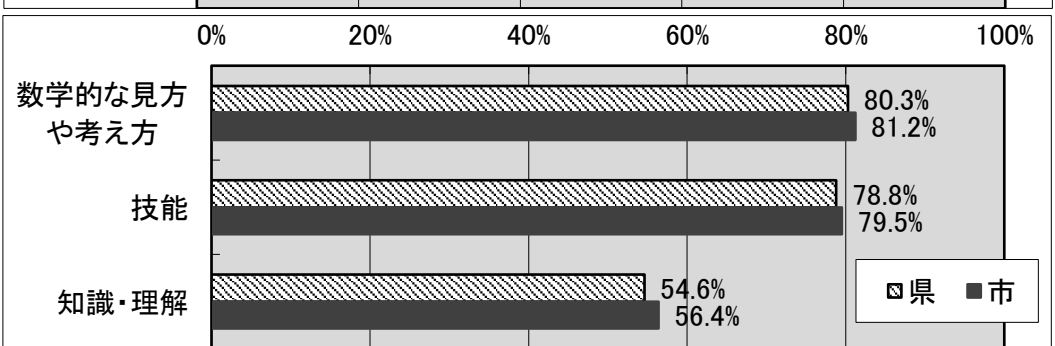
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な考え方	70.5%	70.7%	-0.2
技能	81.5%	82.1%	-0.6
知識・理解	75.8%	76.5%	-0.7



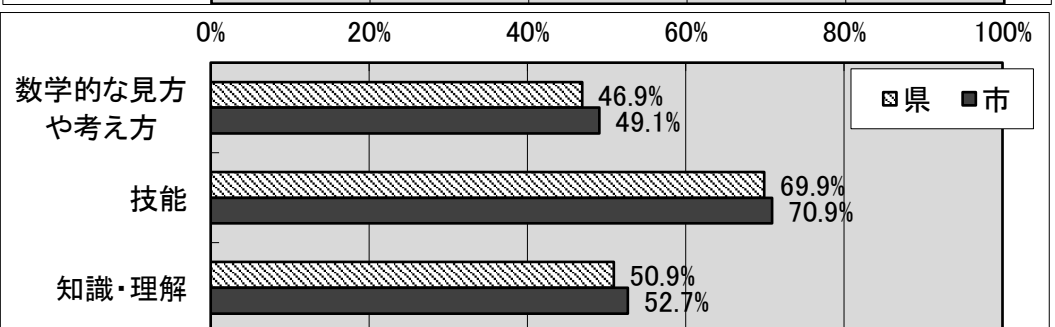
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な見方や考え方	56.4%	54.6%	1.8
技能	79.5%	78.8%	0.7
知識・理解	81.2%	80.3%	0.9



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
数学的な見方や考え方	52.7%	50.9%	1.8
技能	70.9%	69.9%	1.0
知識・理解	49.1%	46.9%	2.2



- 内容・領域別平均通過率では、小5の「数と計算」と「数量関係」が県を下回っている。
- 観点別平均通過率では、小5の全てが県を下回っている。中2の「知識・理解」は5割を下回っている。
- ◆ 内容・領域別通過率では、小5において、昨年度同様に「数と計算」、「数量関係」が県を下回っており、特に「数と計算」では、差が広がっている。「数と計算」の基準量と比較量の関係を問う問題では、数量の関係を図や数直線などに表し、その際、数直線上の数量の対応関係や大小関係を的確に捉えることができるようにすることが大切である。

(4) 小学校第5学年(算数)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

大問	設問		出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
	大問	中間		小問	基礎・基本	思考・表現	数と計算	量と測定	図形	数量関係	数学的な考え方	技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	
1		(1)	小2	○		○					○		98.4%		0.0%	98.4%		0.0%				2位数同士の繰り上がりのある加法を正しく計算することができるか。
2		(2)	小3	○		○					○		81.9%		0.3%	80.9%		0.5%				整数と小数の減法を位をそろえて正しく計算することができるか。
3	1	(3)	小5	○		○					○		80.8%		0.9%	78.0%		1.1%				余りのある小数の除法を正しく計算することができるか。
4		(4)	小5	○		○					○		76.5%		1.2%	76.9%		1.4%				整数部分から真分数部分への繰り下がりがある異分母分数の減法を正しく計算することができるか。
5		(5)	小5	○		○					○		78.6%		0.4%	77.6%		0.5%				計算に関して成り立つ性質を用いて、正しく計算することができるか。
6		(1)	小5	○		○					○		70.4%		0.1%	68.6%		0.1%				乗数と積、除数と商の大小関係を正しく理解しているか。
7	2	(2)	小5	○		○					○		61.0%		0.1%	58.7%		0.2%				文章で示された基準量と比較量の関係について正しく表した図を選択することができるか。
8		(1)	小5	○		○					○		79.9%		1.0%	79.7%		1.1%				最大公約数の意味を正しく理解し、答えを求めることができるか。
9	3	(2)	小5	○		○					○		77.2%		1.5%	75.9%		1.8%				最小公倍数の意味を正しく理解し、答えを求めることができるか。
10		(1)	小4	○				○			○		82.2%		0.1%	81.6%		0.1%				提示された2つの四角形の対角線の性質を正しく理解しているか。
11	4	(2)	小5	○				○			○		76.8%		0.2%	77.1%		0.3%				合同な三角形を作図するために必要な条件を理解しているか。
12	5		小5	○			○				○		63.9%		1.4%	63.7%		1.4%				マス目から必要な長さを求め、それを利用して台形の面積を求めることができるか。
13	6		小5	○			○				○		86.3%		1.0%	86.3%		1.0%				必要な辺の長さを求積公式に当てはめ、体積を求めることができるか。
14		(1)	小4	○					○		○		98.0%		0.1%	97.9%		0.1%				2つの数量の関係を表に整理することができるか。
15	7	(2)	小4	○					○	○			87.3%		1.0%	87.1%		1.2%				2つの数量の関係を読み取り、答えを求めることができるか。
16		(1)	小5		思・表 ₃					○	○		90.5%	1.2%		91.1%	1.3%					示された五角形の内角の和の求め方を解釈し、適切な式を判断することができるか。
17	8	(2)	小5		思・表 ₃						○	○	79.9%	0.9%		80.0%	1.0%					示された六角形の内角の和の求め方を解釈し、適切な図や式を判断することができるか。
18		(1)	小5		思・表 ₁					○	○		86.0%	0.9%		86.4%	0.9%					2つの量の割合で捉えられる数量を、単位量当たりの大きさを用いて比べることができるか。
19	9	(2)	小3		思・表 ₂	○					○		62.4%	4.9%		62.9%	5.0%					余りのある除法から適切に判断し、説明することができるか。
20		(1)	小4		思・表 ₁						○	○	72.8%	1.0%		73.2%	0.9%					2つの観点から分類整理した二次元の表から、必要なデータを読み取ることができるか。
21	10	(2)	小4		思・表 ₁						○	○	56.7%	1.1%		57.3%	1.1%					折れ線グラフを用いることが適切である事象を、選択することができるか。
22		(3)	小4		思・表 ₃						○	○	39.6%	5.2%		38.1%	5.3%					目盛りの間隔が異なる2つの折れ線グラフを比べ、それぞれの変化量を読み取り、変化の様子を説明することができるか。
計			問題数	15	7	10	3	4	5	9	10	3										
			出題割合	68.2%	31.8%	45.5%	13.6%	18.2%	22.7%	40.9%	45.5%	13.6%										
			平均通過率	79.9%			69.7%			1.1%			79.2%			69.9%			1.2%			
				76.7%						76.2%												

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1 第5学年「小数のわり算」

(3) $3.9 \div 0.7$
 (商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

《平成30年度の類似問題》

(3) $8.3 \div 1.5$
 (商は整数で求め、あまりも出しましょう。)

【基礎・基本】

令和元年度平均通過率		
市	県	差
78.0%	80.8%	-2.8
平成30年度平均通過率		
市	県	差
74.5%	76.3%	-1.8

【基礎・基本】

令和元年度平均通過率		
市	県	差
58.7%	60.0%	-1.3
平成30年度平均通過率		
市	県	差
59.7%	59.7%	0.0

(イ) 大問2 第5学年「数量関係」

(2) 兄と弟は、長さのちがうものさしを持っています。弟のものさしの長さは、兄のものさしの長さの0.6倍です。ものさしの長さの関係を正しく表している図を次のア～エの中から1つ選び、の中にその記号を書きましょう。

ア

《平成30年度の類似問題》

(2) 兄と弟は、長さのちがうものさしを持っています。弟のものさしの長さは、兄のものさしの長さの0.6倍です。ものさしの長さの関係を表している図を次のア～ウの中から選び、の中にその記号を書きましょう。

ア

指導のポイント

平成30年度とほぼ同一問題であるが、県を下回っており、その差が広がっている。
 かごしま学力向上支援Webシステムの評価問題や過去の調査問題等を活用し、定着度を確認する必要がある。

(ウ) 大問10 第4学年「折れ線グラフ」

10 A小学校の図書委員会では、4月から7月までの本の貸出冊数^{かしたしるすつう}を、かべ新聞にまとめることにしました。まずは、4月から7月までの本の貸出の目標冊数(30冊以上)を達成した人数について、5・6年生110人に調査し、その結果を下のようにまとめました。

・目標冊数を達成している人数	90人	・5年生の人数	50人
・6年生で、目標冊数を達成していない人数	12人		

よしきさんは、ゆうかさんのアドバイスをもとに、5・6年生の本の貸出冊数の変化の様子を、それぞれ折れ線グラフにまとめました。

(冊) 5年生の本の貸出冊数

(冊) 6年生の本の貸出冊数

よしき

5月に比べて6月は、5年生も6年生も本の貸出冊数が減っているね。折れ線グラフの貸出冊数の変わり方に注目すると、5年生に比べて、6年生の方が大きく下がっているね。だから、6年生の方が、5月から6月までの本の貸出冊数の減り方は大きいことが分かるよ。

よしきさんの言っていることは、まちがっているよ。

ゆうか

(3) ゆうかさんの言うとおり、よしきさんの考えの下線部分は、まちがっています。まちがいの理由を、貸出冊数に着目して、言葉や数を使って書きましょう。

【思考・表現3】

平均通過率		
市	県	差
38.1%	39.6%	-1.5
無解答率		
市	県	差
5.3%	5.2%	0.1

指導のポイント

目盛りの間隔が異なる2つの折れ線グラフを比べ、それぞれの変化量を読み取り、変化の様子を説明する問題である。昨年度も同様の出題があり、比較すると若干の改善は見られたが、引き続き課題である。

グラフについて、紙面の大きさや目的に応じて、適切な目盛りの大きさやグラフ全体の大きさを決めることができるようにする。その際、同じグラフであっても、縦軸の幅を変えることなどによって、見え方が異なることに気付かせる。また、グラフから値を読み取り、比較したり、自分の考えを数学的な表現を用いてノートに記述し伝え合ったりする活動を重視し、取り組ませていく必要がある。

(5) 中学校第1学年(数学)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	出題学年	問題内容別	内容領域別				観点別				県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図	
			基礎・基本	思考・表現	数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え方の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率		
1	1	(1)	中1	○		○				○		91.6%		0.1%	92.5%		0.0%				正・負の数の加法の計算ができるか。
2		(2)	中1	○		○				○		82.3%		0.2%	83.0%		0.2%				負の数の累乗の計算ができるか。
3		(3)	中1	○		○				○		83.4%		0.5%	83.8%		0.5%				正・負の数の四則の混じった計算ができるか。
4		(4)	中1	○		○				○		71.9%		3.5%	71.5%		3.5%				1次式と数の除法の計算ができるか。
5		(5)	中1	○		○				○		64.2%		3.8%	63.8%		4.0%				分配法則を使い、同類項をまとめることができるか。
6		2	中1	○		○				○		90.4%		0.2%	91.1%		0.2%				正・負の数、0の大小関係が理解できているか。
7		3	中1		思・表1	○				○			81.0%	3.4%		82.4%	3.2%				平均を求めるために、正・負の数を利用して式をつくることができるか。
8	2	1	中1	○		○				○		71.5%		0.7%	73.2%		0.5%				数の集合と四則計算の可能性について理解しているか。
9		2	中1	○		○				○		84.8%		3.3%	86.7%		2.7%				文字に数を代入し、式の値を求めることができるか。
10		3	中1	○		○				○		77.5%		4.4%	79.2%		4.1%				1次方程式を解くことができるか。
11		4	中1	○		○				○		58.3%		4.7%	62.0%		4.0%				具体的な事象から数量関係を捉え、不等式で表すことができるか。
12		5	小6	○				○			○		48.1%		0.9%	49.6%		1.1%			グラフから、数量関係が比例の関係であることを見いだすことができるか。
13		(1)	小6	○				○			○		90.8%		1.6%	90.9%		1.7%			与えられた資料から、表を完成させることができるか。
14		(2)	小6		思・表3			○	○					49.3%	8.2%		51.2%	8.1%			合計の異なる2つの資料を比較するために、割合をそれぞれ求めて説明することができるか。
15	3	1	小4	○			○				○		95.8%		0.3%	96.1%		0.4%			立体の展開図を組み立てたときにできる立体の名前を理解しているか。
16		2	小4	○			○				○		95.6%		0.6%	95.9%		0.8%			立体の展開図を組み立てたときの面と平行な面の位置関係を理解しているか。
17		3	小6	○			○				○		68.4%		2.7%	67.9%		3.0%			立体の体積を求めることができるか。
18	4	(1)	中1		思・表3		○						80.1%	0.8%		81.5%	0.9%				図形の移動について考えることができるか。
19		(2)	中1		思・表3		○						16.8%	7.6%		19.1%	7.7%				図形の移動について考えることができるか。
20		2	中1	○		○					○		88.0%		3.2%	87.6%		3.8%			中点を作図するために、垂直二等分線を利用することができるか。
21	5	1	中1	○		○					○		78.8%		1.4%	79.1%		1.6%			問題の指示された条件に従って、枚数を求めることができるか。
22		2	中1		思・表1	○					○		63.4%	3.6%		65.3%	4.0%				規則性に気付き、文字式を利用して表現することができるか。
23		3	中1		思・表2	○					○		47.8%	7.4%		49.6%	7.5%				新たな条件のもと、文字式を利用して枚数の過不足を判断し、その理由を説明することができるか。
24	6	1	小6	○			○				○		70.2%		7.4%	71.9%		6.9%			与えられた条件から速さを求めることができるか。
25		2	小6		思・表3		○	○					29.9%	12.6%		33.0%	11.8%				道のりと速さの関係から、判断の理由を説明することができるか。
26	7	1	小6	○			○				○		93.4%		3.7%	93.1%		3.8%			組み合わせを考えるための図を完成させることができるか。
27		2	小6		思・表1		○	○					68.2%	5.7%		68.8%	5.6%				組み合わせの重なりに着目し、もれなく組み合わせの数を求めることができるか。
28		3	小6		思・表2		○	○					54.7%	6.6%		56.9%	6.4%				示された考え方を利用して、組み合わせの数を重なりやもれがないよう求めることができるか。
計		問題数	19	9	14	6	3	5	9	14	5										
		出題割合	67.9%	32.1%	50.0%	21.4%	10.7%	17.9%	32.1%	50.0%	17.9%										
		平均通過率	79.2%			54.6%			3.5%			79.9%			56.4%			3.5%			
			71.3%									72.4%									

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問3 小学校6学年「立体の体積」

3 下の図は、ある立体の展開図である。辺ABと辺BJ、辺FEと辺EGはそれぞれ垂直に交わる。このとき、次の1～3の各問いに答えなさい。

3 この展開図を組み立ててできる立体の体積は何 cm^3 か。

《平成30年度の類似問題》

【基礎・基本】

令和元年度平均通過率		
市	県	差
67.9%	68.4%	-0.5
平成30年度平均通過率		
市	県	差
44.9%	42.9%	2.0

指導のポイント

展開図から組み立てた立体の体積を求める「基礎・基本」の問題であり、昨年度も同様に出現されている。今回は、底面の形が考えやすい図形であったため、平均通過率は、昨年度を上回っているが、県と比較すると下回っている。

展開図から立体を具体的につくる活動等を通して、一つの立体図形から、一通りではなく幾つかの展開図をかくことができることや、展開図からできあがる立体図形を想像できるようになることが大切である。また、立体の体積の求め方については、図形を構成する要素などに着目させ、図形の面積の学習と関連付けながら、具体的な立体を用いるなどして丁寧に繰り返し指導を行うことが重要である。

(イ) 大問6 小学校6学年「道のりと速さ」

6 はるかさんとけいすけさんは、午前10時30分に公園で会う約束をした。はるかさんは午前10時に家を出発し、公園まで歩いて行き、けいすけさんも午前10時に家を出発し、コンビニエンスストアで買い物をして、はるかさんの家の前を通って、公園まで自転車で行く。はるかさんの家から公園までは1.5km、けいすけさんの家からコンビニエンスストアまでは2km、公園までは4kmあり、この様子を表したものが下のグラフと図である。このとき、次の1、2の各問いに答えなさい。

【グラフ】

【図】

2 けいすけさんは、コンビニエンスストアで買い物を終え、次のように考えた。

はるかさんと約束の時刻は、午前10時30分だったな。午前10時20分にコンビニエンスストアを出て、午前10時30分までに公園に着くには、時速15kmで進めばいいな。

けいすけさんは、約束の時刻に間に合うか。次のア、イのいずれかを選び、記号で答えよ。また、そのように判断した理由を数や式を用いて説明せよ。

ア 間に合う イ 間に合わない

【思考・表現3】

平均通過率		
市	県	差
33.0%	29.9%	3.1
無解答率		
市	県	差
11.8%	12.6%	-0.8

指導のポイント

道のりと速さの関係から判断の理由を説明することに課題が見られ、無解答率も高い。

日常生活や社会の事象を考察する場面では、与えられた表から必要な情報を選択したり、グラフを事象に即して捉えたりして、数学的な結果を事象に即して解釈できるようにすることが大切である。事象を理想化したり、単純化したりして数学の問題として捉え、日常生活における問題を数学を活用して解決できるように指導することが大切である。

(6) 中学校第2学年(数学)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図
					基礎・基本	思考・表現	数と式	図形	関数	資料の活用	数学的な見方や考え	技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	
1	1	1	(1)	中1	○		○				○			93.2%		0.4%	93.8%		0.4%				正・負の数の四則の混じった計算ができるか。
2			(2)	中2	○		○				○			83.4%		0.7%	83.2%		0.9%				多項式と多項式の減法ができるか。
3			(3)	中2	○		○				○			83.0%		0.6%	82.7%		0.6%				負の符号がついた単項式の累乗の計算ができるか。
4			(4)	中2	○		○				○			88.7%		3.4%	88.7%		3.8%				単項式の除法ができるか。
5		2	中2	○		○				○			62.6%		4.7%	62.6%		5.1%				文字式を計算し、文字に数を代入し、式の値を求めることができるか。	
6		3	中2	○		○				○			60.1%		11.2%	61.0%		11.8%				等式の性質を用いて、等式を変形できるか。	
7	2	1	中2	○		○				○			79.0%		5.4%	80.3%		5.6%				加減法や代入法を利用して、連立方程式を解くことができるか。	
8		2	中2	○		○				○			35.1%		11.6%	39.9%		12.2%				数量の関係を捉え、2元1次方程式を立式できるか。	
9	3	1	中1	○			○				○		66.3%		8.0%	64.8%		10.0%				辺上にない点から引いた垂線の作図ができるか。	
10		2	中2	○			○				○		65.1%		2.2%	68.7%		2.5%				補助線をひき、平行線の性質を用いて角度を求めることができるか。	
11		3	中2	○			○				○		62.2%		5.3%	66.1%		6.2%				証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解しているか。	
12		4	中1	○			○				○		46.6%		9.8%	49.0%		10.1%				直角三角形が回転移動することによってできた円錐の体積を求めることができるか。	
13	4	1	中1	○				○					58.5%		7.3%	59.5%		7.4%				比例の式を求めることができるか。	
14		2	中1	○				○					61.6%		1.8%	62.2%		2.2%				反比例のグラフの特徴を理解しているか。	
15	5	1	中2	○		○					○		77.7%		6.1%	79.2%		6.3%				問題場面における考察の対象を適切に捉えることができるか。	
16		2	中2		思・表 ₃	○					○		39.8%	16.9%		42.0%	17.6%					予想された考えを、文字を利用して説明することができるか。	
17		3	中2		思・表 ₂	○					○		65.5%	17.6%		67.1%	18.4%					発展的に考え、予想した事柄を説明することができるか。	
18	6	1	中2		思・表 ₃		○				○		71.4%	1.6%		74.0%	2.0%					与えられた図形を基に、五角形の内角の和を求める式を判断することができるか。	
19		2	中2		思・表 ₂		○				○		67.9%	5.9%		70.4%	6.5%					五角形の内角の和を求める式の意味を読み取ることができるか。	
20		3	中2		思・表 ₂		○				○		33.2%	32.3%		35.3%	32.8%					n角形の外角の和を求めることができるか。	
21	7	1	中1	○				○					79.9%		3.7%	79.3%		4.2%				グラフの一部がどのような事象に対応しているのかを読み取ることができるか。	
22		2	中1		思・表 ₁			○			○		71.1%	2.8%		71.3%	3.1%					グラフの2点のy座標の差を事象に即して解釈することができるか。	
23		3	中1		思・表 ₂			○			○		44.2%	9.3%		45.1%	10.4%					与えられた条件から比例のグラフをかくことができるか。また、グラフから必要な数量を読み取ることができるか。	
24	8	1	中1	○					○			○	16.9%	15.0%		19.0%		14.4%				与えられた資料の代表値を適切に求めることができるか。	
25		2	中1		思・表 ₁					○	○		31.2%	36.1%		32.3%	35.6%					資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるか。	
26		3	中1		思・表 ₁					○	○		33.7%	9.2%		36.2%	9.0%					ヒストグラムや適切な代表値を基に、資料の傾向を読み取り、説明することができるか。	
計		問題数		17	9	11	7	5	3	9	14	3											
		出題割合		65.4%	34.6%	42.3%	26.9%	19.2%	11.6%	34.6%	53.8%	11.6%											
		平均通過率		65.9%			50.9%			8.8%			67.1%			52.7%			9.2%				
				60.7%			62.1%																

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第1学年「作図」

1 次の図の△ABCで、頂点Bから辺ACへの垂線を定規とコンパスを使って作図せよ。ただし、作図に用いた線は残しておくこと。

《平成30年度の類似問題》

【基礎・基本】

令和元年度平均通過率		
市	県	差
64.8%	66.3%	-1.5
令和元年度無解答率		
市	県	差
10.0%	8.0%	2.0
平成30年度平均通過率		
市	県	差
76.5%	76.8%	-0.3
平成30年度無解答率		
市	県	差
8.1%	8.3%	-0.2

指導のポイント

一つの頂点から対辺へ垂線を作図する「基礎・基本」の問題であり、昨年度も同様に出題されている。昨年度との違いは、三角形の向きであるが、平均通過率は、昨年度を下回っており、県との差も広がっている。

作図の方法を一方的に与えるのではなく、図形の対称性や図形を決定する要素に着目して作図の方法を見だし、その方法を図形の性質や関係に基づいて説明する活動を大切にすることが重要である。また、今年度の出題にあったように、頻出の図形以外の様々な作図にも取り組ませていく。

(イ) 大問8 第1学年「資料の活用」

※ 問題文 一部省略

8 ボランティア委員長のそうたさんは、下の「お知らせ」を出して、朝のボランティア活動を実施した。このとき、次の1～3の各問いに答えなさい。
そうたさんは、下のように各学年の参加者ごとの参加日数を度数分布表にまとめた。

参加日数(日)	度数(人)			合計
	1年生	2年生	3年生	
以上 未満				
0 ～ 5	7	7	6	20
5 ～ 10	5	6	4	15
10 ～ 15	6	7	2	15
15 ～ 20	0	4	1	5
20 ～ 25	24	14	27	65
25 ～ 30	18	10	12	40
合計	60	48	52	160

- 度数分布表から求められる最頻値は、どの学年も同じである。その値を求めよ。
- そうたさんは、表彰する学年を決めるために、先生に相談した。

そうた たくさんの人が参加してくれて、とてもうれしいです。20日以上の人数が最も多い学年が1年生なので、1年生を表彰しようと思います。

先生 学年によって全体の人数が違うから、20日以上の人数をそのまま比較するのは適切ではないですね。こういうときは相対度数を使って調べて、一番大きい学年を表彰すればいいよ。ちなみに、2年生の相対度数は0.5だね。他も計算してみたらどうかな。

先生のアドバイスをもとに、どの学年を表彰すればよいか説明せよ。

- 次は、全校生徒の参加日数について、度数分布表をもとにして作成したヒストグラムと全校生徒の参加日数の平均値である。

そうたさんは、りなさんの考えが正しくないことを次のように説明した。下の ア、イ にあてはまる用語と数値の組み合わせとして正しいものを、次の①～④の中から1つ選び、記号で答えよ。

ア が含まれている階級が イ の階級なので、りなさんが参加した日数は、真ん中より多い方だとは言えない。

【基礎・基本】

1 平均通過率		
市	県	差
19.0%	16.9%	2.1
1 無解答率		
市	県	差
14.4%	15.0%	-0.6
2 平均通過率		
市	県	差
32.3%	31.2%	1.1
2 無解答率		
市	県	差
35.6%	36.1%	-0.5
3 平均通過率		
市	県	差
36.2%	33.7%	2.5

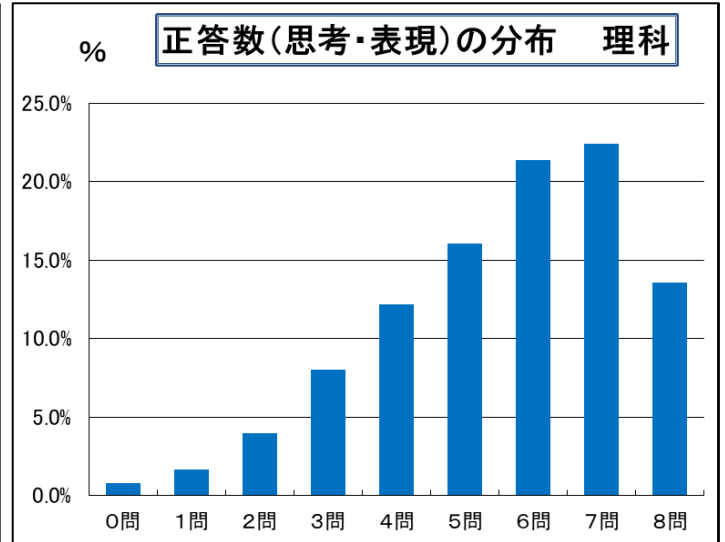
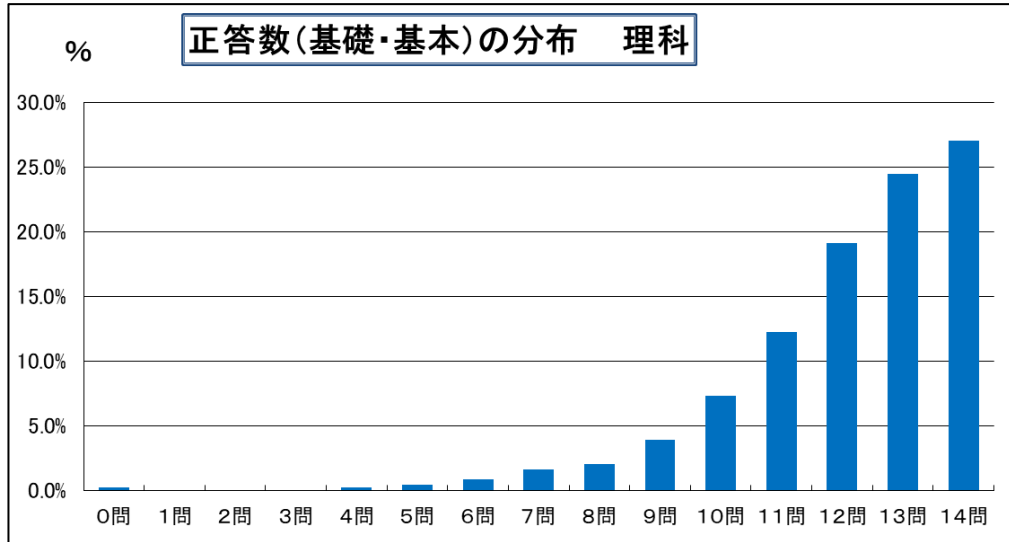
指導のポイント

1は代表値に関する「基礎・基本」の問題であるが、平均通過率は低く、無解答率は高い。
2、3は、資料の傾向を捉え説明する問題であるが、ともに平均通過率は30%台である。問題場面から解決に必要な情報や資料等を選択し、言葉や数、式、表、グラフ等を用いて、考えを数学的に表現する活動を繰り返し行うことが大切である。また、生徒の説明をしっかり評価し、正答例を示すことも大切である。

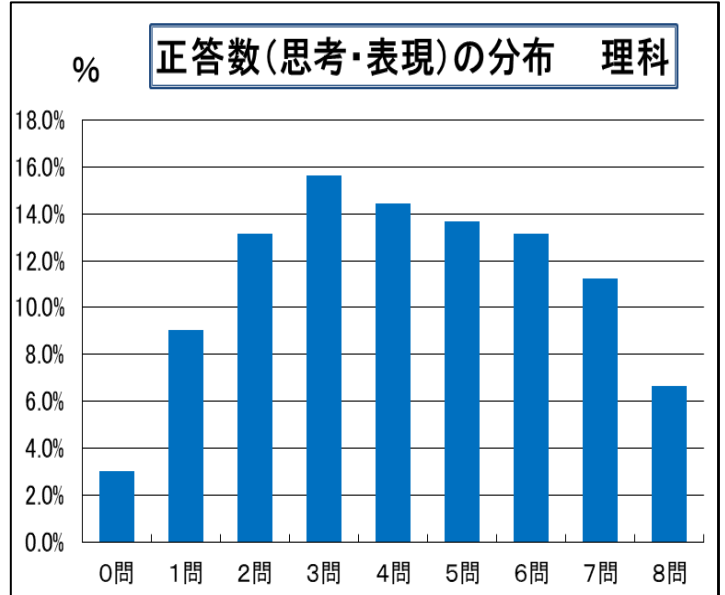
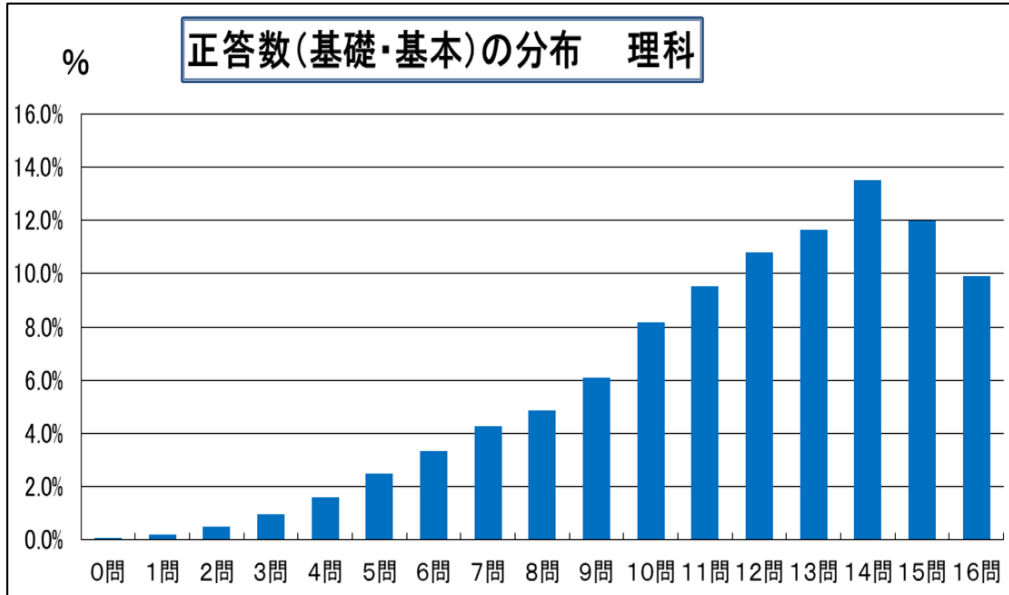
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
小5	86.5%	87.5%	-1.0	69.7%	70.2%	-0.5	80.4%	81.2%	-0.8
中1	73.0%	71.5%	1.5	53.0%	51.3%	1.7	66.4%	64.8%	1.6
中2	62.5%	61.6%	0.9	52.5%	50.7%	1.8	59.2%	58.0%	1.2

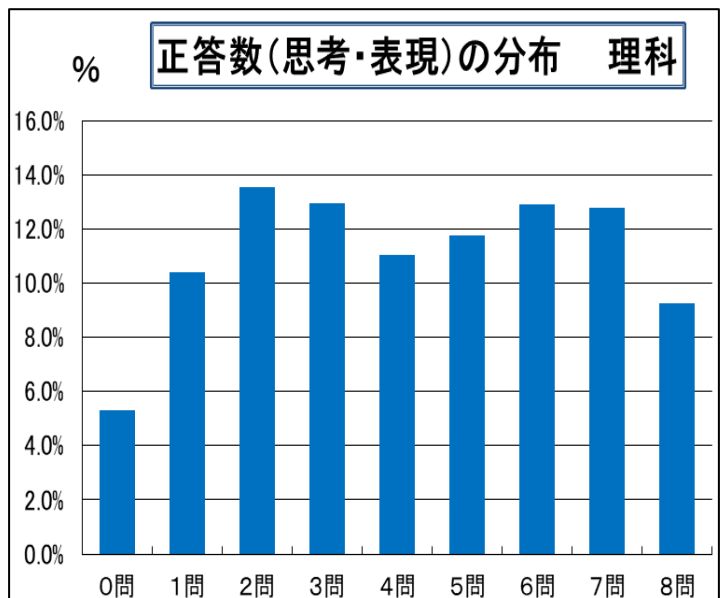
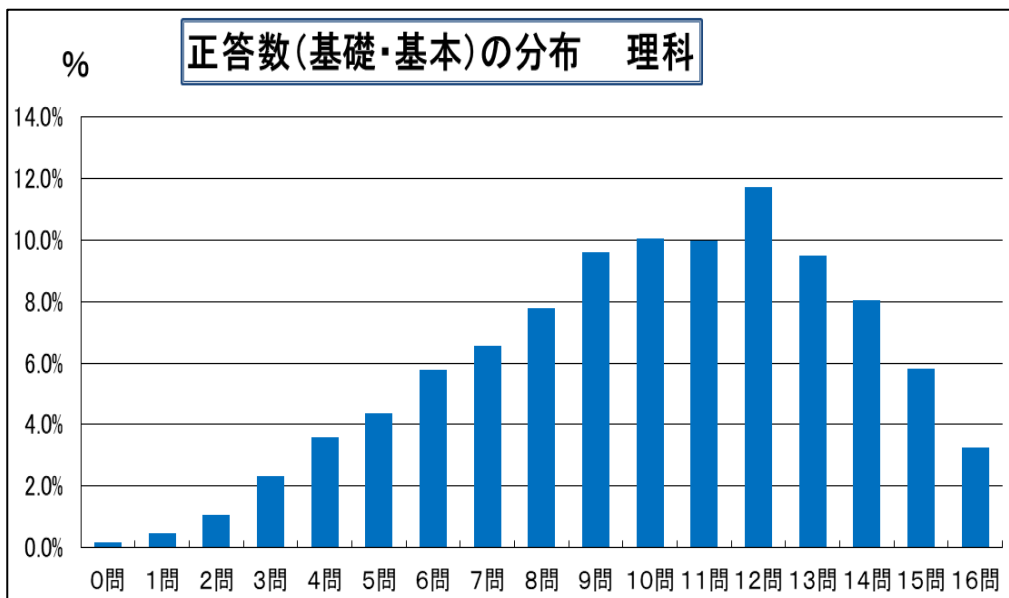
【小学校第5学年】



【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

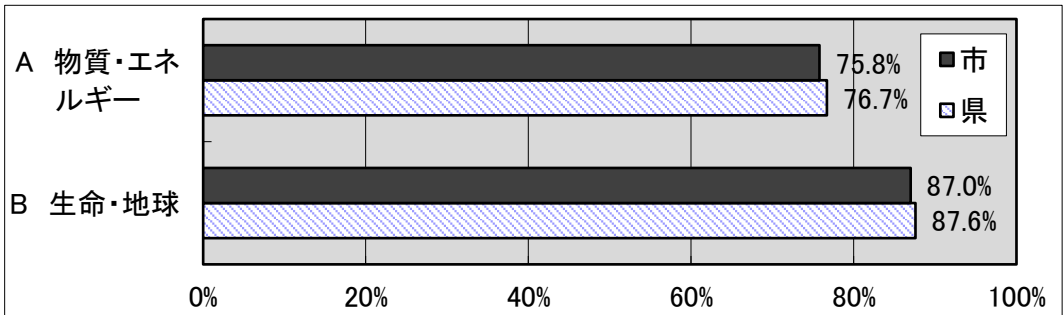


- 小5は、県をやや下回っているが、県の目標値（「基礎・基本」8割、「思考・表現」5割、「全体」7割）は全て上回っている。3・4年生の内容の定着が引き続き課題である。
- 中1、中2は県を上回っているが、どちらも「基礎・基本」、「全体」が県の目標値に届いておらず課題である。また、中1は小6の内容、中2は記述式の無解答率について特に課題が見られる。
- ◆ 系統性を踏まえた指導を行うために、本調査問題等を活用して既習内容の定着状況を確認する。
- ◆ 「問題解決の過程」（小学校）や「科学的な探究の過程」（中学校）が形式的なものとならないようにするために、児童生徒の予想や仮説に基づいた検証計画の立案や考察を行うようにする。
- ◆ 教科書や問題文をまずは各自で読み取らせ、その上でよく分からないところを指摘させ、教師による説明等を行うようにする。考えを記述させた後は、吟味し合い、自分自身で修正するようにする。

(2) 内容・領域別平均通過率

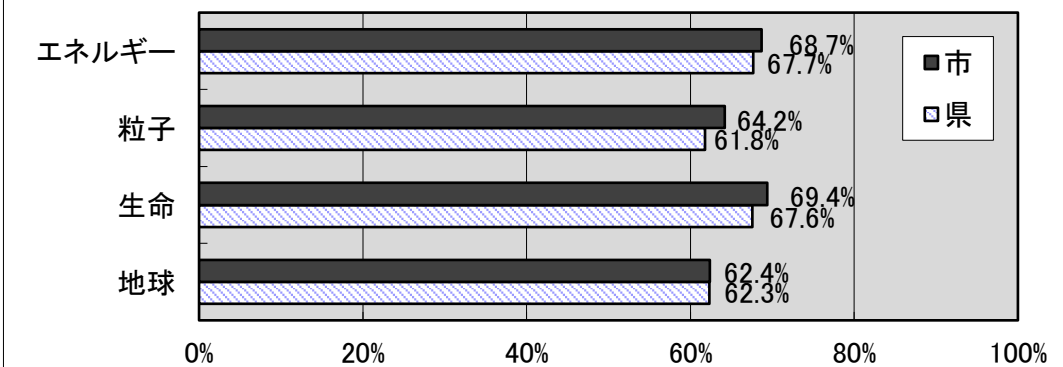
ア 小学校第5学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
A 物質・エネルギー	75.8%	76.7%	-0.9
B 生命・地球	87.0%	87.6%	-0.6



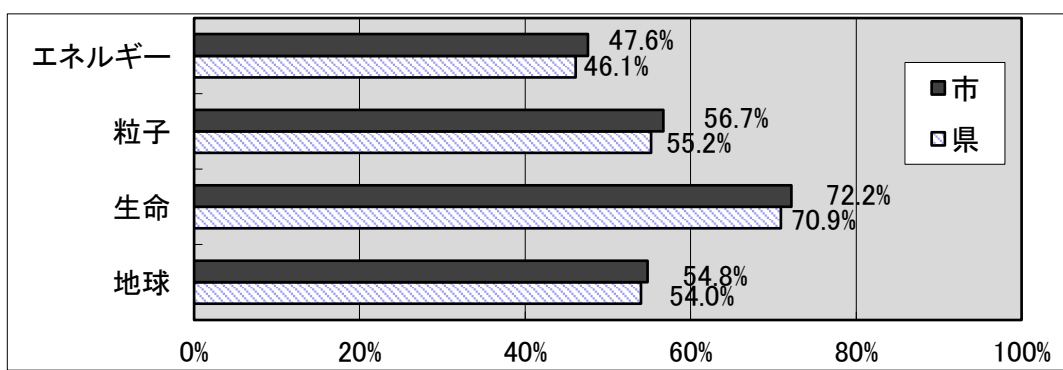
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
エネルギー	68.7%	67.7%	1.0
粒子	64.2%	61.8%	2.4
生命	69.4%	67.6%	1.8
地球	62.4%	62.3%	0.1



ウ 中学校第2学年

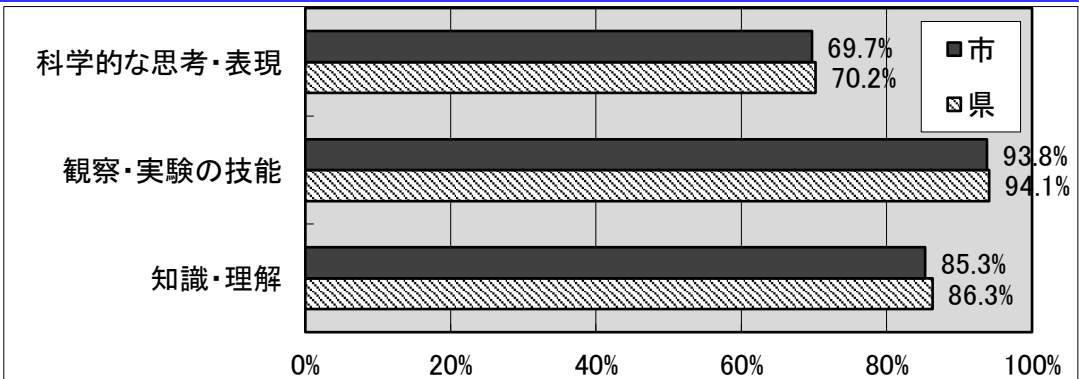
	平均通過率		県との差
	市	県	
エネルギー	47.6%	46.1%	1.5
粒子	56.7%	55.2%	1.5
生命	72.2%	70.9%	1.3
地球	54.8%	54.0%	0.8



(3) 観点別平均通過率

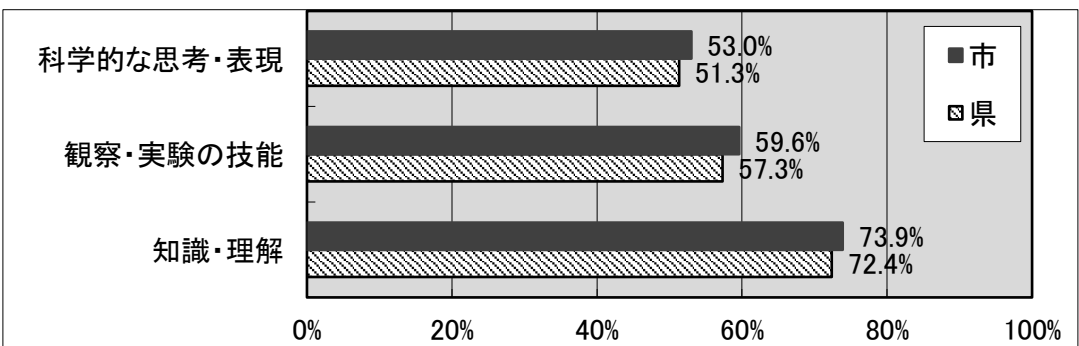
ア 小学校5年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	69.7%	70.2%	-0.5
観察・実験の技能	93.8%	94.1%	-0.3
知識・理解	85.3%	86.3%	-1.0



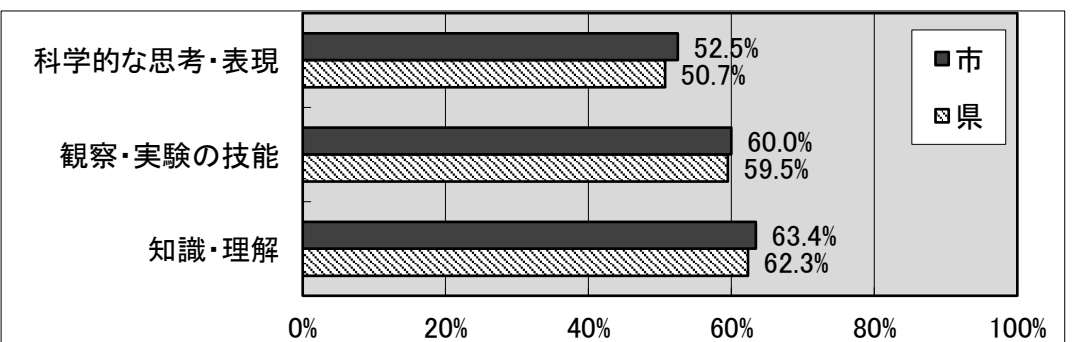
イ 中学校1年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	53.0%	51.3%	1.7
観察・実験の技能	59.6%	57.3%	2.3
知識・理解	73.9%	72.4%	1.5



ウ 中学校2年生

	平均通過率		県との差
	市	県	
科学的な思考・表現	52.5%	50.7%	1.8
観察・実験の技能	60.0%	59.5%	0.5
知識・理解	63.4%	62.3%	1.1



- 小5は、内容・領域別平均通過率、観点別通過率のいずれも7割を上回っているが、県の平均通過率は下回っている。
- 中1、中2は全て県を上回っているが、内容・領域別平均通過率では、中2はエネルギー、粒子、地球の領域が6割を下回っており、課題である。また、観点別平均通過率では、中1、中2のどちらも科学的な思考・表現及び観察・実験の技能が6割を下回っており、課題である。
- ◆ 方位や磁石の極性、電気回路、気象観測、モデル化やグラフ化について全学年で重視する。
- ◆ 実験器具は、操作の意味を理解させた上で一人一人に十分操作させ、相互に確認させる。

(4) 小学校第5学年（理科）

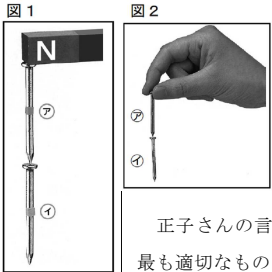
ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	出題学年			問題内容別		内容領域別		観 点 別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図		
	大問	中問	小問	基礎・基本	思考・表現	A 物質・エネルギー	B 生命・地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率			
1		1	小5	○			○			○	86.6%		0.0%	85.7%		0.0%				メダカの雌雄を見分ける方法を理解しているか。		
2	1	2	小5	○			○			○	93.2%		0.0%	93.3%		0.0%				解剖顕微鏡や双眼実体顕微鏡の適切な操作方法を身に付けているか。		
3		3	小5	○			○			○	89.8%		0.0%	89.5%		0.0%				メダカが産んだ卵の中の様子と時間の経過とを関係付けながら、卵の中の変化を理解しているか。		
4		1	小4	○			○			○	91.6%		0.1%	91.5%		0.1%				水を冷やしていくと、0度で凍り始めることを理解しているか。		
5	2	2	小4	○			○			○	83.2%		0.2%	80.4%		0.2%				水がすべて氷になった後、さらに冷やすと0℃以下になることを理解しているか。		
6		3	小4	○			○			○	71.4%		0.0%	70.2%		0.0%				水が氷になると体積が増えることを理解しているか。		
7		1	小3	○			○			○	91.4%		0.1%	90.1%		0.0%				磁石は鉄でできた物を引き付けることを理解しているか。		
8	3	2	小3	○			○			○	67.4%		0.1%	66.6%		0.2%				磁石の異極は引き合うことを理解しているか。		
9		3	小3		思・表 3		○			○		66.3%	0.0%		66.0%	0.0%				磁石の性質を理解した上で、実験結果を考えることができるか。		
10		1	小4	○			○			○	87.6%		0.1%	86.4%		0.1%				乾電池の向きを変えると、回路を流れる電流の向きが変わることを理解しているか。		
11	4	2	小4	○			○			○	85.0%		0.5%	82.2%		0.7%				乾電池2個のつなぎ方は、直列つなぎと並列つなぎの2つに分けられることを理解しているか。		
12		3	小4		思・表 1		○			○		70.5%	0.8%		69.8%	1.2%				乾電池1個のときと2個を直列・並列につないだときの電流の働きを、電流の強さと関係付けて考察できているか。		
13		1	小5	○			○			○	96.3%		0.4%	95.7%		0.6%				植物の芽が出ることを発芽ということを理解しているか。		
14	5	2	小5		思・表 1		○			○		89.7%	0.5%		88.7%	0.7%				条件を制御して実験方法を立案することができるか。		
15		3	小5		思・表 1		○			○		73.0%	0.7%		70.7%	1.1%				発芽の実験結果から結論を考察することができるか。		
16		1	小5		思・表 1		○			○		74.2%	1.9%		74.7%	2.2%				水を流す前と後の実験結果を比較し、結論を考察できているか。		
17	6	2	小5	○			○			○	95.3%		0.1%	95.0%		0.1%				雨の降り方によって、流れる水の速さや量は変わり、増水により土地の様子が大きく変化する場合があることを理解しているか。		
18		3	小5	○			○			○	90.6%		0.1%	89.7%		0.1%				山と平地で水の流れの速さにより川の岩や石の形に違いができることを理解しているか。		
19		1	小5	○			○			○	95.0%		0.2%	94.3%		0.3%				ろ過の操作方法を理解しているか。		
20		2	小5		思・表 3		○			○		79.9%	0.2%		78.3%	0.4%				ろ過後の水溶液の様子をモデルで説明することができるか。		
21	7	3	小5		思・表 1		○			○		31.1%	0.2%		31.2%	0.3%				グラフで示した実験結果を基に、水の温度とミョウバンが溶ける量を関係付けて考察することができるか。		
22		4	小5		思・表 1		○			○		76.8%	0.3%		78.0%	0.4%				物が水に溶ける量は、水の温度や量によって違うという性質を利用して、溶けている物を取り出す方法を考えることができるか。		
計				問題数	14	8	13	9	8	2	12											
				出題割合	63.6%	36.4%	59.1%	40.9%	36.4%	9.1%	54.5%											
											平均通過率			87.5%	70.2%	0.3%	86.5%	69.7%	0.4%			
														81.2%			80.4%					

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問3 第3学年「磁石の性質」

3 太郎さんと正子さんが、磁石と金属のくぎ、方位磁針を使って実験しています。太郎さんが磁石に2本のくぎを近づけると、図1のようにつきました。次の各問いに答えましょう。
 (2) 省略【⑦の釘の両端の極を方位磁針の振れから判断する問題】
 (3) (2)の実験の結果について話した太郎さんと正子さんの会話を読んで、次の問いに答えましょう。



太郎： 図2で、⑦のくぎに④のくぎがついていたけど、⑦のくぎのどの部分にもくぎがつくのかな。④のくぎと同じ金属でできている小さなくぎを近づけて、調べてみよう。

正子： ⑦のくぎは、磁石になっているから（ ）はずだよ。

正子さんの言葉の中の（ ）には、どのような文が入るでしょうか。最も適切なものを次のア～ウから1つ選び、記号を□に書きましょう。

ア	イ	ウ
<p>④の部分の近くだけ小さなくぎがつく。</p>	<p>④の部分と⑥の部分の近くだけ小さなくぎがつく。</p>	<p>④の部分と⑥の部分と④と⑥の真ん中の部分に小さなくぎがつく。</p>

(2) 【基礎・基本】

平均通過率		
市	県	差
66.6%	67.4%	-0.8

(3) 【思考・表現3】

平均通過率		
市	県	差
66.0%	66.3%	-0.3

指導のポイント

高学年になっても磁石の極に関する基本的な理解が不十分な児童が一定数存在することが伺える。電磁石の学習の前に過去の調査問題やかごしま学力向上支援Webシステムの評価問題等を活用して定着度を確認し、授業では、磁石の性質を確認するなどの補充指導が必要である。

(イ) 大問4 第4学年「電流の働き」

4 (3) 次の表は、太郎さんが図1～図3の回路に流れる電流の強さをけん流計で調べ、まとめたものです。図2と図3のモーターの回る速さは、図1のモーターの回る速さと比べて、表からどのように変わったと考えられますか。それぞれ□に書きましょう。

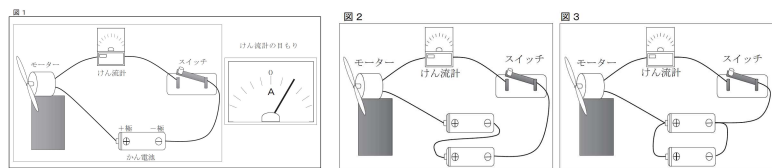


表	図1	図2	図3
電流の強さ (はりのさすめもり)	2	4	2

図2のモーターの回る速さは
 図3のモーターの回る速さは

【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
69.8%	70.5%	-0.7

例年課題が継続している内容である。児童の関心が直列つなぎに向きがちであること、図と実際の配線が一致しにくいことなどを踏まえ、並列つなぎについて繰り返し指導する必要がある。その際、検流計や電子オルゴール（極を逆につなぐと音が鳴らず、電流の大きさが音量が変わる）等も用いて電流の向きと大きさを意識させる必要がある。

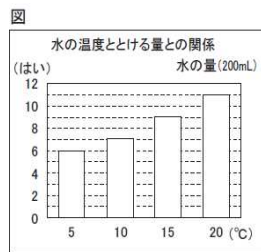
(ウ) 大問7 第5学年「物の溶け方」

7 次に、太郎さんたちは、ろ過した後の水よう液からミョウバンを取り出すことにしました。太郎さんたちは、図のグラフをもとに話をしています。

太郎： ミョウバンは水の温度が下がると、とける量も少なくなるから、水よう液を冷やせば、とけきれなくなったミョウバンが出てくるはずだよ。

正子： 冷ぞう庫でミョウバンの水よう液を冷やしたらミョウバンが出てきたよ。今、水よう液の温度は10℃になっているけど、ミョウバンはどれくらい出てきたのかな。

太郎： すながまぎる前のミョウバンは、スプーンすり切り10ばい分だったよ。出てきたミョウバンの量は、水の温度ととける量との関係のグラフから、予想できるね。



(3) 2人の会話から、出てきたミョウバンの量は、すり切り何はい分と予想できるでしょうか。最も適切なものを次のア～エから1つ選び、記号を□に書きましょう。

ア 1ばい分 イ 3ばい分 ウ 5ばい分 エ 7ばい分

【思考・表現1】

平均通過率		
市	県	差
31.2%	31.1%	0.1

グラフから必要な情報を取り出し、思考する問題は、前回は類似問題が出題されているが、課題が継続している【4(1)市平均通過率49.7%】。実験結果をグラフ化する活動を積極的に行うとともに、作成したグラフを基に、「この場合はどうなるか。」などと他の条件での実験結果を予想させたり、検証実験を行ったりすることが必要である。

(5) 中学校第1学年(理科)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中間	小問	出題学年	問題内容別			内容領域別			観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図					
					基礎・基本	思考・表現	エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率						
1			1	中1	○							○	41.7%		0.1%	43.7%		0.0%				被子植物と裸子植物にはどちらも胚珠があることを理解できているか。						
2	1		2	中1	○		○					○	88.0%		0.1%	89.3%		0.1%				顕微鏡の特性を光の性質を基に理解しているか。						
3			3	中1	○							○	78.9%		1.2%	82.6%		1.0%				被子植物と裸子植物の違いを理解しているか。						
4			1	中1	○							○	92.3%		0.2%	92.5%		0.2%				気孔について理解しているか。						
5	2		2	中1	○							○	74.5%		0.3%	73.5%		0.3%				葉の道管の位置を理解しているか。						
6			3	中1		思・表 ₁					○		50.4%	5.5%		54.7%	5.2%					表の結果から蒸散量を求めることができるか。						
7			1	中1	○							○	74.2%		0.2%	76.0%		0.2%				気体の発生方法を理解しているか。						
8	3		2	中1	○							○	64.4%		5.7%	68.4%		5.0%				有機物について理解しているか。						
9			1	中1	○							○	73.3%		0.2%	74.6%		0.3%				金属に共通する性質を理解しているか。						
10	4		2	中1	○							○	57.3%		1.3%	59.6%		1.3%				メスシリンダーの値を読み取り、物質の体積を求めることができるか。						
11			3	中1		思・表 ₂					○		54.9%	1.1%		58.1%	1.1%					質量と体積の値から密度を求め、金属を同定できるか。						
12			1	小6	○							○	89.8%		0.9%	90.4%		1.0%				月の光る理由を理解しているか。						
13	5		2	小6	○							○	72.1%		1.0%	72.8%		1.1%				地球と太陽、月の位置関係から月の見え方を理解しているか。						
14			3	小6		思・表 ₂					○	○	25.0%	0.5%		24.0%	0.5%					月の見え方から、その時間帯及び太陽の位置を推測できるか。						
15			1	中1	○		○					○	94.4%		0.3%	94.9%		0.4%				光源について理解しているか。						
16	6		2	中1	○		○					○	61.2%		0.4%	61.2%		0.4%				凸レンズを通過した光によってスクリーンにできる像が、上下左右逆向きの像になることを理解しているか。						
17			3	中1		思・表 ₂					○		51.0%	3.1%		50.9%	3.2%					作図によってレンズの焦点を求めることができるか。						
18			1	中1	○		○					○	70.9%		1.6%	72.5%		2.0%				音を出している物体は振動していること、大気中で音を伝えている物質は空気であることを理解しているか。						
19	7		2	中1		思・表 ₂	○				○		71.0%	1.5%		74.0%	1.8%					音の変化の理由について、音が伝わる原理を基に推測することができるか。						
20			3	中1		思・表 ₂	○				○		37.1%	0.8%		37.6%	0.9%					音の大小、高低から適切な波形を導き出すことができるか。						
21			1	中1	○							○	46.6%		8.3%	50.1%		7.7%				融点について理解しているか。						
22	8		2	中1		思・表 ₃					○		78.5%	0.8%		78.6%	0.9%					物質が固体に状態変化するときの様子を、粒子モデルを使って表現できるか。						
23			3	中1	○							○	64.3%		0.8%	66.3%		0.8%				密度について理解しているか。						
24			4	中1		思・表 ₂					○		42.4%	1.0%		45.9%	1.1%					実験の結果から生じた疑問を別の現象に適用させて表現できるか。						
計				問題数	16	8	7	9	5	3	8	1	15															
				出題割合	66.7%	33.3%	29.2%	37.5%	20.8%	12.5%	33.3%	4.2%	62.5%															
				平均通過率							71.5%			51.3%			1.5%			73.0%			53.0%			1.5%		
										64.8%			66.4%															

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第1学年「身の回りの物質とその性質」

4 図1の金属A、Bがそれぞれどのような物質で
きているか調べるために、電子てんびんとメスシリ
ンダーを用いて、質量と体積をはかりました。表は、
このときの質量を示したものです。次の各問いに答
えなさい。




図1

	質量
金属A	58.2g
金属B	13.5g

(2) 50cm³の水を入れた100mLメスシリンダーに金属Aを入れたところ、目
もりは図2のようになった。金属Aの体積は何cm³か。ただし、1mL=1
cm³とする。

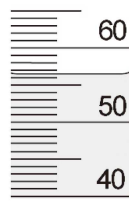


図2

(3) 金属Bの体積は、5.0cm³であった。この金属はどの金属と考えられる
か。最も適切なものをア～エの中から1つ選び、記号で答えよ。

ア 金 (密度19.32g/cm³) イ アルミニウム (密度2.70g/cm³)
ウ 銅 (密度8.96g/cm³) エ 鉄 (密度7.87g/cm³)

【基礎・基本】

(2) 平均通過率

市	県	差
59.6%	57.3%	2.3

【思考・表現2】

(3) 平均通過率

市	県	差
58.1%	54.9%	3.2

メスシリンダーは個別に操
作させ、目盛りの読み方等を
相互に確認させたい。密度の
指導では、単位への着目に加
え、同体積の物質の比較観察
による実感を重視したい。

(イ) 大問5 小6「月と太陽」

5 (3) 下の□は、図2のような月が南の空に見える時間帯とそのように
判断した理由をまとめたものである。アについては、「午前・午後」
のいずれかを○でかこみ、イの()については、東、西、南、北の
うち方位を記入せよ。

ア：時間帯 午前・午後

イ：理 由 月の左側が光っており、太陽が()の位置にあるから




図2

【思考・表現2】

平均通過率

市	県	差
24.0%	25.0%	-1.0

実際の現象とモデルが結び付
いていないことが考えられる。
どの学年でも観測を重視し、方
位にも十分慣れ親しませたい。

(ウ) 大問7 第1学年「音の性質」

7 (3) おんきAをたたいたときに出了音を、
マイクروفオンを通してコンピュータの
画面に表したところ、図2のようになっ
た。次に、図3のようにおんきAにおも
りをつけてたたいたら、音は小さく、低くなつた。

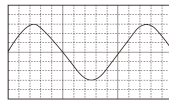


図2

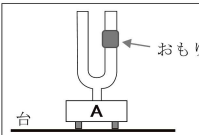
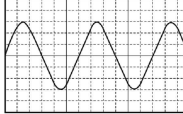


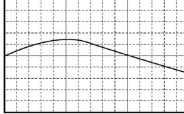
図3

そのときの、コンピュータの画面として最も適切なものを、次のア～エから1つ選
び、記号で答えよ。(一部省略)

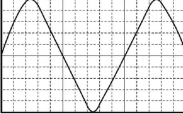
ア



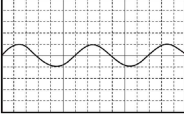
イ



ウ



エ



【思考・表現2】

(3) 平均通過率

市	県	差
37.6%	37.1%	0.5

「2学期の重点課題」から
の出題である。音の波形が具
体的にイメージできていない
ことが考えられるため、スパ
イラル綴じノートを用いた実
験や、動画コンテンツやゴム
ロープを活用した振動の可視
化等の工夫が求められる。

(エ) 大問8 第1学年「状態変化」

8 (1) 下線部について、観察した後にそのまましておいたら、固体になった物質は再び
液体になった。このように、固体がとけて液体に変化するときの温度を何というか。

(4) 太郎さんは、密度についてまとめた後、ものの浮き沈みに興味をもった。そこで、
液体窒素でこおらせたエタノールの固体をエタノールの液体に入れる実験を企画し、
エタノールの固体はエタノールの液体に入れた直後に浮くか、沈むかを予想した。エ
タノールの固体が「浮く」か、「沈む」か、いずれかを○でかこみ、下の【太郎さんの
予想】の文章中の()に入る適切な言葉を書け。

ただし、以下の【条件】で行う実験に基づいて予想するものとする。

【条件】

- ① エタノールの固体と液体は同じ、質量とする。
- ② エタノールの固体は、常温のエタノールの液体に入れると、短い時間でとけて液
体になるため、液体のエタノールを固体にならない程度に十分に冷やす。また、固
体を液体に入れた直後の様子について考える。

【太郎さんの予想】

エタノールの固体は、エタノールの液体に入れると(浮く・沈む)。
同じ質量のエタノールは固体の体積が液体より()なり、固体の密度が液体
の密度より()なるから。

【基礎・基本】

(1) 平均通過率

市	県	差
50.1%	46.6%	3.5

【思考・表現2】

(4) 平均通過率

市	県	差
45.9%	42.4%	3.5

「融点」など日常生活であ
まり使用されない用語は、特
に定着を確認する必要がある。
密度については、体積や
質量との関係を説明する活動
の充実を図る必要がある。ま
た、一般的に同一物質の密度
は、液体に比べ固体は小さく
なること(水は例外であるこ
と)を理解させる必要がある。

(6) 中学校第2学年(理科)

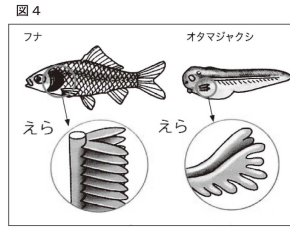
ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	出題学年			問題内容別			内容領域別			観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図						
	大問	中間	小問	基礎・基本	思考・表現	その他	エネルギー	粒子	生命	地球	科学的な思考・表現	観察・実験の技能	知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現		無解答率					
1		1	中2	○								○		77.0%		7.1%	79.6%		6.8%				肺のつくりの名称について理解しているか。					
2		2	中2	○								○		84.8%		0.2%	85.5%		0.2%				血液の成分とその役割を理解しているか。					
3	1	3	中2	○								○		60.7%		2.3%	61.2%		2.4%				肺胞で行われる気体交換について理解しているか。					
4		4	中2		思・表2							○			42.5%	13.8%		46.6%	14.1%				セキツイ動物の呼吸器に共通して見られる表面積を増やすしくみを類推できるか。					
5		1	中2	○								○		92.9%		1.9%	92.6%		2.1%				セキツイ動物の分類とその名称(両生類)を理解しているか。					
6	2	2	中2		思・表1							○			74.8%	0.3%		75.7%	0.3%				セキツイ動物の種類について、その共通点と相違点から分類することができるか。					
7		3	中2		思・表2							○			63.9%	2.2%		64.0%	2.2%				セキツイ動物の種類について、その相違点から生物の進化の過程を類推できるか。					
8		1	中1	○								○		42.7%		0.5%	43.7%		0.4%				火山噴出物の種類を理解できているか。					
9	3	2	中1		思・表1							○			62.4%	5.6%		64.3%	6.3%				周辺の地層のつながりから、調査場所の地層の様子を推測できるか。					
10		3	中1		思・表1							○			42.3%	0.6%		42.1%	0.7%				火成岩、堆積岩のつくりの違いから岩石を同定できるか。					
11		1	中1	○								○		87.0%		0.6%	87.5%		0.5%				同じ大きさの力が働いても、接する面積によって圧力は変わること理解しているか。					
12		2	中1	○								○			24.8%			25.9%		8.6%			圧力の求め方を理解し、活用できているか。					
13		3	中1		思・表1							○			38.8%	5.2%		41.9%	5.6%				表から必要な値を読み取り、浮力を求める方法を理解しているか。					
14		4	中1	○								○			33.8%			35.0%		0.7%			浮力が深さに関係していないことを理解しているか。					
15		1	中2	○								○		69.8%		4.5%	71.9%		5.0%				酸化銅から酸素を取り除いた物質が何か理解しているか。					
16		2	中2	○								○		70.2%		6.1%	72.6%		6.2%				酸化銅から酸素を取り除くときにおこる化学変化について理解しているか。					
17		3	中2	○								○		71.0%		1.1%	72.0%		1.3%				塩化コバルト紙の性質から物質が水であることを推測できるか。					
18		4	中2		思・表3							○			49.1%	7.9%		52.3%	8.5%				酸化銅の還元を理解し、その反応をモデルで表すことができるか。					
19		1	中2	○								○			37.3%			38.0%		0.9%			酸化マグネシウムの色を知っているか。					
20	6	2	中2	○								○			57.4%			56.6%		7.9%			実験結果をグラフに表す「グラフのかき方」を理解しているか。					
21		3	中2		思・表1							○			31.9%	19.0%		33.4%	19.8%				マグネシウムと酸素の化合比を利用し、酸化マグネシウムの質量を求めることができるか。					
22		1	中2	○								○		85.0%		1.3%	85.6%		1.5%				等圧線の間隔と風力との関係を理解しているか。					
23	7	2	中2	○								○		50.9%		1.5%	50.8%		1.6%				夏と冬の特徴的な天気図からそれぞれに影響を与える高気圧を理解しているか。					
24		3	中2	○								○		40.6%		3.6%	42.0%		3.9%				冬場の季節風の特徴及び雲がきえる原因について理解しているか。					
計				問題数	16	8	4	7	7	6	8	4	12															
				出題割合	66.7%	33.3%	16.6%	29.2%	29.2%	25.0%	33.3%	16.7%	50.0%															
				平均通過率							61.6%			50.7%			4.3%			62.5%			52.5%			4.5%		
													58.0%						59.2%									

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問1 第2学年「動物の体のつくりと働き」

④ 右の図4は、フナやオタマジャクシの呼吸器である「えら」のつくりを表した模式図である。図2のヒトの肺にみられる袋状のつくりや、図4のフナやオタマジャクシの「えら」のようなつくりがあると、酸素と二酸化炭素を効率よく交換できるのはなぜか。簡潔に説明せよ。



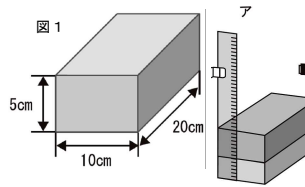
【思考・表現2】

平均通過率		
市	県	差
46.6%	42.5%	4.1

いろいろな生物の共通点や相違点をレポートにまとめるなどの活動を重視する必要がある。

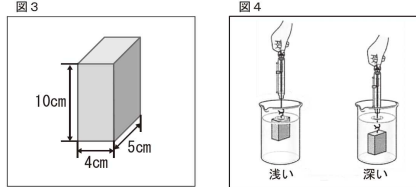
(イ) 大問4 第1学年「力の世界（圧力、浮力）」

④ 図1のような1000gの直方体があります。次の各問いに答えなさい。ただし、100gの物体にはたらく重力の大きさを1Nとします。



(2) アのとき、スポンジが直方体から受ける圧力は何Pa (N/m²)か答えよ。

次に、図3のような500gの直方体を図4のように水に入れていき、物体を水に沈めた深さを変えて、ばねばかりで値を測定しました。表は、水に沈めた深さとばねばかりの値をまとめたものです。ただし、水に沈めた深さは、直方体の下の面と水面との間の長さとし、物体につなげたフックやばねばかりの体積や質量は無視できるものとします。



(3) 水に沈めた深さが4cmのとき、物体にはたらく浮力の大きさは何Nか答えよ。

水に沈めた深さ [cm]	0	2	4	6	8	10
ばねばかりの値 [N]	5.0	4.6	4.2	3.8	3.4	3.0

(4) 水に沈めた深さが12cmのとき、物体はピーカーの底についてはいなかった。また、水に沈めた深さが10cmのとき、物体は水にすべてつかっていた。

深さ12cmのときの物体にはたらく浮力の大きさは、深さ10cmのときと比較してどうなるか。最も適切なものを次のア〜ウから1つ選び、記号で答えよ。

ア 大きくなる イ 小さくなる ウ 変わらない

【基礎・基本】

(2) 平均通過率		
市	県	差
25.9%	24.8%	1.1

【思考・表現1】

(3) 平均通過率		
市	県	差
41.9%	38.8%	3.1

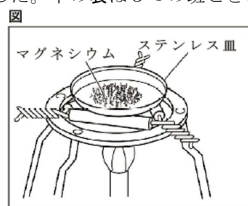
【基礎・基本】

(4) 平均通過率		
市	県	差
35.0	33.8	1.2

前回の追跡調査問題である。特に、圧力の求め方は昨年度、市平均通過率が24%であり、今回は単位が示されたが改善が見られなかった。計算過程から間違っただ理由を明らかにさせ、繰り返し取り組ませたい。浮力についても生徒が苦手とする概念である。浮沈子を用いた説明活動等を積極的に取り入れたい。

(ウ) 大問6 第2学年「化学変化」

⑥ 図のように、マグネシウムの粉末をステンレスの皿にうすく広げて十分に加熱し、酸化マグネシウムをつくる実験を行いました。下の表は5つの班ごとに加熱前のマグネシウムの質量をそれぞれ変えて、加熱後にできた酸化マグネシウムの質量を記録したものです。次の各問いに答えなさい。

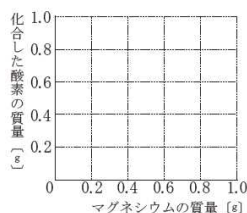


	1班	2班	3班	4班	5班
マグネシウムの質量 [g]	0.20	0.40	0.60	0.80	1.00
酸化マグネシウムの質量 [g]	0.32	0.67	1.00	1.32	1.67
化合した酸素の質量 [g]					

(1) この実験で、ステンレス皿にできた物質の色として最も適切なものを、次のア〜エから1つ選び、記号で答えよ。

ア 黒色 イ 白色 ウ 赤色 エ 青色

(2) 表の空欄になっている「化合した酸素の質量」を求めて、加熱前の「マグネシウムの質量」と「化合した酸素の質量」との関係を表にグラフに表せ。



(3) 3班の結果から得られた「マグネシウムと酸素が結びつく割合」に基づいて、質量1.80gのマグネシウムの粉末が完全に酸素と結びついた場合、酸化マグネシウムは何gできるか求めよ。ただし、解答は小数第2位まで記入すること。

【基礎・基本】

(1) 平均通過率		
市	県	差
38.0%	37.3%	0.7

(2) 平均通過率		
市	県	差
56.6%	57.4%	-0.8

【思考・表現1】

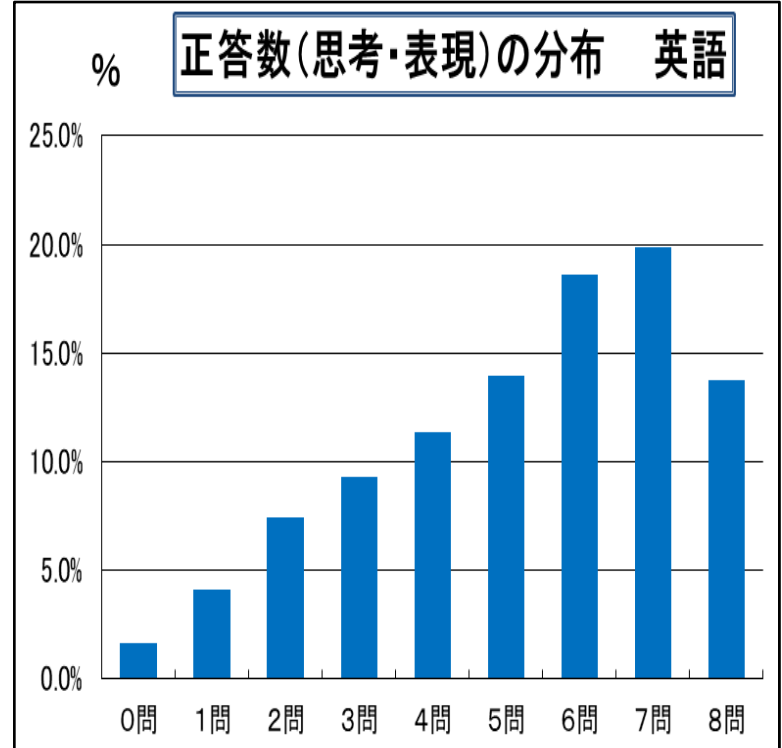
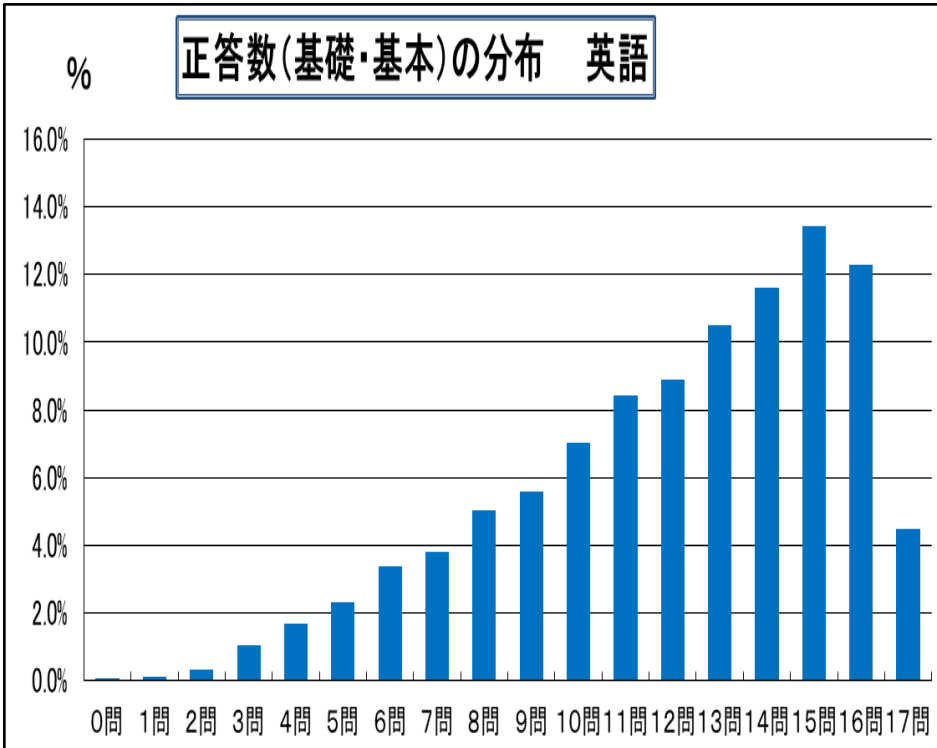
(3) 平均通過率		
市	県	差
33.4%	31.9%	1.5

平成29年度の追跡調査問題であるが、引き続き課題である。グラフの書き方や活用の前提となる基本的な事項（【例】酸化：「物質+酸素→酸化物」）は、常に掲示し、定着するまで確認することが必要である。また、無解答率が(2)7.9%、(3)19.8%と高いことから、本調査問題等に繰り返し取り組ませ、苦手意識の払拭を図りたい。

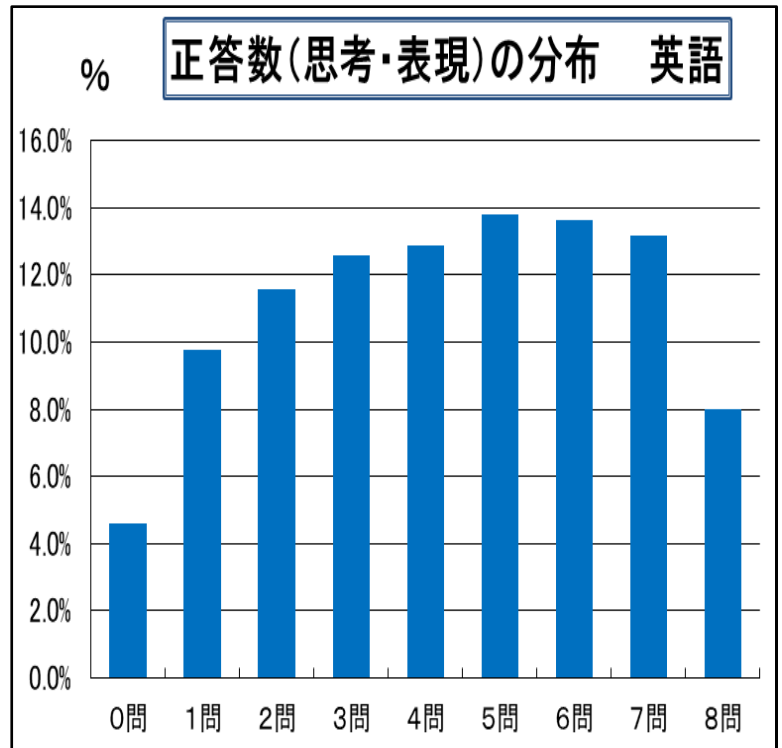
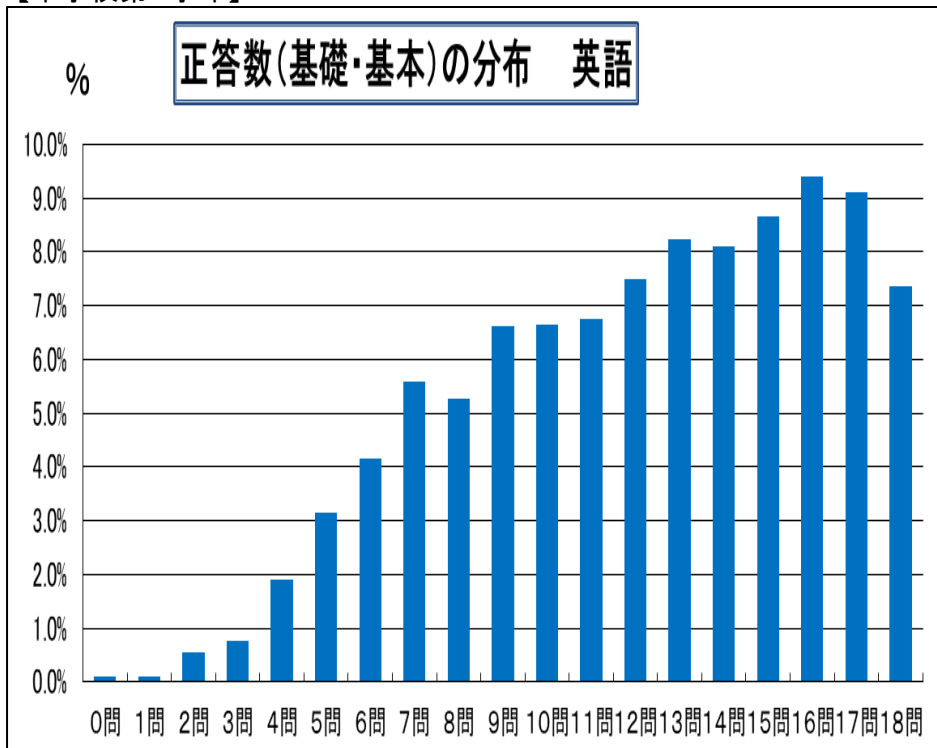
(1) 全体

学 年	基礎・基本			思考・表現			全 体		
	市	県	県との差	市	県	県との差	市	県	県との差
中1	70.7%	69.6%	1.1	65.4%	64.1%	1.3	69.0%	67.9%	1.1
中2	67.4%	65.2%	2.2	53.7%	51.6%	2.1	63.2%	61.0%	2.2

【中学校第1学年】



【中学校第2学年】

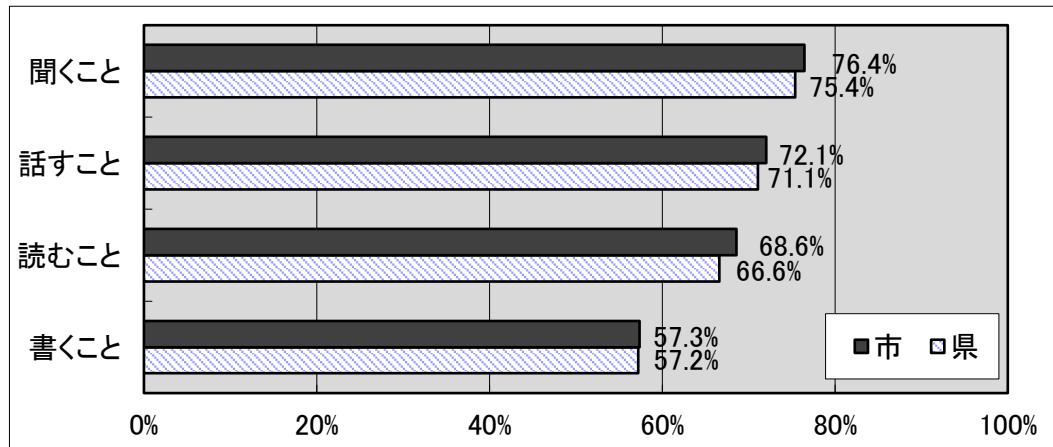


- 全体では、中1、中2とも、県を上回っている。
- 「基礎・基本」では、いずれの学年も県を上回っているが、中2は、正答数が半数未満の割合が高く、課題が見られる。
- 「思考・表現」では、いずれの学年も県を上回っているが、中2は、4問以下の正答数である生徒の数が中1より多く、平均正答率が6割に満たない状況であり、課題が見られる。
- ◆ 学習した語や表現を活用し、自分の考えを書く活動や自分の考えや気持ちなどを即興で伝え合う言語活動を指導計画に意図的、計画的に組み入れ、英文の読解において、概要や要点について確認する活動を行い、読み取った内容を表現させるなどの活動を重視する。

(2) 内容・領域別平均通過率

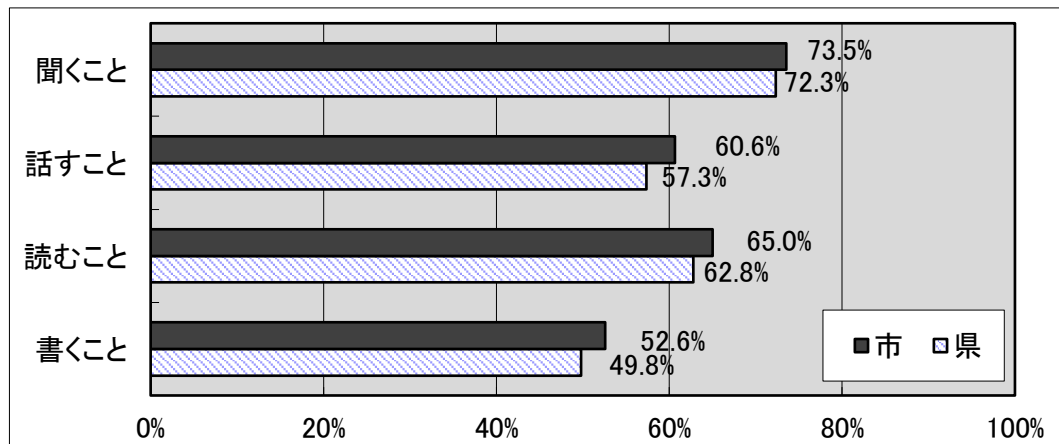
ア 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
聞くこと	76.4%	75.4%	1.0
話すこと	72.1%	71.1%	1.0
読むこと	68.6%	66.6%	2.0
書くこと	57.3%	57.2%	0.1



イ 中学校第2学年

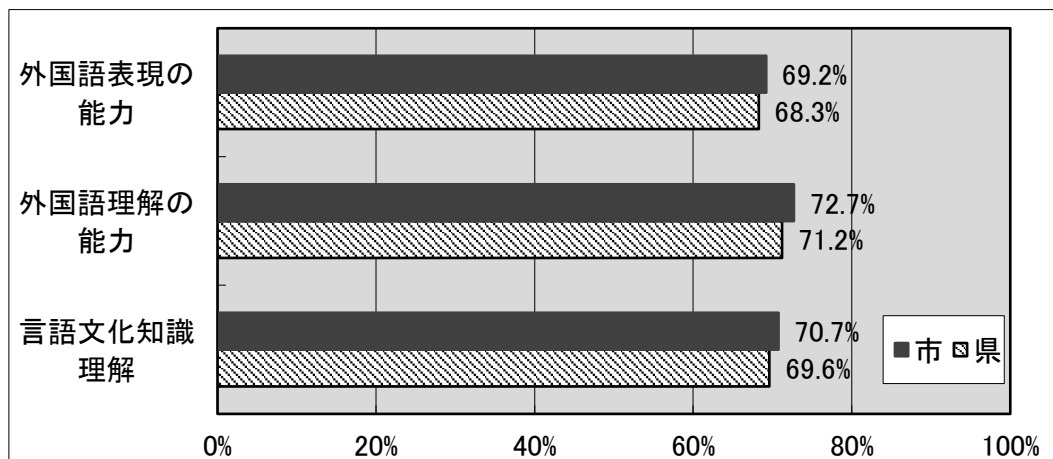
	平均通過率		県との差
	市	県	
聞くこと	73.5%	72.3%	1.2
話すこと	60.6%	57.3%	3.3
読むこと	65.0%	62.8%	2.2
書くこと	52.6%	49.8%	2.8



(3) 観点別平均通過率

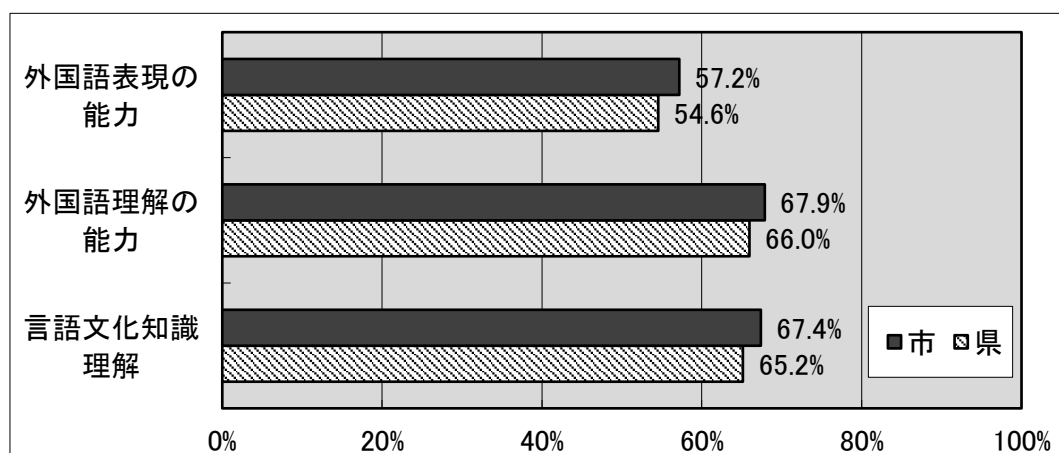
イ 中学校第1学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
外国語表現の能力	69.2%	68.3%	0.9
外国語理解の能力	72.7%	71.2%	1.5
言語文化知識理解	70.7%	69.6%	1.1



ウ 中学校第2学年

	平均通過率		県との差
	市	県	
外国語表現の能力	57.2%	54.6%	2.6
外国語理解の能力	67.9%	66.0%	1.9
言語文化知識理解	67.4%	65.2%	2.2



- 内容・領域別平均通過率では、全ての内容・領域において県を上回っているが、中1と中2において、「書くこと」が6割を下回っており、課題が見られる。
- 観点別平均通過率でも、全ての観点において県を上回っているが、中2においては、「外国語表現の能力」が6割を下回っており、課題が見られる。
- ◆ 英語でのやり取りの後に、話したことを書いてまとめたり、読んだことに対する自分の意見や考えを書き表したりし、思考・判断をしながら表現する「話す」、「書く」言語活動を充実させるなど、5領域を統合した活動を取り入れるようにする。

(4) 中学校第1学年(英語)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別		内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図		
					基礎・基本	思考・表現	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	表現	理解	言語や文化についての知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率			
1		(1)		中1	○		○					○	○		99.4%		0.0%	99.5%		0.0%				英語を聞いて起立する指示を聞き取ることができるか。	
2	1	(2)		中1	○		○					○	○		83.3%		0.1%	83.7%		0.1%				英語を聞いて複数のものの数を聞き取ることができるか。	
3		(3)		中1	○		○					○	○		27.4%		0.2%	25.7%		0.2%				英語を聞いて正しい日付を聞き取ることができるか。	
4		(1)		中1	○		○	○				○	○	○	86.4%		0.1%	81.8%		0.1%				提案に対するお礼の表現を正しく答えることができるか。	
5		(2)		中1	○		○	○				○	○	○	87.0%		0.1%	90.5%		0.1%				色を尋ねる質問に正しく答えることができるか。	
6	2	(3)		中1	○		○	○				○	○	○	75.4%		0.2%	74.0%		0.1%				疑問詞whoseを使った質問に対して正しく答えることができるか。	
7		(4)		中1	○		○	○				○	○	○	86.1%		0.2%	86.4%		0.2%				質問に対して指示代名詞itの示すものを理解して正しく答えることができるか。	
8	3			中1		思・表1	○	○				○	○			82.5%	0.1%		85.6%	0.1%				コミュニケーション場面から考えられる質問を選択することができるか。	
9		①		中1	○		○					○	○		73.1%		3.4%	80.5%		3.0%				求められた単語を書けるよう、正しく聞き取ることができるか。	
10	4	②		中1	○		○					○	○		53.5%		1.6%	56.7%		1.4%				求められた単語を書けるよう、正しく聞き取ることができるか。	
11		(1)		中1	○			○				○	○		92.7%		0.1%	93.5%		0.1%				英文の内容を表す絵を正しく選択することができるか。	
12	5	(2)		中1	○			○				○	○		65.5%		0.3%	66.1%		0.3%				表の内容を表す英文を正しく選択することができるか。	
13		(1)		中1	○			○				○	○		79.1%		0.3%	79.1%		0.3%				英文を読んで指示語の内容を正しく選択することができるか。	
14	6	(2)		中1	○			○				○	○		52.4%		0.4%	54.9%		0.5%				ポスターを正確に読み取り、その内容を表す英文を選択することができるか。	
15		(1)		中1		思・表2		○				○				71.3%	0.2%		72.9%	0.2%				英文の概要を把握して適切なタイトルを選択することができるか。	
16	7	①		中1		思・表2		○				○				56.9%	0.4%		58.8%	0.5%				対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う英文を適切に補うことができるか。	
17		②		中1		思・表2		○				○				71.1%	0.4%		71.5%	0.5%				対話文の内容を正確に把握し、対話の流れに合う英文を適切に補うことができるか。	
18	8			中1		思・表2		○				○				44.6%	0.5%		47.7%	0.6%				英文を読んで、話し手が最も伝えたいことを答えることができるか。	
19	9			中1		思・表2		○				○				65.6%	8.1%		72.7%	6.9%				書かれた内容に対して、自分の行動を示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などを捉えることができるか。	
20		(1)		中1	○			○	○			○	○		70.9%		0.5%	72.3%		0.6%				doを使った否定文の正しい語順を答えることができるか。	
21	10	(2)		中1	○			○	○			○	○		67.2%		0.5%	71.7%		0.6%				doesを使った疑問文の正しい語順を答えることができるか。	
22		(1)		中1	○			○	○			○	○		42.7%		4.0%	44.9%		3.9%				対話の場面を理解し、適切な語を入れることができるか。	
23	11	(2)		中1	○			○	○			○	○		41.8%		5.6%	41.4%		5.4%				対話中の空所に当てはまる応答を文脈から判断し、適切な英語を補って表現できるか。	
24				中1		思・表3			○	○						76.0%	2.6%		72.5%	2.8%				与えられたメモに沿って、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことができるか。	
25	12			中1		思・表3			○	○						45.0%	2.6%		41.3%	2.8%				与えられたメモに沿って、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことができるか。	
計				問題数	17	8	10	9	9	6	11	19	17												
				出題割合	68.0%	32.0%	29.4%	26.5%	26.5%	17.6%	23.4%	40.4%	36.2%												
				平均通過率								69.6%	64.1%	1.3%	70.7%	65.4%	1.3%								
												67.9%			69.0%										

イ 特に課題のあった設問

(7) 大問 1 1 第 1 学年「対話文の文脈に合う応答の表現」 【基礎・基本】

11 次は、カナダから国際交流のために鹿児島に来た中学生のサム (Sam) とケイコ (Keiko) との対話です。(1)、(2) の問いに答えなさい。

(2) 例を参考にしながら、() 内の語に不足している語を補って、会話が成り立つように英文を完成させよ。

(例) 〈休み時間に教室で〉
 Sam : Whose bag is that?
 Keiko : (mine) .
 [答え] It's mine

〈休み時間に教室で〉
 Sam : You speak English very well.
 Keiko : Thank you. I like English very much.
 Sam : (study) English after* dinner*?
 Keiko : No, I study English before* breakfast.

(注) after～ ～の後に dinner 夕食 before～ ～の前に

平均通過率		
市	県	差
41.4%	41.8%	-0.4

指導のポイント

平均通過率が県を下回り、5割に届いていない。空欄に当てはまる応答を、前後にある英文だけでなく、対話文全体の場面状況から判断し、適切な英語を補って表現することが求められている。実際のコミュニケーションの場面に即した言語活動を展開するなど、既習事項の活用や伝え合う活動を継続的にを行い、繰り返し活用する機会を設定することが必要である。

(イ) 大問 1 2 第 1 学年「自己紹介文の作成」 【思考・表現 3】

12 あなたは、春休みにアメリカでホームステイをすることになりました。ホームステイ先に自分のことを知ってもらうためにメールを送ります。「自己紹介メモ」の情報を全て含んだ英文を書きなさい。

自己紹介メモ

- ・ 自分の名前
- ・ 自分の好きなもの
- ・ 好きなものについての簡単な説明や好きな理由

※ 英語は8語以上で書きなさい。ただし、英文は2文以上になってもかまいません。
 ※ 短縮形 (I'm や don't) は1語と数え、符号(、や?) は語数に含めない。
 (例) No, I'm not. 【3語】
 ※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は、解答用紙に書きなさい。

平均通過率		
市	県	差
41.3%	45.0%	-3.7

指導のポイント

与えられた「自己紹介メモ」に沿って、文と文とのつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことはできているが、語や文法上の誤りが見られる。授業の内容に即して、基本的な語や文法事項等を活用するのに十分な量の英語で自分の考えや気持ちなどを書き表す機会を増やし、ALTを活用して添削をするなど指導の工夫が求められる。

(5) 中学校第2学年(英語)

ア 各設問の分類と平均通過率 ※ 分析の際に着目したい設問に黄色で着色している。

設問	大問	中問	小問	出題学年	問題内容別				内容領域別				観点別			県平均通過率			市平均通過率			校内通過率			出題の意図			
					基礎・基本	思考・表現	聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと	表現	理解	言語や文化についての知識・理解	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率	基礎・基本	思考・表現	無解答率						
1		(1)		中1	○		○						○	○		59.6%		0.1%	60.7%			0.2%					教室英語を正しく聞き取り、適切な絵を選ぶことができるか。	
2	1	(2)		中2	○		○						○	○		93.1%		0.0%	93.3%			0.1%					日常的な話題に関する英語を正しく聞き取り、適切な絵を選ぶことができるか。	
3		(3)		中2	○		○						○	○		94.4%		0.1%	94.5%			0.1%					日常的な話題に関する対話を正しく聞き取り、適切な絵を選ぶことができるか。	
4	2			中2	○		○	○					○	○		95.9%		0.1%	95.9%			0.1%					まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができるか。	
5	3			中2		思・表1	○	○					○	○			51.1%	0.2%		55.0%		0.2%					まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができるか。	
6	4			中2		思・表1	○						○				39.8%	27.6%		41.8%		27.2%					聞いて把握した内容について、適切に応じることができるか。	
7	5	(1)	①	中1	○				○				○	○		77.4%		0.2%	80.4%			0.2%					英文を読んで指示語の表す内容を正しく選択することができるか。	
8		(1)	②	中1	○				○				○	○		77.4%		0.2%	78.4%			0.2%					英文を読んで正しい接続詞を選択することができるか。	
9		(2)	①	中1	○					○				○	○		57.6%		0.2%	56.2%			0.2%					文と文のつながりに注意して、適切な英文を選択することができるか。
10		(2)	②	中1	○					○				○	○		68.3%		0.3%	71.9%			0.3%					文と文のつながりに注意して、適切な英文を選択することができるか。
11	6	(1)		中2	○								○	○		50.7%		0.2%	55.4%			0.3%					英文を読んで内容を正確に読み取り、適切な語を選択することができるか。	
12		(2)		中2	○								○	○		66.7%		0.2%	67.4%			0.2%					英文を読んで内容を正確に読み取り、適切な絵を選択することができるか。	
13		(3)		中2	○									○	○		72.3%		0.8%	73.5%			1.0%					グラフの内容を正しく表す英文を選択することができるか。
14				中2	○									○	○		48.1%		0.9%	50.8%			1.0%					
15	7	(1)		中2		思・表2							○				72.6%	0.8%		75.1%		1.0%					英文を読んで各段落の概要を理解することができるか。	
16		(2)		中2		思・表2							○				47.7%	0.9%		50.7%		1.0%					英文の要点を理解して正しい語句を選択することができるか。	
17	8	(1)		中2		思・表2							○				52.5%	1.5%		55.0%		1.7%					英文を正しく読み取り、内容を正しく選ぶことができるか。	
18		(2)		中2		思・表2							○				62.1%	15.8%		65.4%		15.4%					自分の考えを示すことができるよう、話の内容を捉えることができるか。	
19	9	(1)		中1	○				○	○	○		○	○		70.9%		0.5%	72.8%			0.6%					be動詞を用いた否定文の正しい語順を答えることができるか。	
20		(2)		中1	○				○	○	○		○	○		65.6%		0.4%	68.9%			0.4%					What+名詞を用いた疑問文の正しい語順を答えることができるか。	
21		(3)		中2	○					○	○	○		○	○		56.2%		0.6%	62.5%			0.6%					二つの目的語をとる動詞の用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
22		(4)		中2	○					○	○	○		○	○		42.4%		0.6%	47.7%			0.6%					不定詞の形容詞的用法を理解し、正しい語順を答えることができるか。
23	10	(1)		中1	○				○	○	○		○	○		33.4%		9.6%	36.9%			10.4%					対話文中の空所に当てはまる応答を文脈から判断し、適切な英語を用いて表現できるか。	
24		(2)		中2	○				○	○	○		○	○		43.6%		13.8%	45.5%			14.1%						
25	11			中1・2		思・表3							○	○			58.8%	8.4%		60.6%		9.4%					与えられたテーマについて、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある英文を書くことができるか。	
26				中1・2		思・表3							○	○			28.4%	8.5%		26.1%		9.5%						
計				問題数	18	8	6	8	12	8	10	18	18	平均通過率			65.2%	51.6%	3.6%	67.4%	53.7%	3.7%						
				出題割合	69.2%	30.8%	23.1%	30.8%	46.2%	30.8%	38.5%	69.2%	69.2%				61.0%				63.2%							

イ 特に課題のあった設問

(ア) 大問4 第2学年「聞いて把握した内容への英語での適切な応答」

【思考・表現1】

4 英語の授業中に先生からある提案があり、用紙が配られました。先生の話聞いて、あなたの考えを1文以上の英語で簡潔に書きなさい。解答時間は1分です。

(放送された英文)

I have a friend in Australia. His name is Andy. Andy is a junior high school student, too. He will come to our school next week. Let's do something with him at school. What do you want to do with him?

平均通過率			無解答率		
市	県	差	市	県	差
41.8%	39.8%	2.0	27.2%	27.6%	-0.4

指導のポイント

県・市ともに平均通過率が低く、無解答率がかなり高い。提案された状況や質問内容を聞き取り、限られた時間で自分の考えを適切に表現することが求められている。

教師やALTがモデルとなり、日常的な話題やまとまりのある英語を聞いたり読んだりして理解したことについて、基本的な表現を用いた即興的な対話を生徒と行い、その後、生徒同士でやり取りに取り組みさせるなど、生徒が英語で自分の考えや気持ちを伝え合う言語活動を継続的に行う取組が必要となる。

(イ) 大問11 第2学年「与えられたテーマに沿った英作文」

【思考・表現3】

11 あなたは外国に住む知人から日本に来るならどの季節がよいか尋ねられました。あなたの好きな季節の一つを選び、その季節の行事や食べ物などを取り上げながら、あなたの考えを理由とともに15語以上の英語で書きなさい。

※ 短縮形 (I'm や don't など) は1語と数え、符号 (, や ?) は語数に含めない。

(例) No. I'm not. 【3語】

平均通過率			無解答率		
市	県	差	市	県	差
26.1%	28.4%	-2.3	9.5%	8.5%	1.0

指導のポイント

平均通過率が3割に満たない状況で、県よりも低く、無解答率についても県よりも高い。基本的な語や文法事項等の知識を活用することに課題があり、与えられたテーマについて相手に伝わるまとまりのある英語で表現することができていない。

ペアやグループで自分の考えや気持ちを伝え合うなどする中で、書く内容を明確にしていく活動を行い、書いた後の言語活動では、相手に正しく伝わる文章になっているか、生徒同士で書いたものを読み合い、内容について質問したり、伝え方についてコメントを述べたりして、やり取りした内容を参考に推敲する活動などが求められる。

IV 児童生徒質問紙調査の結果

※ 平成30年度と令和元年度の結果が比較できる設問のみ、それぞれの結果を示している。

1 あなたが自分で計画を立てて勉強している内容は、どんなものが多いですか。

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① 教科書や問題集の練習問題をする。	25.0%	43.9%	40.3%	41.1%	56.9%	55.1%	43.3%	62.6%	59.6%
② 教科書や参考書の文章や図、グラフなどを書き写す。	11.0%	16.3%	17.5%	9.7%	13.5%	15.9%	8.8%	10.5%	13.5%
③ 自分でテーマを決めて調べ学習をする。	12.0%	13.1%	15.6%	4.9%	5.6%	6.4%	3.7%	3.2%	3.6%
④ 次の時間の予習をする。	10.5%	10.5%	11.4%	7.1%	6.6%	5.8%	4.0%	4.1%	3.6%
⑤ 計画を立てて学習していない。	14.5%	16.1%	15.1%	14.9%	17.3%	16.7%	16.3%	19.6%	19.4%

2 日頃の授業では、どんな活動をする事が多いですか。教科ごとに多い順に二つずつ選んでください。

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
国語	① 先生の説明を聞く。	47.4%	47.7%	46.7%	73.8%	67.3%	68.6%	77.4%	78.2%	75.7%
	② 学習の手順や方法を考える。	21.8%	18.7%	19.1%	13.4%	12.9%	13.6%	14.3%	13.0%	13.6%
	③ 課題について、調べ学習をする。	11.9%	10.0%	11.2%	9.2%	10.8%	1.0%	9.5%	8.2%	9.5%
	④ 自分でじっくり考える。	14.9%	19.9%	19.1%	16.8%	22.5%	22.0%	18.1%	20.2%	21.0%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	43.1%	45.3%	45.4%	33.5%	39.0%	35.8%	34.9%	29.2%	29.1%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	27.5%	25.0%	25.8%	30.4%	24.1%	25.0%	28.4%	32.2%	31.2%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	9.4%	10.7%	9.7%	5.4%	7.1%	6.8%	4.6%	5.5%	5.2%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	23.6%	22.5%	22.6%	16.7%	16.1%	1.2%	12.5%	13.1%	14.0%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
社会	① 先生の説明を聞く。	40.9%	43.8%	40.4%	81.1%	73.1%	71.1%	85.2%	79.3%	77.3%
	② 学習の手順や方法を考える。	10.7%	10.9%	11.1%	11.6%	8.9%	9.2%	13.0%	10.0%	9.7%
	③ 課題について、調べ学習をする。	47.1%	44.0%	40.9%	26.8%	30.2%	32.4%	31.8%	26.7%	28.3%
	④ 自分でじっくり考える。	16.2%	19.4%	19.1%	20.7%	22.8%	21.9%	21.1%	19.8%	21.0%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	12.8%	14.0%	13.4%	7.6%	10.5%	9.0%	8.4%	9.5%	9.4%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	18.3%	15.9%	18.4%	23.1%	24.8%	25.6%	19.8%	33.3%	30.1%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	41.0%	40.1%	44.0%	15.4%	18.3%	19.4%	10.3%	11.6%	13.4%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	12.4%	11.6%	12.2%	12.8%	11.1%	11.2%	10.2%	9.5%	10.2%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
算数 数学	① 先生の説明を聞く。	44.2%	40.7%	38.4%	66.4%	58.5%	56.9%	69.9%	65.5%	61.0%
	② 学習の手順や方法を考える。	23.8%	25.4%	24.9%	24.9%	27.6%	26.0%	25.6%	25.1%	24.7%
	③ 課題について、調べ学習をする。	8.0%	6.2%	7.3%	5.9%	4.7%	5.7%	6.3%	4.7%	5.4%
	④ 自分でじっくり考える。	47.7%	52.6%	51.9%	46.7%	53.8%	53.1%	46.0%	49.0%	49.4%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	11.5%	10.6%	10.5%	3.6%	3.8%	3.8%	3.0%	3.7%	3.8%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	25.1%	27.9%	29.9%	30.8%	30.9%	33.5%	31.7%	34.7%	36.9%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	6.3%	7.5%	7.3%	4.1%	5.3%	5.3%	3.3%	3.7%	4.6%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	32.7%	28.8%	29.4%	16.9%	15.2%	15.6%	13.8%	13.2%	13.4%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
理科	① 先生の説明を聞く。	50.8%	52.2%	50.6%	72.3%	67.0%	67.3%	79.5%	78.0%	76.0%
	② 学習の手順や方法を考える。	22.7%	25.7%	25.0%	21.9%	25.5%	24.9%	22.6%	19.9%	20.0%
	③ 課題について、調べ学習をする。	24.6%	21.5%	22.4%	19.0%	18.7%	19.4%	17.5%	16.3%	16.9%
	④ 自分でじっくり考える。	15.1%	18.0%	18.8%	12.7%	16.2%	17.1%	15.7%	19.0%	18.8%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。	11.6%	9.5%	10.0%	7.9%	7.2%	6.6%	5.5%	6.8%	6.5%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。	41.8%	40.8%	39.3%	45.6%	43.4%	43.8%	43.7%	42.9%	43.6%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。	8.9%	9.5%	9.7%	7.9%	10.3%	9.6%	6.3%	6.5%	7.1%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。	23.9%	22.4%	23.8%	12.1%	11.4%	10.9%	9.0%	10.2%	10.4%

		小5			中1			中2		
		市		県	市		県	市		県
		H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
英語	① 先生の説明を聞く。				70.8%	70.2%	68.7%	72.5%	69.5%	66.7%
	② 学習の手順や方法を考える。				10.0%	9.9%	10.3%	10.2%	8.3%	9.4%
	③ 課題について、調べ学習をする。				5.5%	6.1%	6.7%	6.6%	5.0%	5.3%
	④ 自分でじっくり考える。				16.6%	19.3%	20.6%	13.9%	19.0%	20.2%
	⑤ 自分の考えを文章にまとめる。				3.8%	5.0%	5.1%	4.9%	6.7%	7.6%
	⑥ ペアやグループで、考えを出し合ったり教え合ったりする。				49.8%	46.6%	43.8%	50.1%	52.3%	50.5%
	⑦ 自分の考えや資料をもとに、話し合う。				3.7%	3.5%	3.7%	3.0%	3.2%	3.2%
	⑧ お互いに発表したり、説明したりする。				39.2%	39.2%	40.8%	38.6%	35.6%	36.3%

3 あなたは、次のような授業で学んでいて、どのように感じますか。

(1) 先生の説明の時間が多い授業（H30：先生がくわしく説明してくれる授業）

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① とてもやりがいを感じる。	17.2%	19.3%	32.2%	8.8%	10.1%	9.9%	7.9%	7.1%	7.6%
② やりがいを感じる。	55.5%	52.9%	48.4%	48.0%	46.3%	47.6%	43.5%	43.2%	43.9%
③ あまりやりがいを感じない。	23.0%	23.0%	16.2%	36.3%	35.7%	35.2%	39.3%	39.7%	38.9%
④ やりがいを感じない。	4.2%	4.8%	3.2%	6.8%	7.9%	7.3%	9.2%	9.9%	9.3%
①と②の和	72.7%	72.2%	80.5%	56.8%	56.4%	57.5%	51.4%	50.4%	51.5%

(2) 自分たちで考えたり話し合ったりする授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① とてもやりがいを感じる。	41.5%	44.1%	39.8%	42.0%	45.5%	45.3%	37.5%	42.6%	43.8%
② やりがいを感じる。	46.4%	44.6%	46.7%	47.5%	45.4%	46.0%	49.8%	48.0%	47.5%
③ あまりやりがいを感じない。	10.2%	9.8%	11.5%	8.8%	7.8%	7.4%	10.4%	7.9%	7.1%
④ やりがいを感じない。	1.8%	1.5%	1.9%	1.6%	1.4%	1.3%	2.2%	1.4%	1.4%
①と②の和	87.9%	88.7%	86.5%	89.5%	90.9%	91.3%	87.3%	90.6%	91.3%

(3) 自分たちが発表したり、友達の発表を聞いたりすることが多い授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① とてもやりがいを感じる。	36.3%	33.5%	34.5%	26.5%	28.9%	28.9%	22.9%	24.7%	25.7%
② やりがいを感じる。	48.3%	49.9%	49.7%	55.0%	54.5%	55.2%	55.9%	56.7%	57.6%
③ あまりやりがいを感じない。	13.0%	14.3%	13.6%	15.7%	14.2%	13.9%	18.2%	16.1%	14.1%
④ やりがいを感じない。	2.2%	2.3%	2.1%	2.7%	2.4%	2.0%	2.9%	2.5%	2.3%
①と②の和	84.7%	83.4%	84.2%	81.5%	83.4%	84.1%	78.9%	81.4%	83.3%

(4) 難しい課題に挑戦する授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① とてもやりがいを感じる。	51.6%	53.8%	53.5%	43.7%	48.1%	47.8%	39.9%	43.1%	43.0%
② やりがいを感じる。	31.4%	30.1%	30.7%	39.1%	35.6%	36.5%	42.1%	40.6%	41.2%
③ あまりやりがいを感じない。	12.9%	12.7%	12.3%	13.3%	12.8%	12.4%	14.2%	13.0%	12.5%
④ やりがいを感じない。	4.0%	3.3%	3.3%	3.7%	3.5%	3.2%	3.8%	3.3%	3.0%
①と②の和	83.0%	83.9%	84.3%	82.8%	83.7%	84.3%	82.0%	83.7%	84.2%

(5) 自分たちで調べて、課題を解決する授業

	小5			中1			中2		
	市		県	市		県	市		県
	H30	R元	R元	H30	R元	R元	H30	R元	R元
① とてもやりがいを感じる。	56.7%	55.9%	55.2%	51.8%	54.2%	52.8%	46.2%	47.8%	48.7%
② やりがいを感じる。	32.2%	33.9%	34.1%	38.4%	36.2%	38.0%	41.8%	42.5%	42.2%
③ あまりやりがいを感じない。	8.9%	8.6%	8.8%	7.8%	8.1%	7.8%	9.9%	8.1%	7.4%
④ やりがいを感じない。	2.1%	1.5%	1.8%	1.7%	1.5%	1.3%	2.0%	1.5%	1.3%
①と②の和	88.9%	89.8%	89.3%	90.2%	90.4%	90.8%	88.1%	90.3%	91.0%

4 あなたの学級では、授業のめあて（学習目標）を立てていますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	62.9%	64.5%	63.7%	63.3%	59.3%	64.2%
② どちらかといえばしている。	23.5%	22.9%	23.3%	22.8%	23.0%	21.6%
③ あまりしていない。	10.7%	9.7%	10.4%	11.3%	13.7%	10.9%
④ していない。	2.7%	2.7%	2.6%	2.5%	3.8%	2.9%
①と②の和	86.4%	87.5%	87.0%	86.1%	82.3%	85.8%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	59.0%	59.9%	63.3%	65.9%	67.3%	70.2%
② どちらかといえばしている。	24.3%	23.9%	20.9%	19.6%	18.4%	17.1%
③ あまりしていない。	12.5%	12.2%	12.1%	11.3%	10.4%	9.2%
④ していない。	4.1%	3.8%	3.7%	3.0%	3.8%	3.1%
①と②の和	83.3%	83.8%	84.1%	85.6%	85.6%	87.3%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	66.1%	68.1%	60.8%	62.6%	65.3%	68.4%
② どちらかといえばしている。	21.8%	20.6%	23.3%	23.3%	21.3%	20.0%
③ あまりしていない。	9.0%	8.4%	12.0%	11.0%	10.0%	8.7%
④ していない。	3.0%	2.7%	3.8%	3.1%	3.3%	2.6%
①と②の和	87.9%	88.7%	84.1%	85.9%	86.6%	88.4%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	51.8%	54.7%	55.1%	56.4%	58.1%	61.4%
② どちらかといえばしている。	28.7%	26.3%	25.4%	25.4%	22.5%	22.4%
③ あまりしていない。	13.6%	13.3%	14.4%	14.0%	14.4%	12.4%
④ していない。	5.7%	5.5%	5.1%	4.1%	4.8%	3.6%
①と②の和	80.5%	81.0%	80.5%	81.7%	80.6%	83.7%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。			49.8%	52.9%	48.7%	52.0%
② どちらかといえばしている。			29.2%	28.1%	30.2%	28.2%
③ あまりしていない。			16.6%	15.1%	15.4%	15.1%
④ していない。			4.3%	3.8%	5.5%	4.4%
①と②の和			79.0%	81.0%	78.9%	80.2%

5 授業の始めに、学習の流れを確認していますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	40.7%	42.6%	38.5%	38.7%	37.8%	39.7%
② どちらかといえばしている。	35.5%	34.5%	36.5%	36.2%	37.0%	35.7%
③ あまりしていない。	18.9%	18.1%	20.6%	20.8%	20.3%	20.0%
④ していない。	4.8%	4.6%	4.3%	4.2%	4.7%	4.3%
①と②の和	76.2%	77.2%	75.0%	75.0%	74.8%	75.4%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	33.3%	34.7%	35.8%	36.0%	36.4%	35.0%
② どちらかといえばしている。	37.5%	36.7%	36.1%	36.9%	35.8%	36.4%
③ あまりしていない。	22.6%	22.3%	23.0%	22.4%	21.7%	22.8%
④ していない。	6.4%	6.1%	5.1%	4.6%	5.9%	5.5%
①と②の和	70.9%	71.4%	71.9%	72.9%	72.2%	71.4%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	41.6%	44.6%	32.7%	33.8%	35.8%	35.8%
② どちらかといえばしている。	34.6%	33.5%	38.6%	38.3%	37.0%	37.8%
③ あまりしていない。	18.6%	17.3%	23.4%	23.2%	21.2%	21.3%
④ していない。	5.1%	4.5%	5.3%	4.6%	5.8%	4.8%
①と②の和	76.2%	78.1%	71.3%	72.1%	72.9%	73.6%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	39.2%	41.2%	34.3%	34.0%	34.7%	34.3%
② どちらかといえばしている。	34.3%	33.7%	36.7%	37.9%	37.3%	38.5%
③ あまりしていない。	19.3%	18.8%	23.7%	23.1%	21.2%	21.6%
④ していない。	7.1%	6.1%	5.3%	5.0%	6.6%	5.2%
①と②の和	73.5%	74.9%	71.0%	71.8%	72.0%	72.8%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。			34.0%	35.1%	34.5%	34.7%
② どちらかといえばしている。			38.5%	38.3%	39.2%	38.7%
③ あまりしていない。			22.1%	21.6%	20.7%	21.3%
④ していない。			5.4%	4.9%	5.5%	4.9%
①と②の和			72.4%	73.4%	73.7%	73.4%

6

授業の終わりに学習内容を振り返る活動（ノートにまとめたり、考えたことを整理したりするなど）を行っていますか（教科ごとに選択）。

国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	38.7%	41.2%	30.1%	32.8%	29.2%	31.4%
② どちらかといえばしている。	31.7%	31.1%	33.1%	32.9%	32.4%	32.7%
③ あまりしていない。	23.1%	21.5%	28.4%	27.1%	28.9%	27.9%
④ していない。	6.4%	6.1%	8.3%	7.1%	9.3%	7.8%
①と②の和	70.4%	72.3%	63.3%	65.7%	61.6%	64.0%

社会	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	46.2%	48.3%	45.5%	45.9%	41.1%	41.2%
② どちらかといえばしている。	28.8%	28.3%	29.5%	29.0%	27.7%	28.8%
③ あまりしていない。	18.2%	17.3%	18.6%	19.2%	23.0%	22.5%
④ していない。	6.6%	5.9%	6.5%	5.7%	8.0%	7.2%
①と②の和	74.9%	76.6%	74.9%	75.0%	68.8%	69.9%

算数・数学	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	55.0%	57.6%	35.8%	38.4%	34.5%	38.0%
② どちらかといえばしている。	27.2%	25.5%	33.5%	33.0%	34.0%	33.4%
③ あまりしていない。	13.3%	12.7%	23.4%	22.4%	23.1%	21.8%
④ していない。	4.2%	4.1%	7.2%	6.1%	8.1%	6.4%
①と②の和	82.3%	83.0%	69.3%	71.4%	68.6%	71.4%

理科	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。	43.4%	45.3%	38.2%	38.2%	40.2%	39.6%
② どちらかといえばしている。	29.8%	29.4%	32.0%	32.4%	31.1%	31.4%
③ あまりしていない。	18.8%	17.9%	22.4%	22.7%	21.1%	22.0%
④ していない。	7.9%	7.2%	7.3%	6.6%	7.5%	6.7%
①と②の和	73.1%	74.7%	70.2%	70.5%	71.3%	71.0%

外国語	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① よくしている。			29.5%	31.2%	25.5%	28.6%
② どちらかといえばしている。			33.8%	34.5%	34.9%	34.4%
③ あまりしていない。			27.5%	26.3%	29.6%	28.2%
④ していない。			9.2%	7.9%	9.8%	8.4%
①と②の和			63.3%	65.7%	60.4%	63.1%

7

あなたはスマートフォンをもちますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① 自分専用のものをもっている。	25.3%	24.4%	46.2%	44.9%	53.3%	52.5%
② 家族で共用のものをもっている。	23.8%	24.2%	19.6%	20.6%	16.1%	17.1%
③ もっていない。	50.8%	51.2%	34.1%	34.3%	30.4%	30.1%

8

インターネット（スマートフォン、ゲーム、SNSなど）を1日当たりどれくらいの時間していますか。

	小5		中1		中2	
	市	県	市	県	市	県
	R元	R元	R元	R元	R元	R元
① していない。	8.8%	9.7%	6.3%	6.8%	5.0%	5.7%
② 30分より少ない。	14.2%	14.8%	12.1%	11.7%	9.6%	9.5%
③ 30分以上1時間より少ない。	23.5%	23.2%	20.4%	20.3%	18.4%	18.7%
④ 1時間以上2時間より少ない。	25.6%	25.2%	29.0%	29.0%	30.1%	30.2%
⑤ 2時間以上3時間より少ない。	13.0%	13.0%	17.6%	17.5%	20.6%	20.2%
⑥ 3時間以上4時間より少ない。	6.4%	6.3%	7.6%	7.5%	8.8%	8.4%
⑦ 4時間以上5時間より少ない。	4.0%	3.6%	3.0%	3.3%	3.4%	3.2%
⑧ 5時間より多い。	4.5%	4.1%	4.0%	3.8%	4.0%	3.8%
④～⑧の和(1時間以上)	53.4%	52.2%	61.2%	61.1%	66.9%	65.9%

単元末の評価問題、定期考査の問題、授業の学習問題、家庭学習の課題として活用

(1) 「かごしま学力向上支援Webシステム 単元・領域別評価問題」の活用

問題は、ワープロソフトで作成されているため、問題を改変したり、部分的に活用したりすることができます。学習内容の定着、見届けに活用しましょう。

採点結果は、Webシステムに入力することで正答率や度数分布を確認することができます。

義務教育課

**かごしま学力向上支援Webシステム
評価問題・単元対応表（社会科）**

小 5		小 6	
問題番号	単 元	問題番号	単 元
Q 1	主な大陸・海洋，我が国の位置と領土	Q 1	狩猟・採集や農耕の生活
Q 2	地形から見て特色のある地域の人々の生活～【選択】 低い土地のくらし	Q 2	大和朝廷による国土の統一
Q 3	地形から見て特色のある地域の人々の生活～【選択】 高い土地のくらし	Q 3	天

小5 主な大陸・海洋，我が国の位置と領土
()年()組()番 名前()

1 日本の位置を，方位を表す言葉と資料1にある大陸名と海洋名を使って説明すると，どのように説明できますか。その説明を に書きましょう。

(資料1)



(例) 日本は，太平洋の西（北西）の端で，ユーラシア大陸の東の端（海上）にある。



《平成30年10月に配布されたCD-ROM》

県教育委員会が、学習定着度調査等の結果を踏まえ、当該年度の課題を改善するための取組として、「学校全体で取り組む学力向上」、「演習問題一覧表」を作成し、本市教育委員会より、各学校にデータを配布してあります（令和2年2月3日付け「学力向上に向けた取組の更なる充実について（依頼）」）。

(2) 過去の学力調査等の活用

Webシステムの『教材集』にある「義務教育課 各種調査単元・領域別分類表のWeb掲載について(2019年12月25日)」に、以下の学力調査等の過去10年間分の『分類・整理表』が掲載されています。鹿児島学習定着度調査等の問題が、どの学年のどの単元(指導事項)に対応しているか、一覧で示されています。単元・題材に応じて計画的に活用すると効果的です。

また、各教科年間指導計画への記録を行うなども効果的です。

「鹿児島県学力調査(「基礎・基本」定着度調査、鹿児島学習定着度調査)」	(H20~29)
「全国学力・学習状況調査」	(H21~30)
「鹿児島県公立校等学校入学者選抜学力検査」	(H21~30)

《分類・整理表》

小学校第5学年 鹿児島県学力調査(「基礎・基本」定着度調査、鹿児島学習定着度調査)		H30	H29	H28	H27	H26
小学校 理科	電流の働き		2-(1)(2)	10-(1)~(3)	8-(1)(2)	4-(2)
	空気と水の性質					11-(1)(2)
	金属、水、空気と温度		5-(1)(2) 6-(1)(2)	8-(1)~(3)	6-(1)~(3) 7-(2)	6-(1)(2) 7-(1)(2)
	人の体のつくりと運動				4-(6)	2-(1)(2)

指導事項の定着を確認する単元のゴールの一つとして、活用してみるのもいいですね。



《本調査を生かした年間指導計画例》(R元年度 県教育委員会報告書より)

外国語科(英語)年間指導計画 第2学年

〇〇中学校

※ 指導計画に自校の平均通過率、県平均との差、指導の重点を朱書きしたものを。

月	単元名	各時の目標	◆言語材料、表現	評価規準	諸調査との関連
6	Unit 3	ある行動について、その目的を述べることができる。	◆不定詞(目的を表す副詞的用法) 【場面】注意書き 【話題】職業体験 【働き】注意する、指示する	イ 何かをする目的を述べることができる。(S)(W) ウ 注意書きの内容を読み取ったり、行動の目的を聞き取ったりすることができる。(L)(R) エ 不定詞の副詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。	
		将来就きたい職業について尋ね合うことができる。	◆不定詞(名詞的用法) 【場面】対話 【話題】将来の夢 【働き】質問する、答える 【働き】感想を述べる、相づちをうつ	ア 友達の将来の夢について関心を持ち、積極的に対話をしている。 イ 将来就きたい職業についてp述べることができる。(S)(W) エ 不定詞の名詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。	
		生徒の職業体験のレポートを読んで、その内容を理解することができる。	◆不定詞(形容詞的用法) 【場面】レポート 【話題】新聞記者 【働き】説明する、報告する	ウ 職業体験のレポートを読んで、その内容を理解することができる。(R) エ 不定詞の形容詞的用法の形・意味・用法に関する知識を身に付けている。	R1 定着度 9(4) 語順 35.4% (-7.0)
		生徒の職場体験のレポートを読んで、その内容を理解することができる。	◆不定詞 【場面】レポート 【話題】サッカー選手へのインタビュー 【働き】説明する、報告する 【働き】感想を述べる	ウ 職場体験のレポートを読んで、その内容を理解することができる。(R)	
9	Let's Read 1	インタビューを開いて、その内容を聞き取ることができる。 行きたい国やそこでしたいことについてインタビューをし、聞いた情報をまとめることができる。	◆不定詞 ◆SVOO 【場面】インタビュー 【話題】仕事紹介 【話題】夢の世界旅行 【働き】質問する、答える 説明する	ア 相手が行きたい国について、積極的に質問している。 イ 行きたい国やそこでしたいことについてインタビューをし、聞いた情報をまとめることができる。(S)(W) ウ 仕事についてのインタビューを聞いて、概要を聞き取ることができる。(L)	R1 定着度 9(2) 語順 60.2% (-5.4)
		物語を読んで、場面の変化や主な内容を理解したり、登場人物の心情に合わせて気持ちを込めて音読したりすることができる。	◇既習事項の総復習 ※ 要点の読み取り ●物語、英語劇 ★友情	ア 理解できないところがあっても、挿し絵を参考にしながら読み続けている。 イ 登場人物の心情に合わせて、気持ちを込めて音読することができる。 ウ 台本形式の物語を読んで、場面の変化や登場人物の心情などを理解することができる。(R)	H31 全国学調 7 要点の読み取り 26.4% (-3.2) R1 定着度 8(1) 要点の読み取り 48.0% (-4.5)

よりよい授業を構想するために、PDCAサイクルを繰り返し、改善していくことが有効ですね。

